

《第7期中標津町総合計画》

まちづくり町民アンケート 調査結果報告書



令和8年3月

中標津町総務部政策推進課

目 次

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象及び調査方法	1
(3) 配布数及び回収結果	1
(4) 本調査結果報告書の留意点	1
2 回答者の属性	2
(1) 一般町民（18歳以上の町民）	2

II まちづくり町民アンケート調査結果

1 愛着度・定住意向について	5
(1) まちへの愛着度について	5
問2 あなたは、中標津町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか	5
(2) 今後の定住意向について	7
問3 あなたは、今後も中標津町に住み続けたいと思いますか	7
(3) 住み続けたい主な理由	9
(4) 住みたくない主な理由	10
2 まちの取り組みについて	11
問4 まちの計画や取り組みに関心を持っていますか	11
問5 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか	12
問6 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか	15
問7 あなたは町内会に加入していますか	16
問8 国際交流、地域間交流（他の市町村との交流）が行われていると感じますか	19
問9 北方領土問題を身近な問題として感じますか	20
問10 男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活動に参画できていると感じますか	21
問11 男女が平等に参加できる社会を形成するために、今後どのような取り組みが必要だと思いますか	24
問12 情報通信機器（スマートフォンやパソコン等）を持っていない又は操作が苦手なため、町の情報が得られず困ったことや申請ができず困ったことがありますか	25
問13 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか	27
問14 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じますか	28
問15 障がい福祉サービスが整っていると感じますか	29
問16 あなたの地域活動・ボランティア活動への参加状況と今後の参加意向についてお尋ねします	30
問17 町立病院の医療体制に満足していますか	33

問 1 8 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じ ますか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	34
問 1 9 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じますか	35
問 2 0 町が行う植樹などの森林づくり活動に参加したいと思いませんか・・・	36
問 2 1 町内での飲食や買い物に満足していますか・・・・・・・・・・・・・・・・	37
問 2 2 あなたは観光客に対して「おもてなし」の気持ちを持っていますか・	38
問 2 3 雇用対策（通年雇用、雇用の創出・確保等）に満足していますか・・	39
問 2 4 住んでいる地域が「良好なまちなみ（住環境）である」と感じていま すか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	40
問 2 5 日々の生活の中で景観を意識していますか・・・・・・・・・・・・・・・・	41
問 2 6 公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができていると感じ ますか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	42
問 2 7 中標津空港利用の利便性に満足していますか・・・・・・・・・・・・・・・・	43
問 2 8 日頃から家庭で災害（地震や風雪災害など）への備えをしていますか	44
問 2 9 あなたは、防災のための情報をどこから得ていますか・・・・・・・・	45
問 3 0 地域や企業などでの防犯活動に参加していますか・・・・・・・・	46
問 3 1 消費生活に関する正しい情報を得られていると感じますか・・・・・・・・	47
問 3 2 日頃から環境問題（温暖化、省エネルギー、ごみ減量等）について意 識していますか・・・・・・・・・・・・・・・・	48
問 3 3 3 R 運動（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル： 再生使用）をしていますか・・・・・・・・・・・・・・・・	49
問 3 4 学校、家庭、地域が一体となって教育活動を進めていると感じますか	50
問 3 5 らいふまっぷ（生涯学習情報誌）・社会教育施設ホームページに満足 していますか・・・・・・・・・・・・・・・・	51
問 3 6 生涯学習活動を通して生きがいを感じますか・・・・・・・・	52
問 3 7 運動やスポーツに取り組んでいますか・・・・・・・・	53
問 3 8 文化活動・芸術活動に取り組んでいますか・・・・・・・・	56
問 3 9 町内に、歴史や自然・文化を後世に伝えていくため、残したいと思う ものがありますか・・・・・・・・	57
問 4 0 第7期中標津町総合計画のまちづくりの基本理念について、あなたが 感じる町の達成度合いをお聞かせください・・・・・・・・	58

Ⅲ まちづくり町民アンケート自由意見

1 町の行政に望むことやまちづくりについての自由記述・・・・・・・・	60
（1）自由記述の記入状況・・・・・・・・	60

Ⅳ 参考資料

まちづくり町民アンケート調査票

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査の目的

第7期中標津町総合計画に基づく取組みに対する町民皆さんの意見や考え方を把握し、今後の町政に反映させ計画的に施策を実施することを目的とします。

(2) 調査対象及び調査方法

- ◆ 調査対象 : 18歳以上の町民
- ◆ 抽出法 : 無作為抽出（住民基本台帳より抽出）
- ◆ 調査方法 : 郵送配付（郵送回答又はインターネット回答）
- ◆ 調査時期 : 令和7年6月
- ◆ 調査区域 : 中標津町内全域

(3) 配布数及び回収結果

- ◆ 配布数 : 1,000票
- ◆ 有効回収数 : 309件
- ◆ 有効回収率 : 30.90%

(4) 本調査結果報告書の留意点

本報告書の内容について、次の点に留意して下さい。

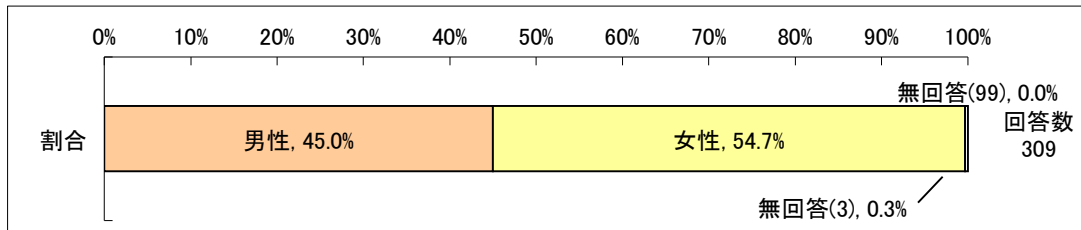
- 比率は百分率（%）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%を上下する場合があります。
- 基礎となるべき実数は、“回答数=○○○”として掲載し、各比率は回答数を100%として算出しました。
- 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問となっています。
- 文中、グラフ中の選択肢の文言は一部簡略化しています。
- 問の中には、「～に○をつけた方にうかがいます。」などさまざまな制限があり、また、属性別での職業別など回答者が少なく、有意性の低いものも含まれます。

2 回答者の属性

(1) 一般町民（18歳以上の町民）

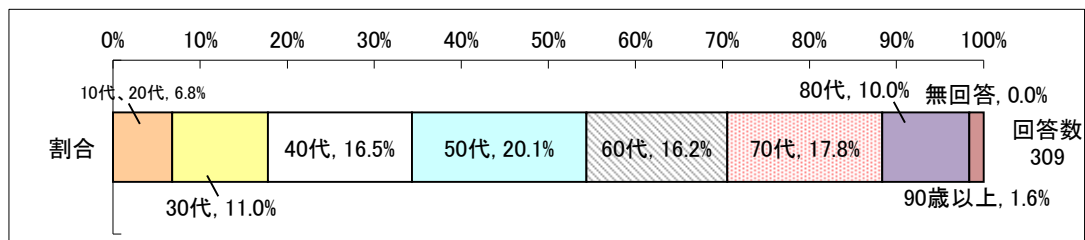
① 性別

回答者の性別構成は、「男性」が139名・45.0%、「女性」が169名・54.7%、「無回答」の選択肢を選んだ方が1名・0.3%となっています。



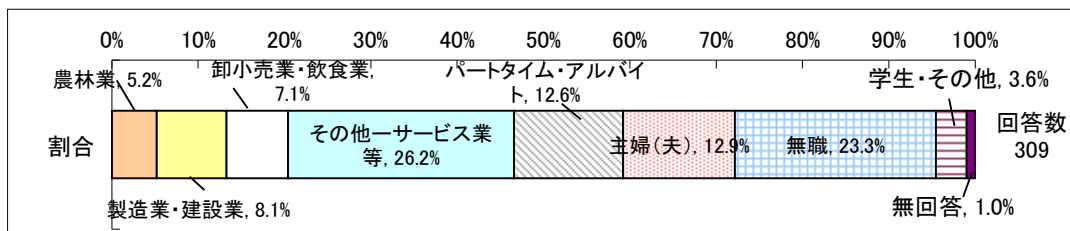
② 年齢

回答者の年齢構成は、「50代」が62名・20.1%で最も多く、次いで「70代」が55名・17.8%、「40代」が51名・16.5%、「60代」が50名・16.2%、「30代」が34名・11.0%、「80代」が31名・10.0%、「10代・20代」が21名・6.8%、「90歳以上」が5名・1.6%の順となっています。



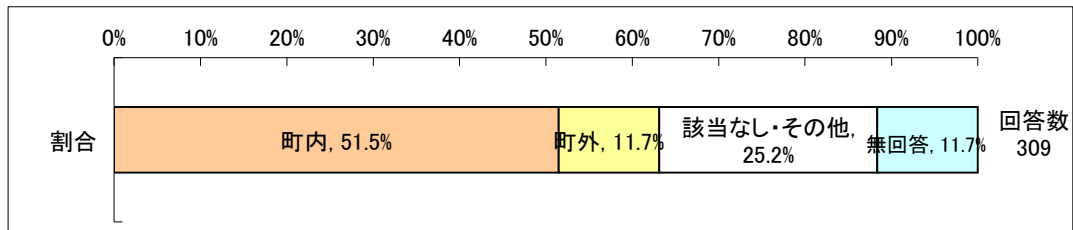
③ 職業

回答者の職業は、「その他サービス業等」が81名・26.2%で最も多く、次いで「無職」が72名・23.3%、「主婦(夫)」が40名・12.9%、「パートタイム・アルバイト」が39名・12.6%、「製造業・建設業」が25名・8.1%、「卸小売業・飲食業」が22名・7.1%、「農林業」が16名・5.2%、「学生・その他」が11名・3.6%、「無回答」が3名・1.0%の順となっています。



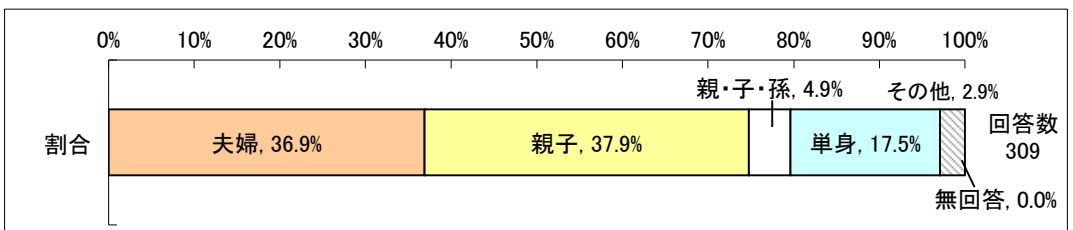
④ 通勤・通学先

回答者の通勤・通学先は、「町内」が159名・51.5%で最も多く、次いで「該当なし・その他」が78名・25.2%、「町外」及び「無回答」がそれぞれ36名・11.7%となっています。



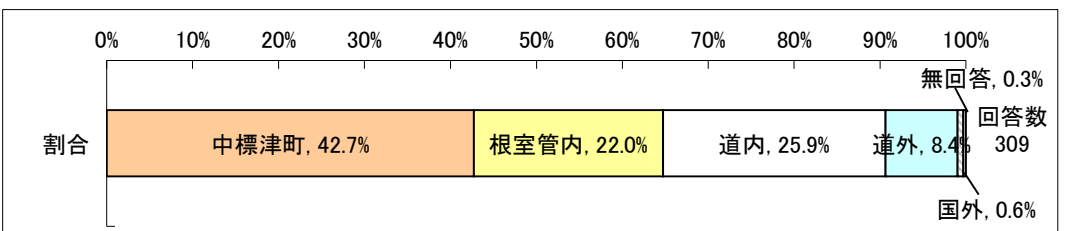
⑤ 家族構成

回答者の家族構成は、「親子(2世代)」が117名・37.9%で最も多く、次いで「夫婦」が114名・36.9%、「単身」が54名・17.5%、「親・子・孫」が15名・4.9%、「その他」が9名・2.9%の順となっています。



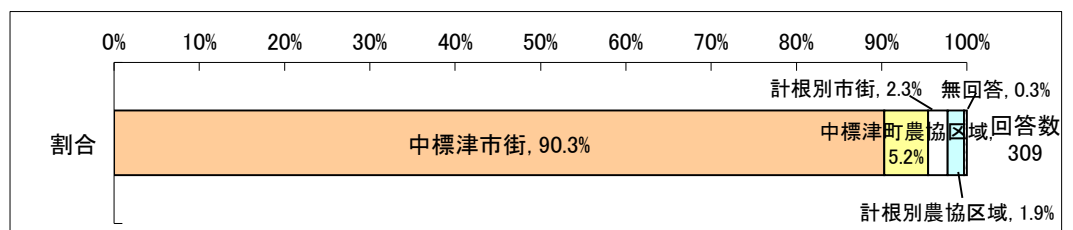
⑥ 出身地

回答者の出身地は、「中標津町」が132名・42.7%で最も多く、次いで「道内」が80名・25.9%、「根室管内」が68名・22.0%、「道外」が26名・8.4%、「国外」が2名・0.6%、「無回答」が1名・0.3%の順となっています。



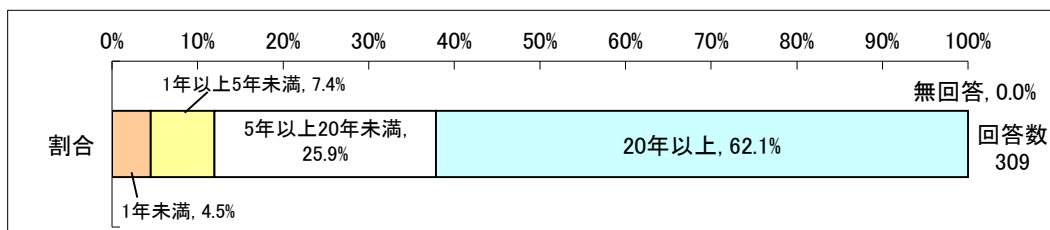
⑦ 居住地

回答者の居住地は、「中標津市街」が279名・90.3%で最も多く、次いで「中標津町農協区域」が16名・5.2%、「計根別市街」が7名・2.3%、「計根別農協区域」が6名・1.9%、「無回答」が1名・0.3%の順となっています。



⑧ 居住年数

回答者の居住歴は、「20年以上」が192名・62.1%で最も多く、次いで「5年以上20年未満」が80名・25.9%、「1年以上5年未満」が23名・7.4%、「1年未満」が14名・4.5%の順となっています。



Ⅱ まちづくり町民アンケート調査結果

1 愛着度・定住意向について

(1) まちへの愛着度について

問2 あなたは、中標津町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。

● “愛着を感じている”が79.6%、“愛着を感じていない”は18.5%。

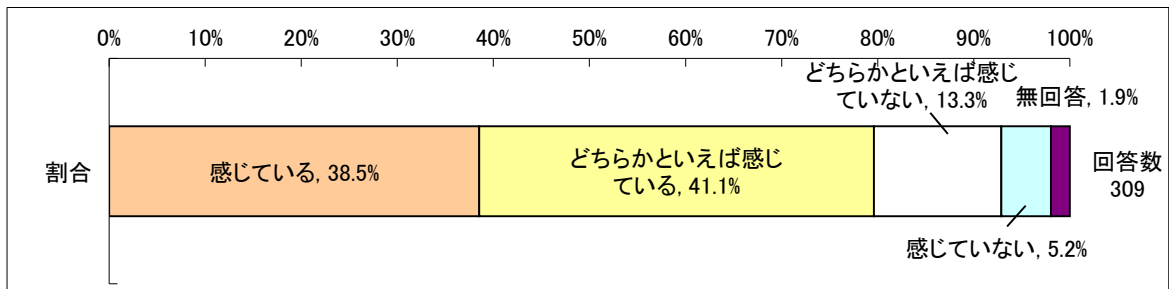
感じている 38.5% どちらかといえば感じている 41.1%	感じていない 5.2% どちらかといえば感じていない 13.3%
------------------------------------	-------------------------------------

町民のまちに対する愛着度を把握するため、愛着を「感じている」、「どちらかといえば感じている」、「どちらかといえば感じていない」、「感じていない」の中から1つを選んでもらいました。

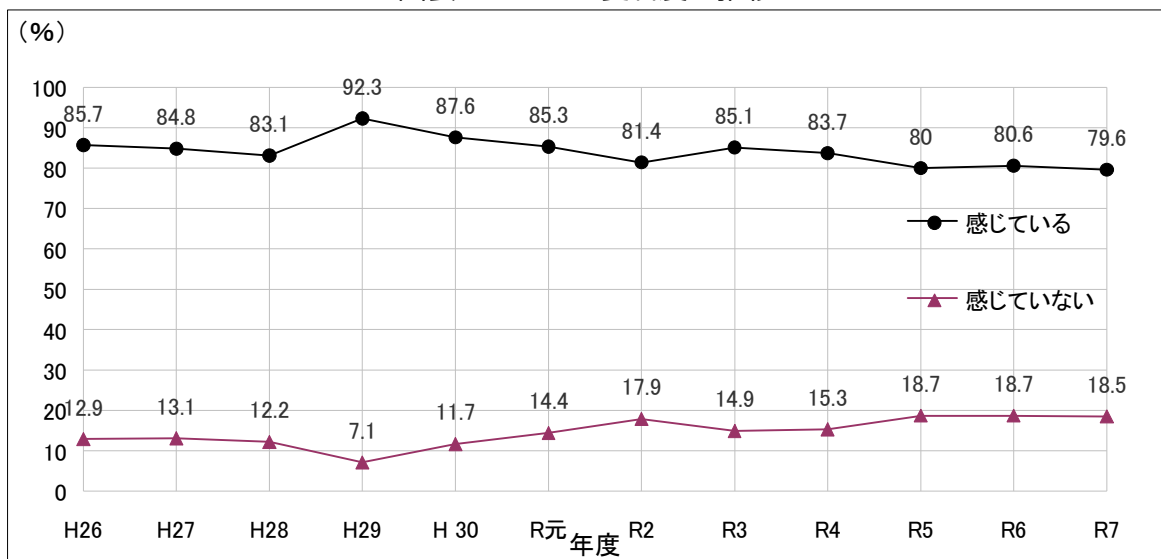
結果として「感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせた“愛着を感じている”人は79.6%となり、総じてまちへの愛着度は高いと言えます。【図表1】

また、これまでの推移をみると“愛着を感じている”人の割合は高い水準で横ばいとなっており、継続して高い愛着度を維持していると言えます。【図表2】

図表1 まちへの愛着度について（全体）



図表2 まちへの愛着度の推移

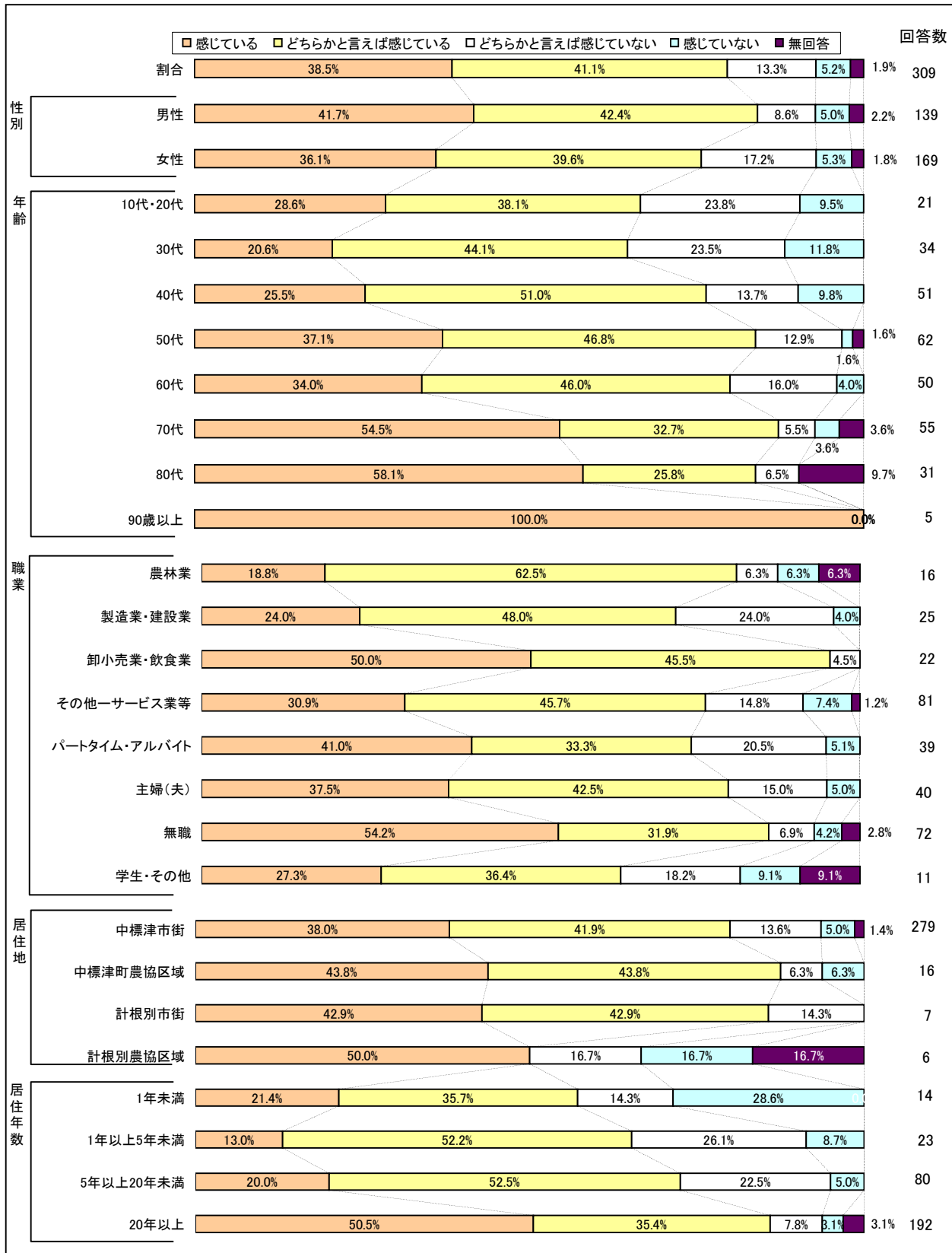


性別での“愛着を感じている”割合は男性84.1%、女性75.7%でした。

年齢別では、50代以上の世代では高い割合で“愛着を感じている”となっていますが、一方で40代以下の世代では低い割合となっています。

また、居住年数別の割合は、居住年数が長くなるにしたがって徐々に割合が高くなり、居住年数20年以上では85.9%の町民が“愛着を感じている”と回答しています。【図表3】

図表3 まちへの愛着度について（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



(2) 今後の定住意向について

問3 あなたは、今後も中標津町に住み続けたいと思いますか。

● “住み続けたい”が78.0%、“住みたくない”は16.2%。

（住み続けたい 42.1%

どちらかといえば住み続けたい 35.9%）

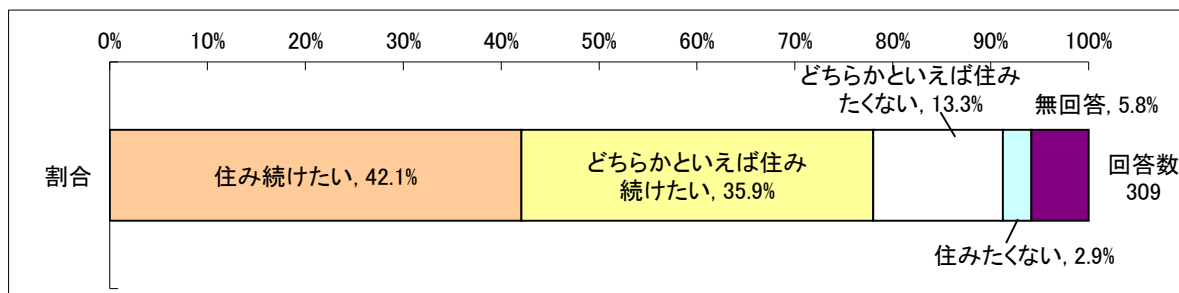
（住みたくない 2.9%

どちらかといえば住みたくない 13.3%）

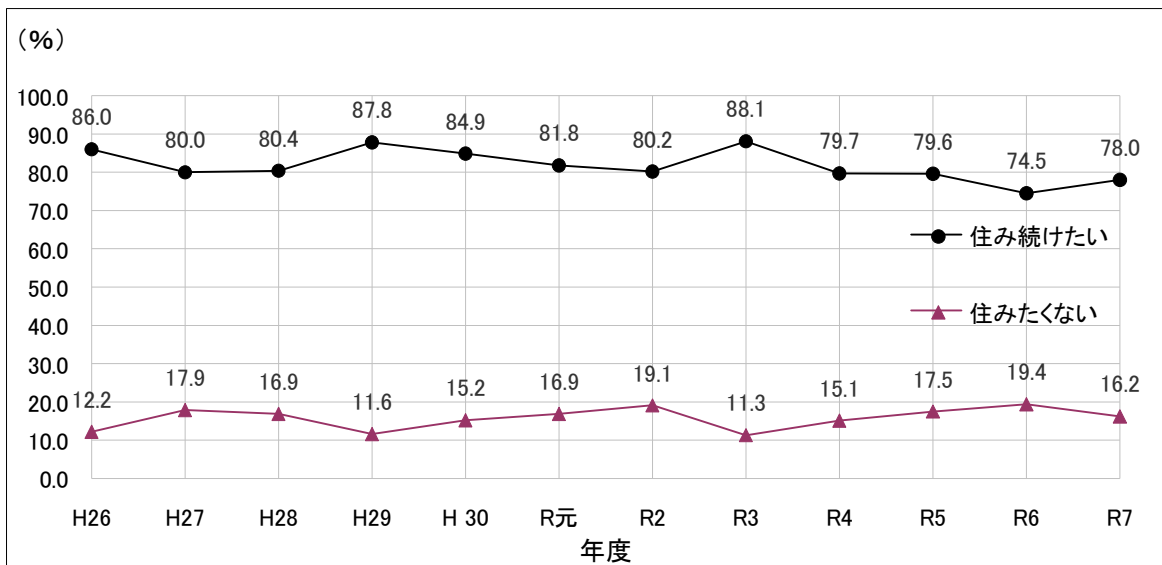
今後も町に住み続けたいかどうかをたずねたところ、「住み続けたい」と答えた人が130名・42.1%で最も多く、これに「どちらかといえば住み続けたい」（111名・35.9%）をあわせた241名・78.0%の人が“住み続けたい”という意向を示しています。

また、これまでの推移をみると“住み続けたい”人の割合は令和3年度のピーク以前より減少傾向となっており、なおかつ横ばい状態となっています。【図表5】

図表4 今後の定住意向について（全体）



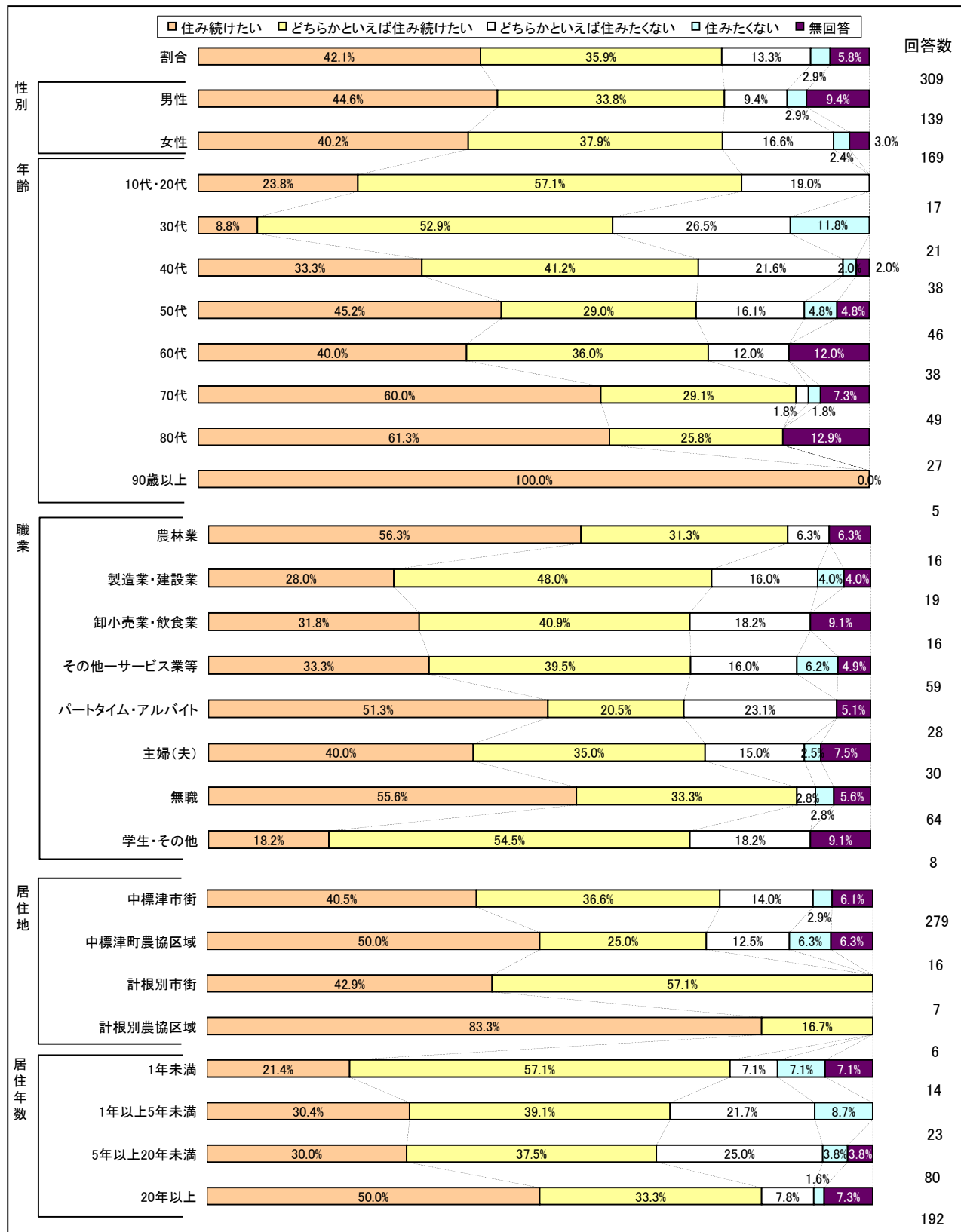
図表5 今後の定住意向の推移



男女別の“住み続けたい”割合は、男性が78.4%、女性が78.1%とほぼ同数の回答でした。年齢別では、どの年代も“住み続けたい”割合が高い結果となりました。

居住地別では、計根別農協区域が100%、また、居住年数別では、居住年数20年以上が87.4%、次いで1年未満が78.5%と高い割合で“住み続けたい”と回答しています。【図表6】

図表6 今後の定住意向について（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



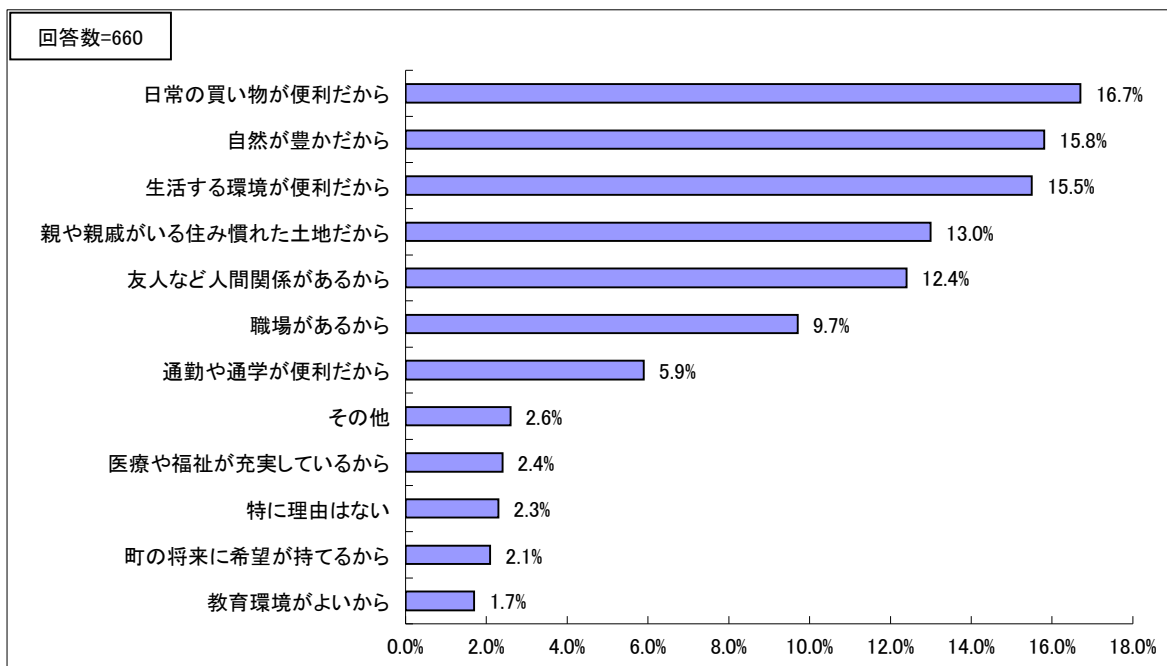
(3) 住み続けたい主な理由

問3-1 住み続けたい主な理由は何ですか。(問3で「住み続けたい」「どちらかといえ
ば住み続けたい」を選択した方のみ) 【複数回答】

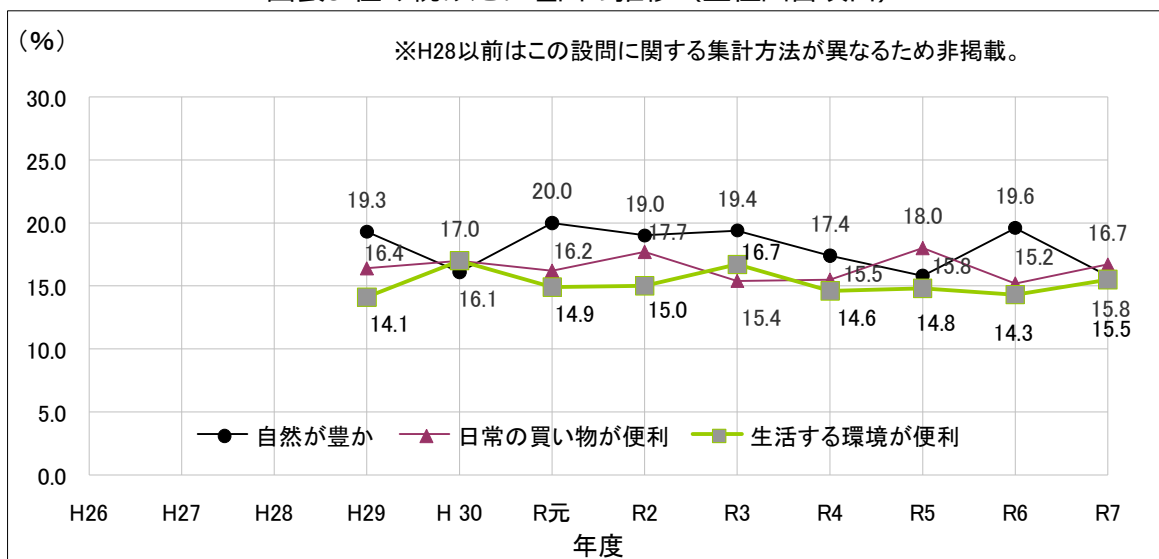
- 「日常の買い物が便利だから」が第1位。次いで「自然が豊かだから」、「生活する環境が便利だから」の順。

問3で“住み続けたい”と回答した人(全体の78.0%・241名)に理由をたずねたところ、
図表7のとおりとなりました。【図表7】

図表7 住み続けたい主な理由(全体/複数回答)



図表8 住み続けたい理由の推移(上位回答項目)



(4) 住みたくない主な理由

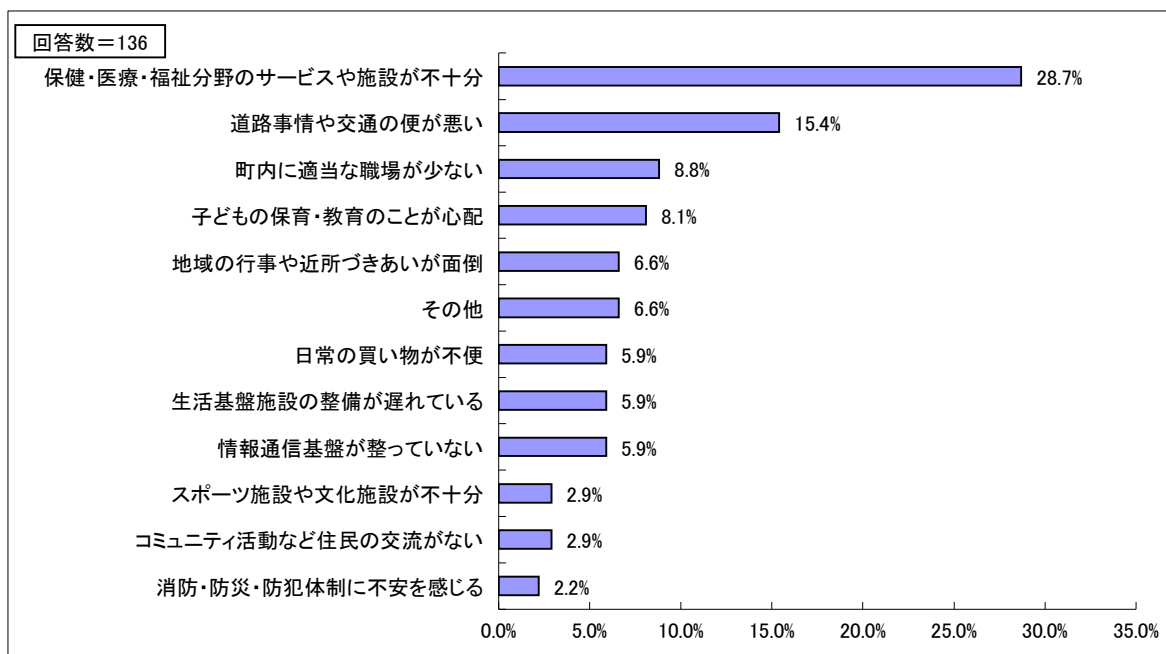
問3-2 住みたくない主な理由は何ですか。(問3で「住みたくない」「どちらかといえ
ば住みたくない」を選択した方のみ)【複数回答】

- 「保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分」が第1位。次いで「道路事情
や交通の便が悪い」、「町内に適当な職場が少ない」の順。

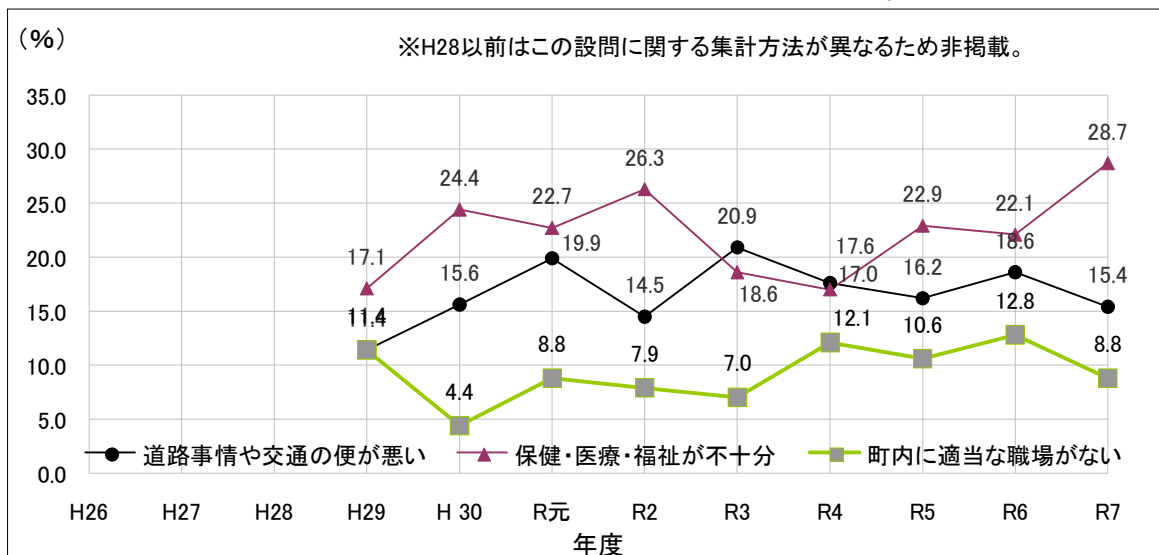
問3で“住みたくない”と回答した人(全体の16.2%・50名)に理由をたずねたところ、
図表9のとおりとなりました。【図表9】

また、上位項目のこれまでの推移をみると、「道路事情や交通の便が悪い」「町内に適当
な職場がない」の割合は昨年より減少していますが、「保健・医療・福祉分野のサービスや
施設が不十分」の割合は増加傾向にあります。

図表9 住みたくない主な理由(全体/複数回答)



図表10 住みたくない理由の推移(上位回答項目)



2 まちの取り組みについて

問4 まちの計画や取り組みに関心を持っていますか。

● “関心を持っている”が61.5%、“関心を持っていない”が29.2%。

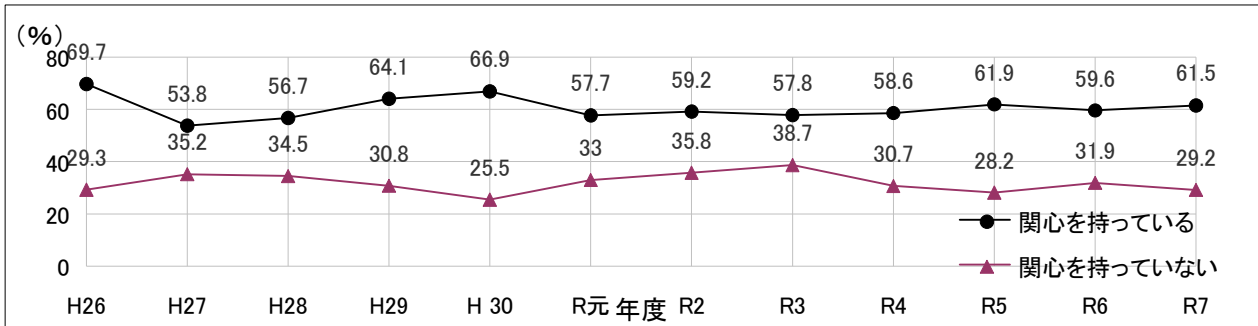
(関心を持っている 17.8%) (関心を持っていない 7.8%)
 (どちらかといえば関心を持っている 43.7%) (どちらかといえば関心を持っていない 21.4%)

「どちらかといえば関心を持っている」と答えた人が43.7%で、これに「関心を持っている」(17.8%)をあわせた“関心を持っている”という人が61.5%となりました。

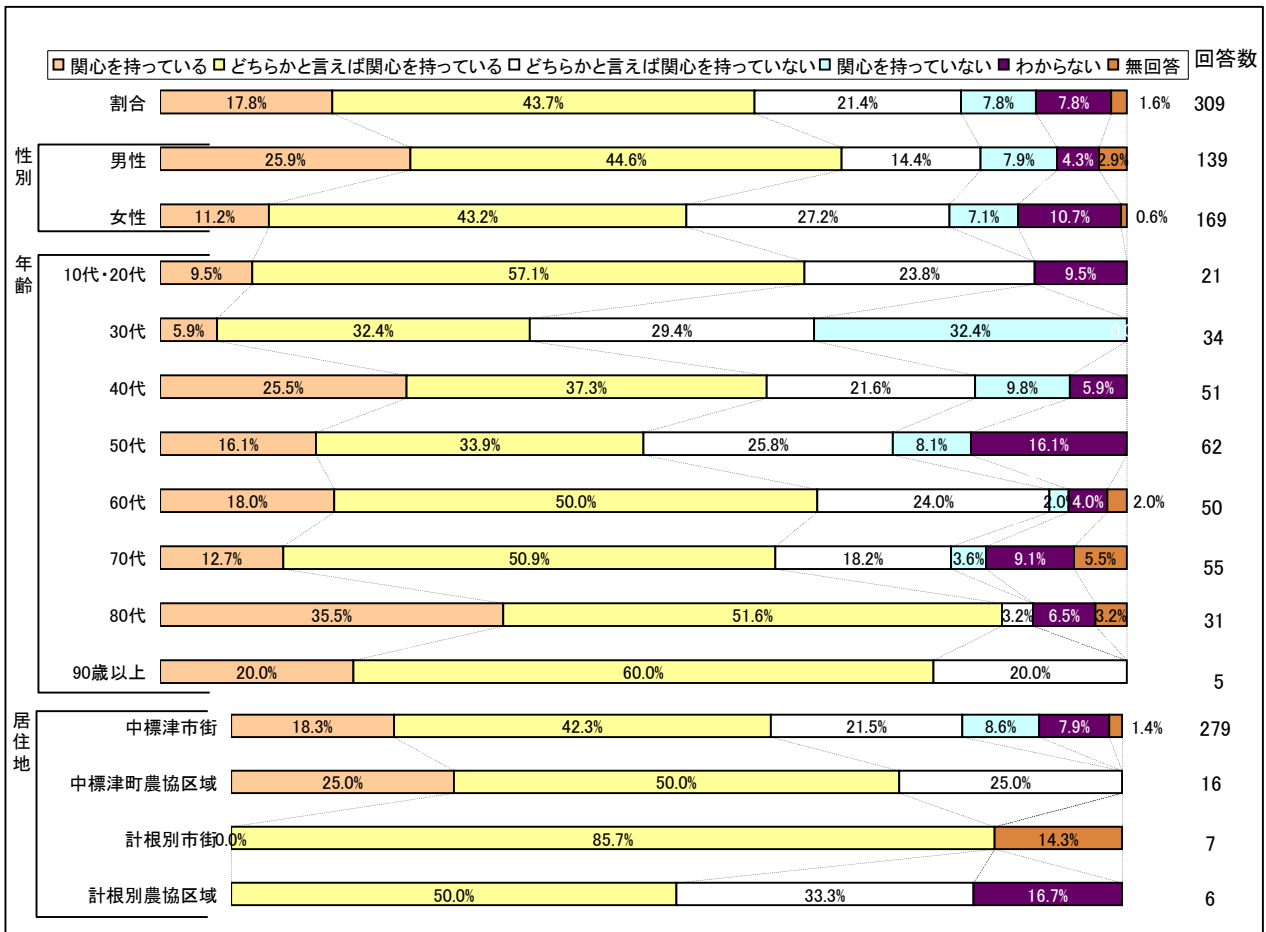
これまでの推移をみると概ね横ばいで推移していることが分かります。【図表11】

性別では男性(70.5%)が女性(54.4%)よりも関心が高いことが伺えます。【図表12】

図表11 町の計画や取り組みへの関心度の推移



図表12 まちの計画や取り組みへの関心について (全体、性別、年齢、居住地)



問5 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか。

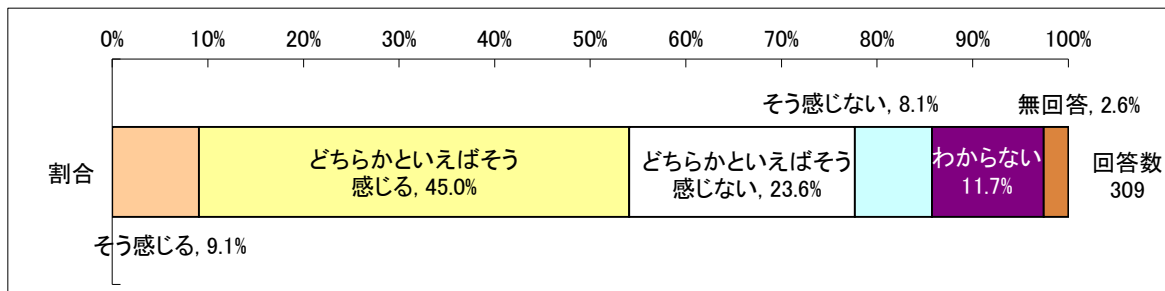
● “そう感じる”が54.1%、“そう感じない”は31.7%。

(そう感じる 9.1%
 どちらかといえばそう感じる 45.0%)
 (そう感じない 8.1%
 どちらかといえばそう感じない 23.6%)

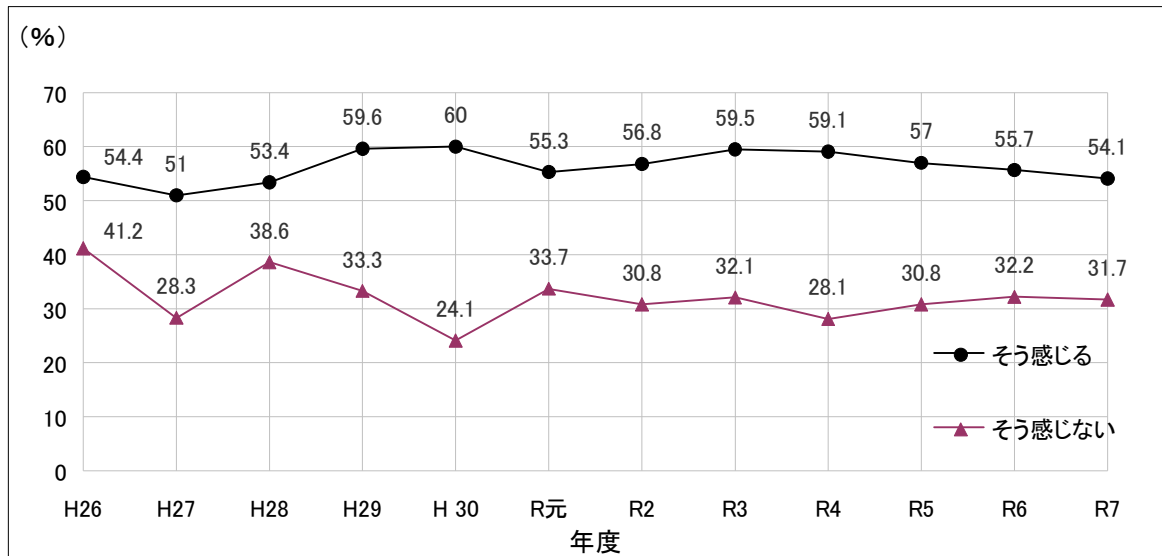
町の情報について知りたい情報が得られているかどうかについて「そう感じる」と答えた人が9.1%で、これに「どちらかといえばそう感じる」（45.0%）をあわせた“そう感じる”人は54.1%となりました。

また、これまでの推移をみると“そう感じる”人の割合は概ね横ばいで推移していますが、徐々に減少傾向にあります。【図表14】

図表13 知りたい情報が得られているか（全体）



図表14 知りたい情報が得られている町民割合の推移



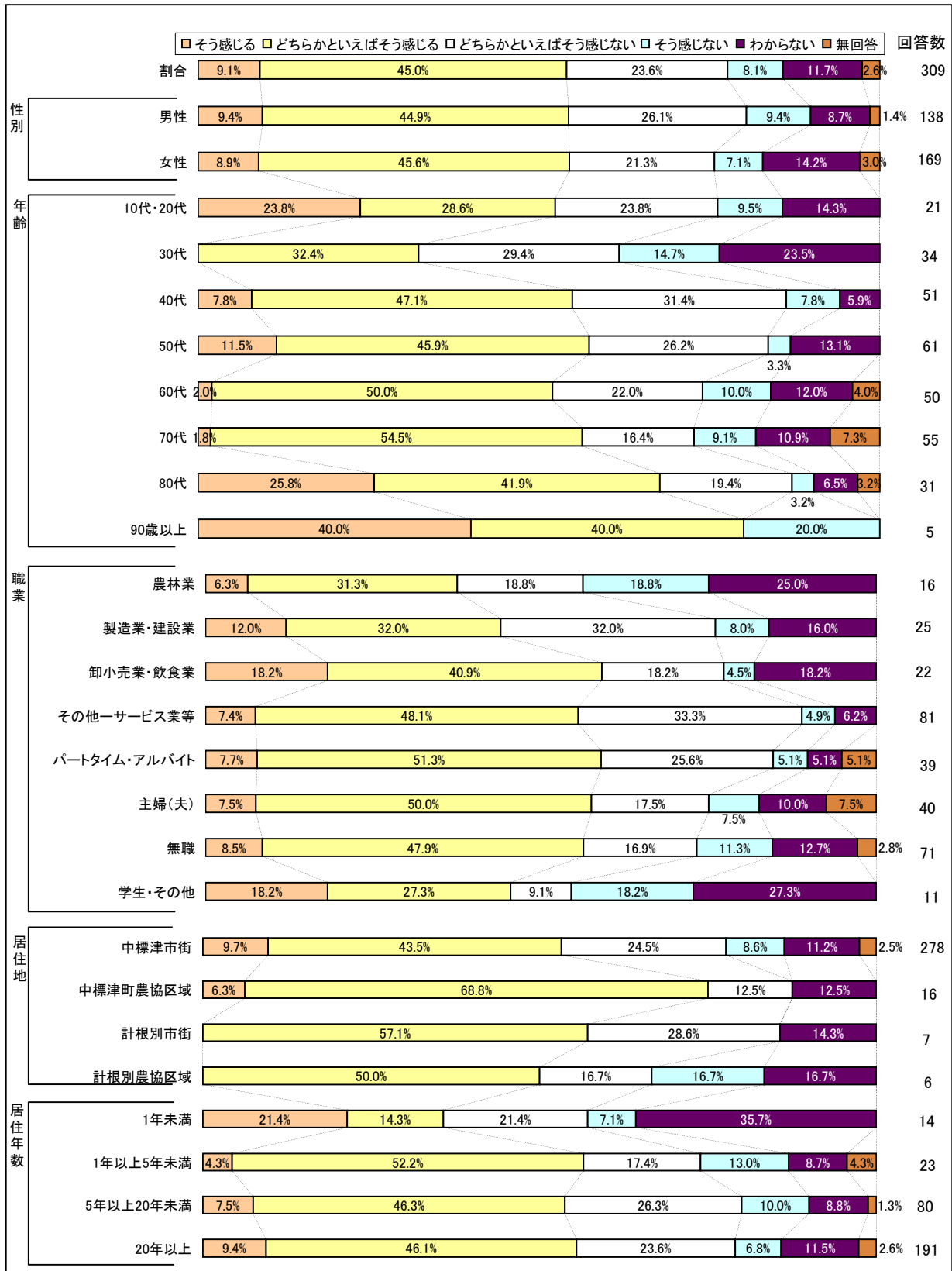
性別でみると、“そう感じる”割合は男性54.3%、女性54.5%とほぼ同数です。

年齢別では、“そう感じる”割合が30代では32.4%と低い結果となりましたが、その他の世代では比較的高い割合を占めています。

また、居住年数別では、一年未満の方の“そう感じる”割合が低い結果となりました。

【図表15】

図表15 知りたい情報が得られているか（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）

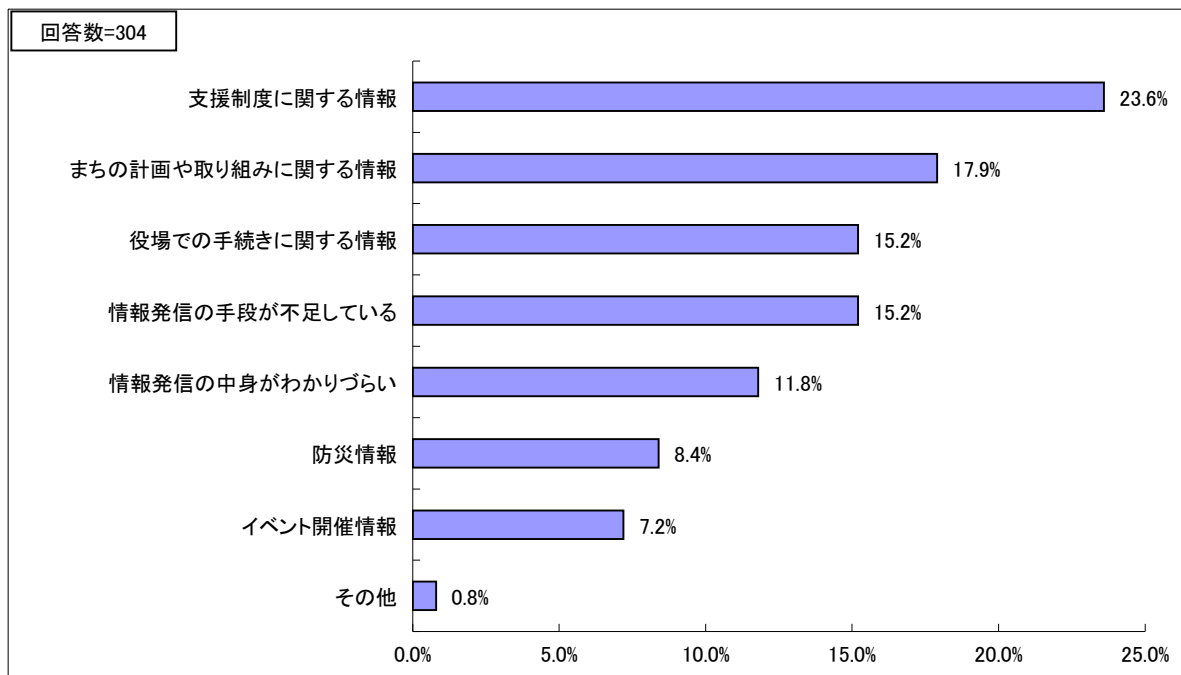


問5-1 特にどのような情報が不足していると感じますか（問5で「そう感じない」「どちらかといえばそう感じない」を選択した方のみ）【複数回答】

● 「支援制度に関する情報」が第1位。次いで「まちの計画や取り組みに関する情報」、「役場での手続きに関する情報」並びに「情報発信の手段が不足している」の順。

問5で“そう感じない”と回答した人（31.7%・98名）に特にどのような情報が不足しているかたずねたところ「支援制度に関する情報」が最も高い結果となりました。【図表16】
年齢別では、60代で「まちの計画や取り組みに関する情報」が高い結果となった他、「役場での手続きに関する情報」が10~30代、50代で上位に入っています。【図表17】

図表16 特に不足している情報（全体／複数回答）



図表17 特に不足している情報（性別、年齢／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	支援制度に関する情報 21.4	まちの計画や取り組みに関する情報 19.8	情報発信の手段が不足している 16.8
	女性	支援制度に関する情報 25.4	役場での手続きに関する情報 16.9	まちの計画や取り組みに関する情報 16.2
年齢	10代・20代	支援制度に関する情報 35.7	役場の手続きに関する情報 21.4	同率複数のため省略 -
	30代	支援制度に関する情報 18.4	役場の手続きに関する情報 (同率1位) 18.4	同率複数のため省略 -
	40代	支援制度に関する情報 21.2	まちの計画や取り組みに関する情報 17.3	情報発信の中身がわかりづらい (同率2位) 17.3
	50代	支援制度に関する情報 21.7	役場での手続きに関する情報 19.6	同率複数のため省略 -
年齢	60代	まちの計画や取り組みに関する情報 26.8	支援制度に関する情報 19.5	役場の手続きに関する情報 (同率2位) 19.5
	70代	支援制度に関する情報 30.8	情報発信の手段が不足している 15.4	同率複数のため省略 -
	80代	支援制度に関する情報 30.0	まちの計画や取り組みに関する情報 20.0	同率複数のため省略 -
	90歳以上	支援制度に関する情報 50.0	情報発信の中身がわかりづらい (同率1位) 50.0	

問6 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか。

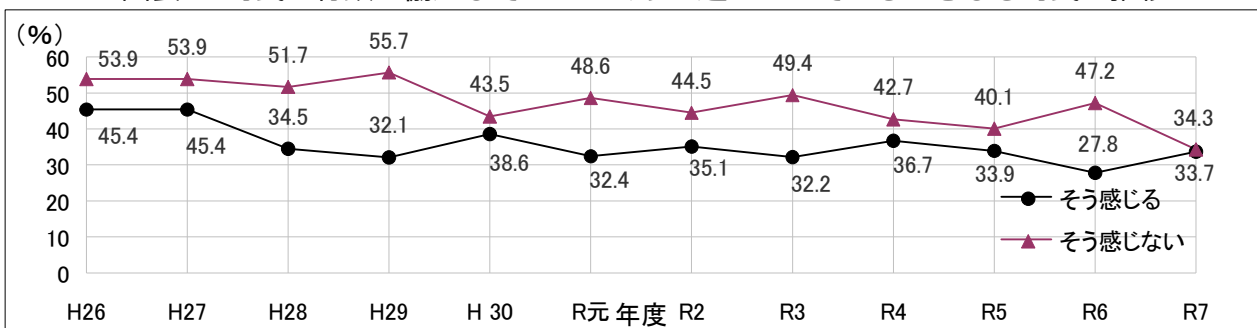
● “そう感じる”が33.7%、“そう感じない”が34.3%。

（そう感じる 5.5%
 どちらかといえばそう感じる 28.2%） （そう感じない 12.0%
 どちらかといえばそう感じない 22.3%）

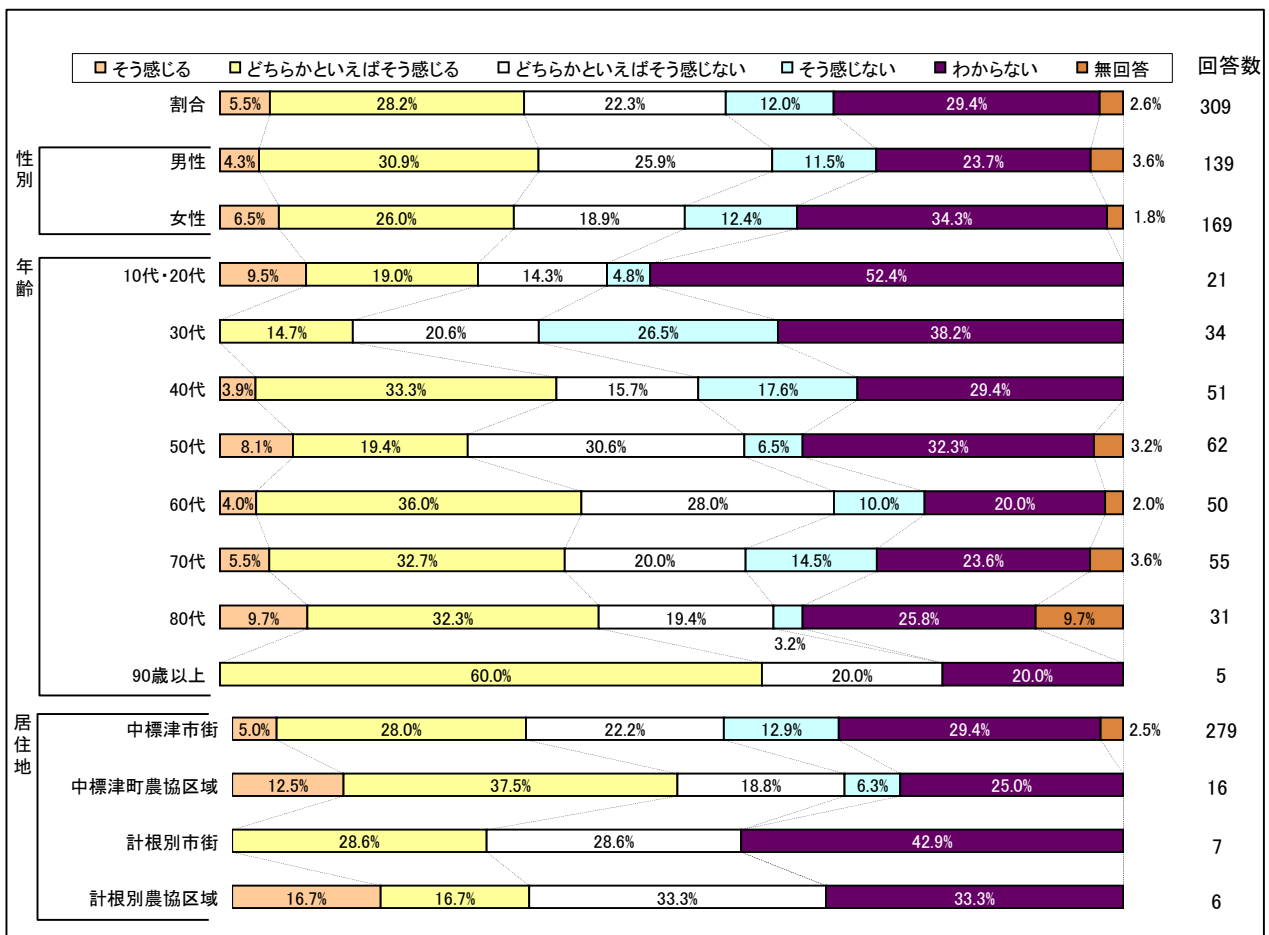
「そう感じる」（5.5%）と「どちらかといえばそう感じる」（28.2%）をあわせて“そう感じる”人は33.7%となりました。

減少傾向であった“そう感じない”の割合が“そう感じる”と同程度になりました。【図表18】
 年齢別では、90歳以上を除いた年代で“そう感じる”割合が低い結果となりました。また、30代以下での“わからない”の割合が高い結果となっています。【図表19】

図表18 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じる町民の推移



図表19 町民と行政が協力してまちづくりが進められているか（全体、性別、年齢、居住地）



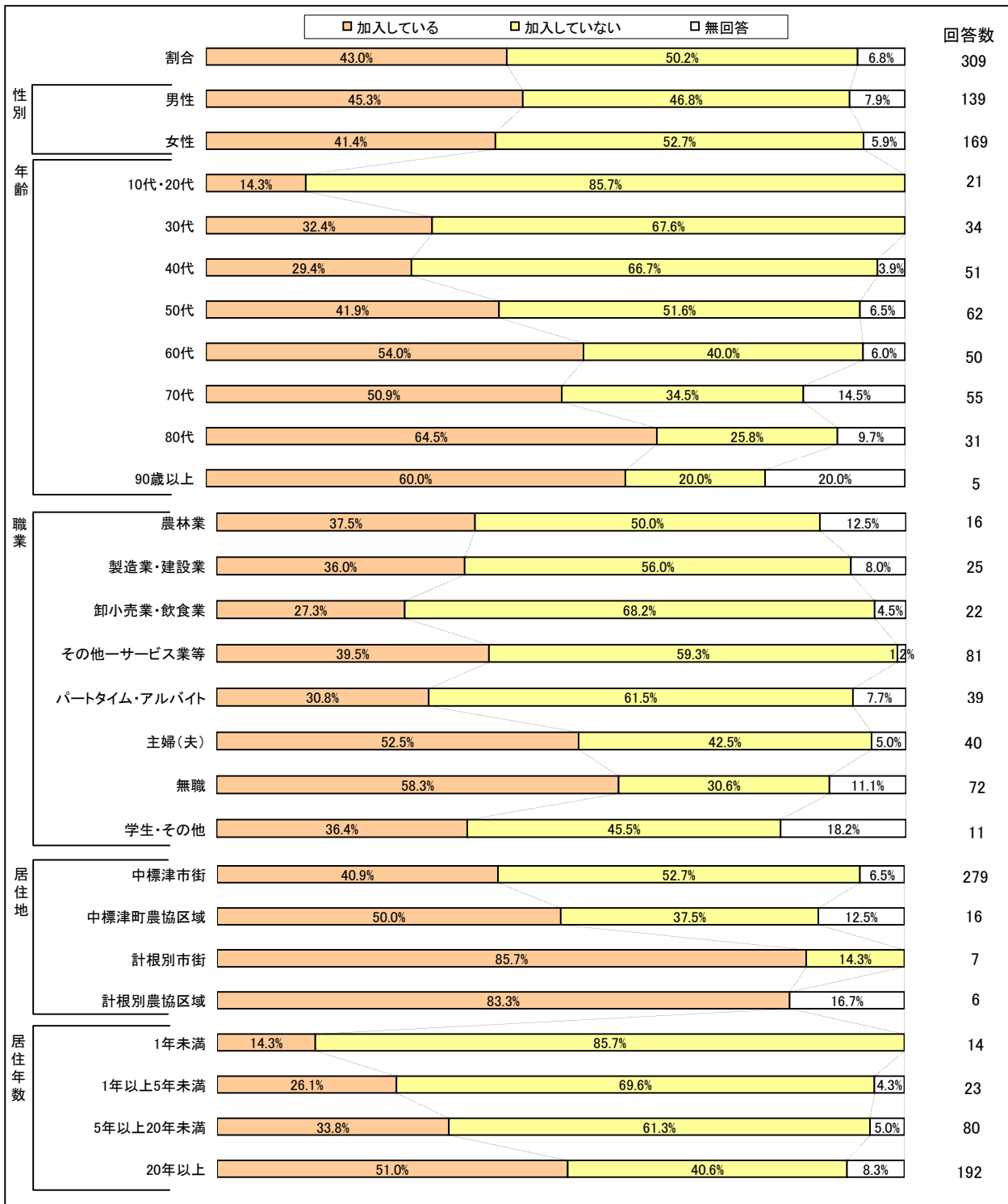
問7 あなたは町内会に加入していますか。

● “加入している”が43.0%、“加入していない”は50.2%。

町内会に“加入している”と回答した人は全体で43.0%、男性で45.3%、女性で41.4%と男性の方が若干高い結果となった他、年齢別では10代・20代で特に低く、60代以上で高い結果となりました。

また、居住年数別では居住年数1年未満の方が特に低い結果となりました。【図表20】

図表20 町内会に加入しているか（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



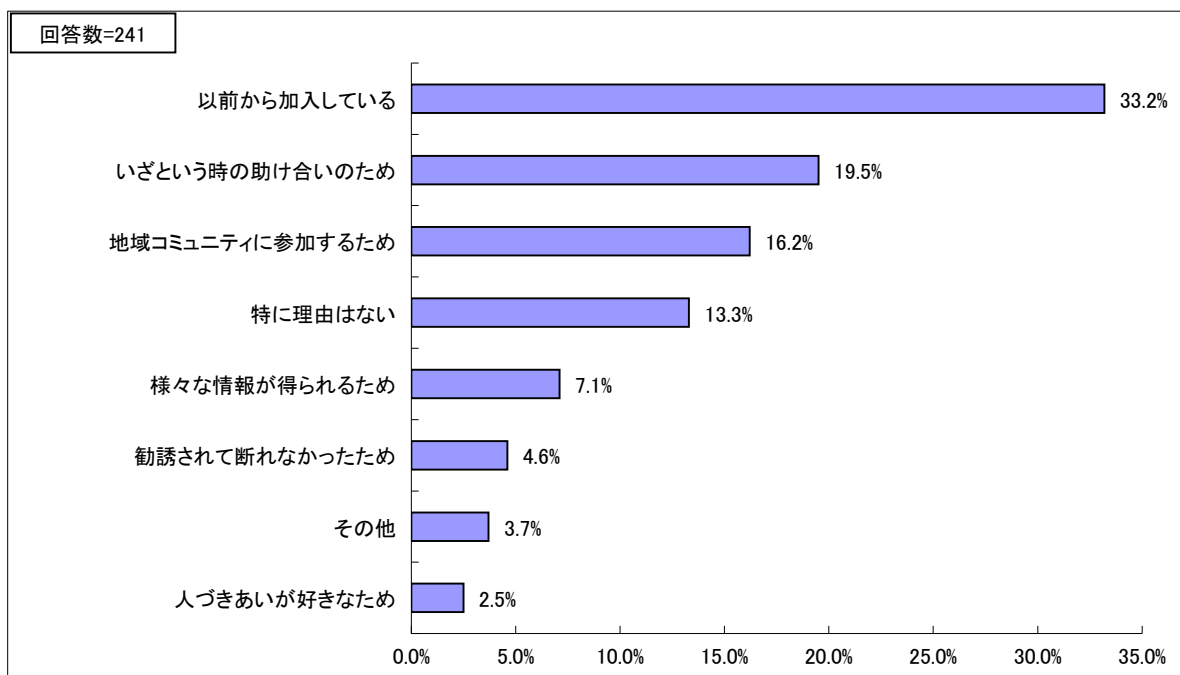
問7-1 町内会に加入している主な理由は何ですか。（問7で「加入している」を選択した方のみ）【複数回答】

- 「以前から加入している」が第1位。次いで「いざという時の助け合いのため」、
「地域コミュニティに参加するため」の順。

問7で“加入している”と回答した人（全体の43.0%・133名）に加入している主な理由をたずねたところ「以前から加入している」が最も高い結果となりました。【図表21】

次いで「いざという時の助け合いのため」が高く、また、30代以下では「特に理由はない」が高い結果となっています。【図表22】

図表21 町内会に加入している主な理由（全体／複数回答）



図表22 町内会に加入している主な理由（性別、年齢／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	以前から加入している 31.7	地域コミュニティに参加するため 22.8	いざという時の助け合いのため 17.9
	女性	以前から加入している 34.7	いざという時の助け合いのため 21.2	特に理由はない 16.9
年齢	10代・20代	特に理由はない 66.7	以前から加入している 33.3	
	30代	特に理由はない 35.7	地域コミュニティに参加するため 21.4	勧誘されて断れなかったため (同率2位) 21.4
	40代	いざという時の助け合いのため 22.2	地域コミュニティに参加するため 22.2	以前から加入している 18.5
	50代	以前から加入している 30.6	いざという時の助け合いのため 25.0	同率複数のため省略 -
	60代	以前から加入している 43.6	いざという時の助け合いのため 15.4	地域コミュニティに参加するため (同率2位) 15.4
年齢	70代	以前から加入している 34.3	いざという時の助け合いのため 21.4	地域コミュニティに参加するため 14.3
	80代	以前から加入している 36.2	いざという時の助け合いのため 21.3	地域コミュニティに参加するため 17.0
	90歳以上	以前から加入している 60.0	いざという時の助け合いのため 20.0	地域コミュニティに参加するため (同率2位) 20.0

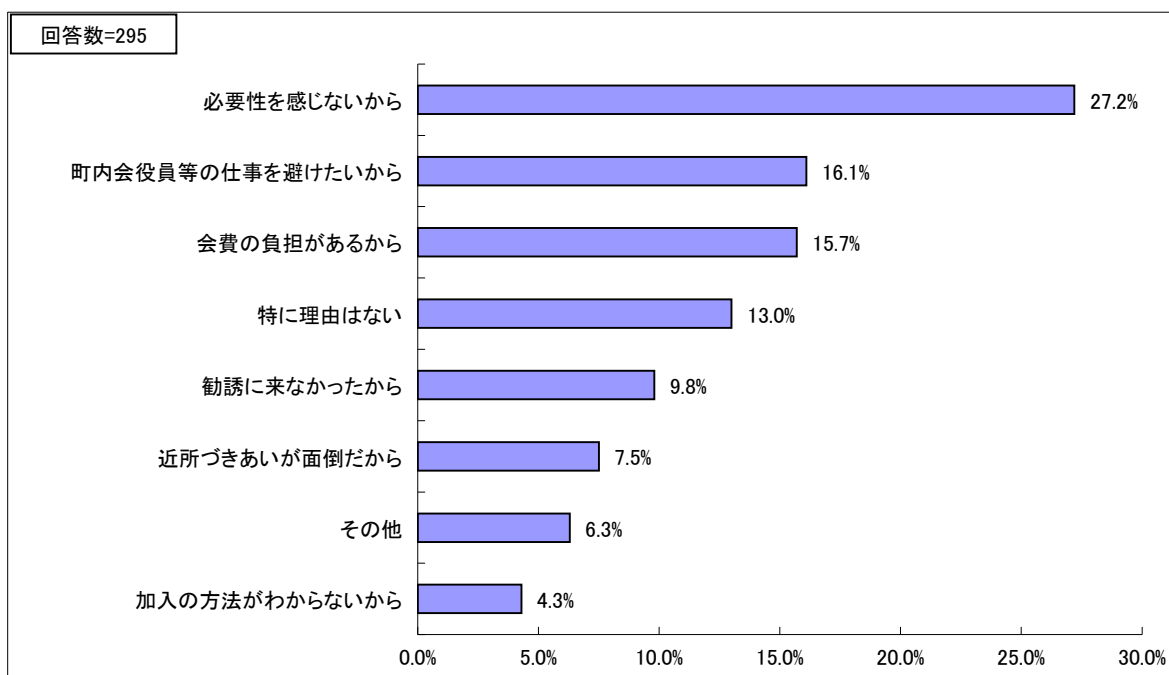
問7-2 町内会に加入していない主な理由は何ですか。（問7で「加入していない」を選択した方のみ）【複数回答】

●「必要性を感じないから」が第1位。次いで「町内会役員等の仕事を避けたいから」、「会費の負担があるから」の順。

問7で“加入していない”と回答した人（全体の50.2%・155名）に加入していない主な理由をたずねたところ「必要性を感じないから」が最も高い結果となりました。【図表23】

「必要性を感じないから」は30代～80代で、また10代・20代では「特に理由はない」が多く回答されていました。30代～70代では「町内会役員等の仕事を避けたいから」「会費の負担があるから」も上位に入っていました。【図表24】

図表23 町内会に加入していない主な理由（全体／複数回答）



図表24 町内会に加入していない主な理由（性別、年齢／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	必要性を感じないから 25.2	会費の負担があるから 16.2	町内会役員等の仕事を避けたいから 15.3
	女性	必要性を感じないから 28.2	町内会役員等の仕事を避けたいから 16.9	会費の負担があるから 15.5
年齢	10代・20代	特に理由はない 40.0	必要性を感じないから 15.0	同率複数のため省略 -
	30代	必要性を感じないから 22.2	町内会役員等の仕事を避けたいから (同率1位) 22.2	会費の負担があるから 17.8
	40代	必要性を感じないから 24.6	会費の負担があるから 18.0	町内会役員等の仕事を避けたいから 14.8
	50代	必要性を感じないから 27.3	町内会役員等の仕事を避けたいから 20.0	勧誘に来なかったから 14.5
	60代	必要性を感じないから 35.0	会費の負担があるから 17.5	町内会役員等の仕事を避けたいから 15.0
	70代	必要性を感じないから 39.1	会費の負担があるから 21.7	同率複数のため省略 -
	80代	必要性を感じないから 30.0	その他 (同率1位) 30.0	特に理由はない 20.0
	90歳以上	回答なし	回答なし	回答なし -

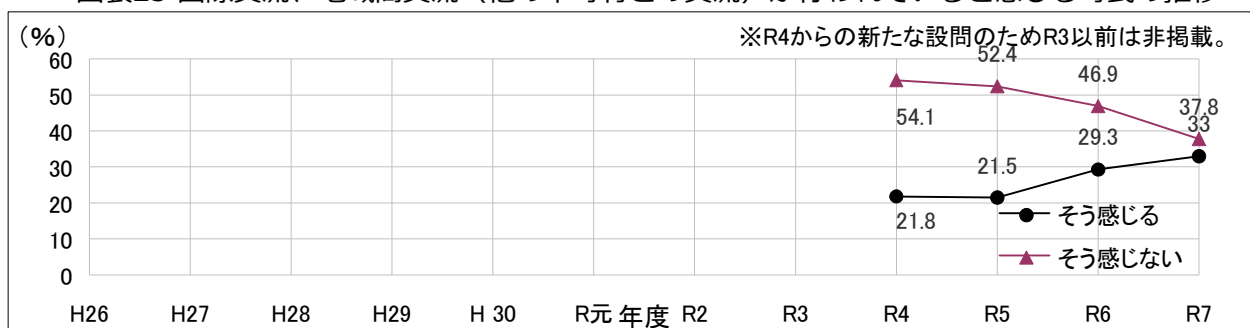
問8 国際交流、地域間交流（他の市町村との交流）が行われていると感じますか。

● “そう感じる”が33.0%、“そう感じない”が37.8%。

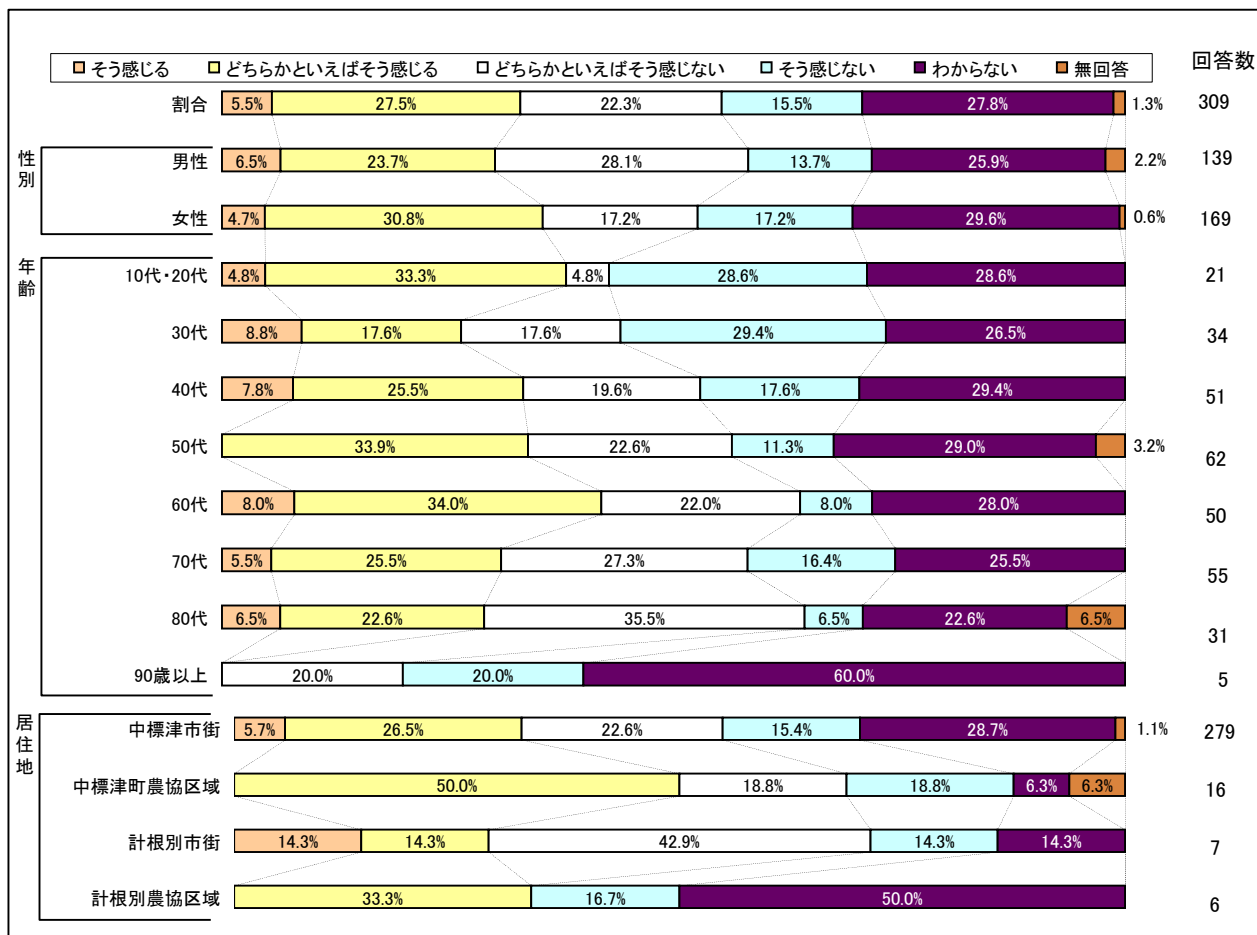
（そう感じる 5.5%
どちらかといえばそう感じる 27.5%） （そう感じない 15.5%
どちらかといえばそう感じない 22.3%）

「そう感じる」（5.5%）と「どちらかといえばそう感じる」（27.5%）をあわせて“そう感じる”人は33.0%、「そう感じない」（15.5%）と「どちらかといえばそう感じない」（22.3%）をあわせた“そう感じない”人の37.8%と、それぞれの推移に変化がみられます。【図表25】性別では、男性（30.2%）よりも女性（35.5%）の方が“そう感じる”割合が高く、年齢別では、10代・20代（38.1%）、60代（42.0%）で比較的高い結果となりました。【図表26】

図表25 国際交流、地域間交流（他の市町村との交流）が行われていると感じる町民の推移



図表26 国際交流、地域間交流（他の市町村との交流）が行われていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問9 北方領土問題を身近な問題として感じますか。

● “そう感じる”が50.5%、“そう感じない”が36.5%。

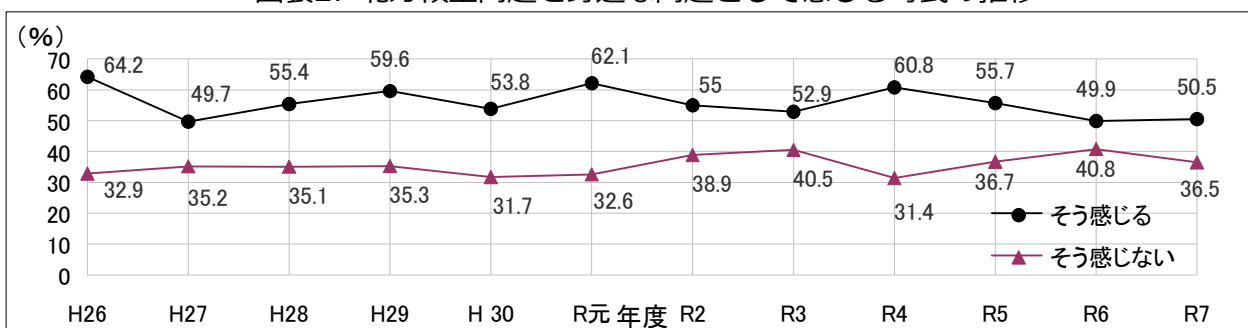
（そう感じる 20.1%
 どちらかといえばそう感じる 30.4%） （そう感じない 15.5%
 どちらかといえばそう感じない 21.0%）

「そう感じる」（20.1%）と「どちらかといえばそう感じる」（30.4%）をあわせて“そう感じる”人は50.5%となりました。

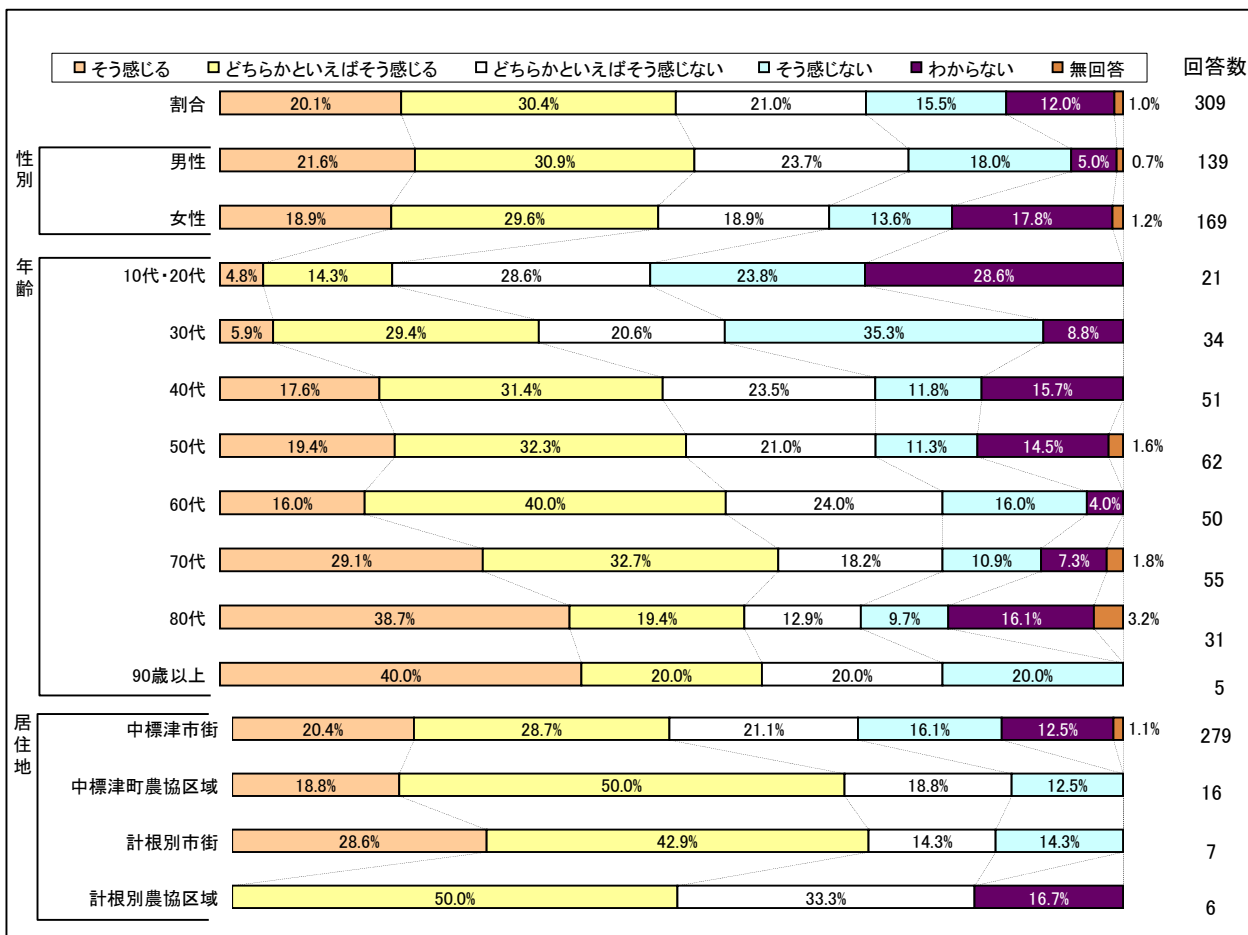
これまでの推移を長期で見ると概ね横ばいで推移しています。【図表27】

年齢別で見ると40代以上では比較的高い割合となっていますが、10代・20代では低い結果となりました。【図表28】

図表27 北方領土問題を身近な問題として感じる町民の推移



図表28 北方領土問題を身近な問題として感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問10 男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活動に参画できていると感じますか。

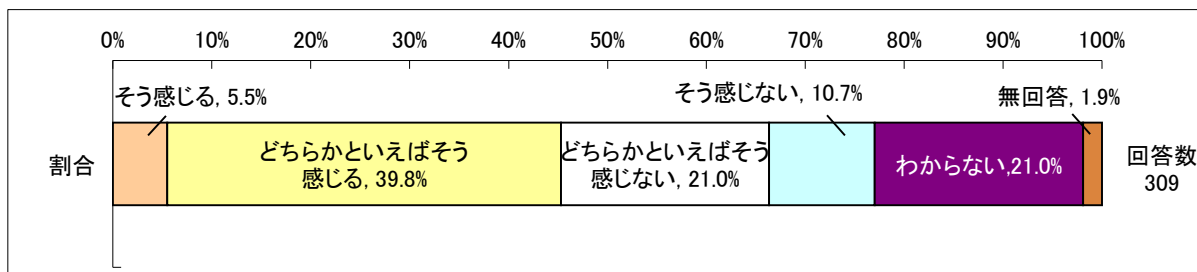
● “そう感じる”が45.3%、“そう感じない”は31.7%。

そう感じる 5.5% どちらかといえばそう感じる 39.8%	そう感じない 10.7% どちらかといえばそう感じない 21.0%
-----------------------------------	--------------------------------------

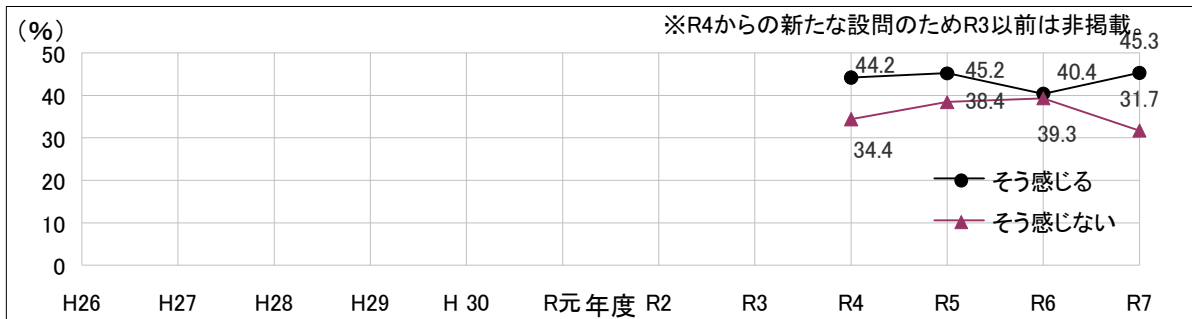
「そう感じる」(5.5%)と「どちらかといえばそう感じる」(39.8%)をあわせて“そう感じる”人は45.3%となり、「そう感じない」(10.7%)と「どちらかといえばそう感じない」(21.0%)をあわせた“そう感じない”人の31.7%よりも高い結果となりました。

また、「わからない」と回答した人が21.0%と比較的高い割合となりました。【図表29】

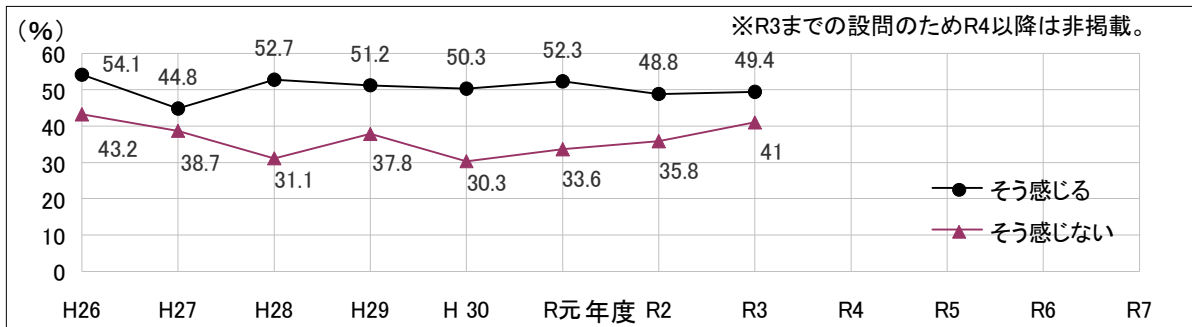
図表29 男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活動に参画できていると感じるか(全体)



図表30 男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活動に参画できていると感じる町民割合の推移



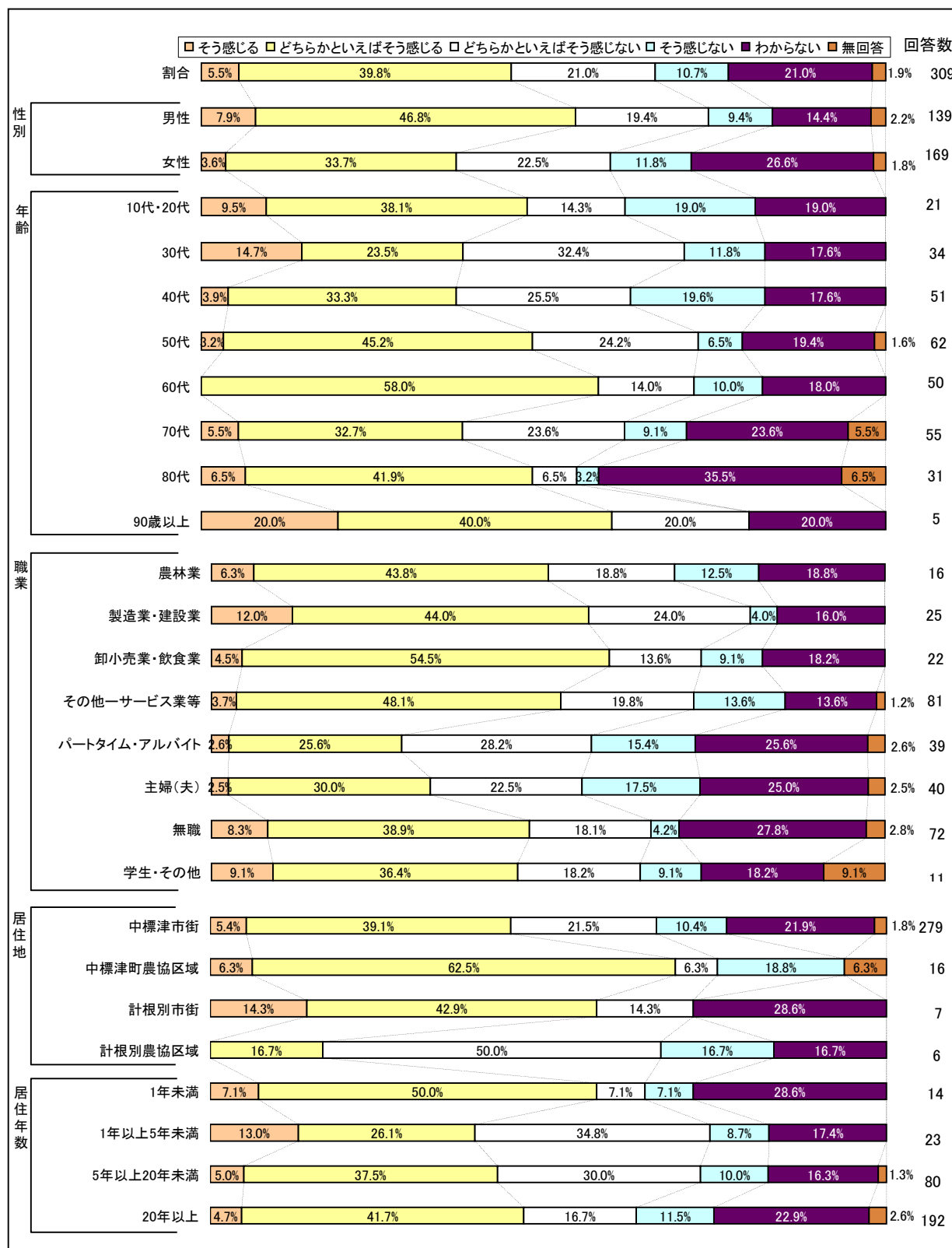
図表31 【参考】男女が平等に参加できる社会の仕組みになってきていると感じる町民割合の推移



性別での“そう感じる”割合は男性が54.7%、女性が37.3%と男女で認識に差がある結果となりました。年齢別では、30代（38.2%）・40代（37.2%）・70代（38.2%）でやや低い結果となりました。

職業別では、パートタイム・アルバイト（28.2%）、主婦（夫）（32.5%）で低い結果となっています。【図表32】

図表32 男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活動に参加できていると感じるか（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）

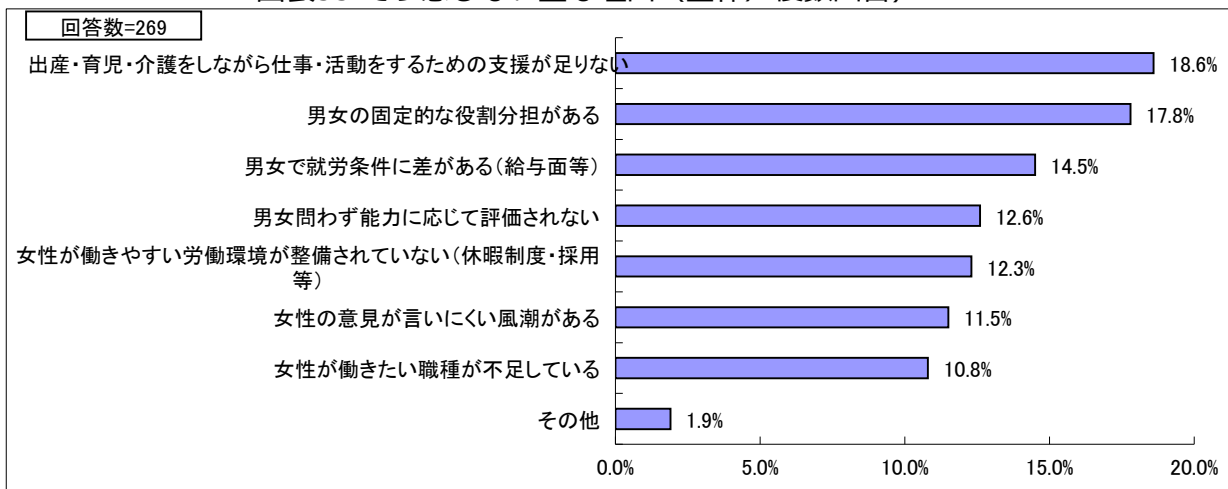


問10-1 そう感じない主な理由は何ですか。（問10で「そう感じない」「どちらかといえばそう感じない」を選択した方のみ）【複数回答】

- 「出産・育児・介護をしながら仕事・活動をするための支援が足りない」が第1位。次いで「男女の固定的な役割分担がある」、「男女で就労条件に差がある」の順。

問10で“そう感じない”と回答した人（全体の31.7%・98名）にそう感じない主な理由をたずねたところ「出産・育児・介護をしながら仕事・活動をするための支援が足りない」が最も高い結果となり【図表33】、性別では女性、年代別では10代から40代の方、また、複数の職業別でも上記理由が高い結果となりました。【図表34】

図表33 そう感じない主な理由（全体／複数回答）



図表34 そう感じない主な理由（性別、年齢、職業／複数回答：上位3位 %）

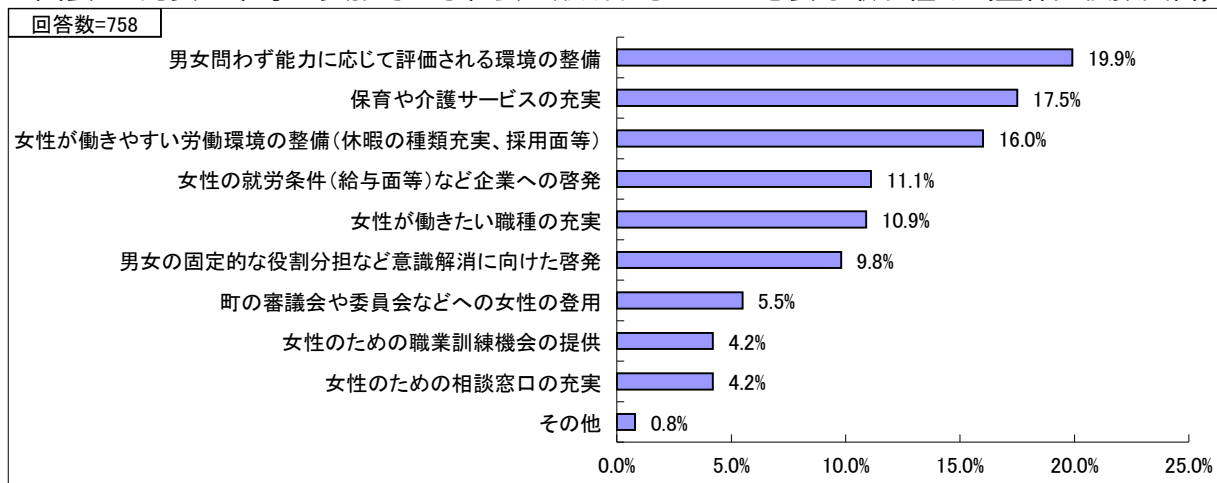
		第1位	第2位	第3位
性別	男性	男女の固定的な役割分担がある 22.5	男女で就労条件に差がある 18.6	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 15.7
	女性	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 20.4	男女の固定的な役割分担 15.0	女性が働きやすい労働環境 13.2
年齢	10代・20代	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 26.3	同率複数のため省略	同率複数のため省略
	30代	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 24.4	男女の固定的な役割分担 17.1	同率複数のため省略
	40代	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 20.3	男女の固定的な役割分担 17.7	男女で就労条件に差がある 15.2
	50代	男女の固定的な役割分担 22.4	男女問わず能力に応じて評価されない 18.4	同率複数のため省略
	60代	男女の固定的な役割分担がある 18.8	女性が働きやすい労働環境 (同率1位) 18.8	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 (同率1位) 18.8
年齢	70代	女性が働きたい職種が不足している 17.9	女性の意見が言いにくい風潮がある (同率1位) 17.9	同率複数のため省略
	80代	男女で就労条件に差がある 33.3	同率複数のため省略	同率複数のため省略
	90歳以上	同率複数のため省略	同率複数のため省略	同率複数のため省略
職業	農林業	男女の固定的な役割分担 25.0	同率複数のため省略	同率複数のため省略
	製造業・建設業	男女の固定的な役割分担 40.0	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 20.0	女性が働きたい職種が不足している 13.3
	卸小売業・飲食業	男女の固定的な役割分担 (同率1位) 19	女性が働きたい職種が不足している (同率1位) 19	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 (同率1位) 19
	その他-サービス業等	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 20.7	男女の固定的な役割分担 18.3	男女問わず能力に応じて評価されない 14.6
	パートタイム・アルバイト	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 20.0	男女で就労条件に差がある 16.0	同率複数のため省略
	主婦(夫)	出産・育児・介護しながら仕事をする支援 20.5	女性が働きやすい労働環境 18.2	男女の固定的な役割分担 15.9
	無職	男女で就労条件に差がある 24.1	男女の固定的な役割分担 17.2	同率複数のため省略
	学生・その他	同率複数のため省略	同率複数のため省略	同率複数のため省略

問11 男女が平等に参加できる社会を形成するために、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

- 「男女問わず能力に応じて評価される環境の整備」が第1位。次いで「保育や介護サービスの充実」、「女性が働きやすい環境の労働環境の整備」の順。

男女が平等に参加できる社会を形成するために必要な取り組みをたずねたところ、「男女問わず能力に応じて評価される環境の整備」「保育や介護サービスの充実」「女性が働きやすい労働環境整備」の3項目がほとんどの年代・職種で高い結果となりました。【図表35・36】

図表35 男女が平等に参加できる社会を形成するために必要な取り組み（全体／複数回答）



図表36 男女が平等に参加できる社会を形成するために必要な取り組み（年齢、居住地／複数回答：上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	男女問わず能力に応じて評価 24.0	保育や介護サービスの充実 15.1	女性が働きやすい労働環境整備 14.2
	女性	保育や介護サービスの充実 19.4	女性が働きやすい労働環境整備 17.4	男女問わず能力に応じて評価 16.7
年齢	10代・20代	女性が働きやすい労働環境整備 22.4	男女問わず能力に応じて評価 16.3	保育や介護サービスの充実 (同率2位) 16.3
	30代	保育や介護サービスの充実 19.4	女性が働きやすい労働環境整備 17.5	男女問わず能力に応じて評価 15.5
	40代	女性が働きやすい労働環境整備 17.3	保育や介護サービスの充実 16.8	男女問わず能力に応じて評価 15.0
	50代	男女問わず能力に応じて評価 21.5	保育や介護サービスの充実 16.1	女性の就労条件など企業への啓発 14.1
	60代	男女問わず能力に応じて評価 24.8	保育や介護サービスの充実 19.8	女性が働きやすい労働環境整備 17.4
	70代	男女問わず能力に応じて評価 21.9	保育や介護サービスの充実 17.1	女性が働きやすい労働環境整備 14.3
	80代	男女問わず能力に応じて評価 24.5	保育や介護サービスの充実 18.4	同率複数のため省略 -
	90歳以上	男女問わず能力に応じて評価 44.4	女性の就労条件など企業への啓発 22.2	同率複数のため省略 -
	職業	農林業	男女問わず能力に応じて評価 21.7	保育や介護サービスの充実 (同率1位) 21.7
製造業・建設業		男女問わず能力に応じて評価 23.0	男女の固定的な役割分担など意識解消 16.4	保育や介護サービスの充実 14.8
卸小売業・飲食業		男女問わず能力に応じて評価 20.5	女性が働きやすい労働環境整備 16.4	男女の固定的な役割分担など意識解消 15.1
その他-サービス業等		保育や介護サービスの充実 18.6	女性が働きやすい労働環境整備 18.1	男女問わず能力に応じて評価 16.7
パートタイム・アルバイト		保育や介護サービスの充実 19.8	女性が働きたい職種の充実 17.6	男女問わず能力に応じて評価 (同率2位) 17.6
主婦(夫)		保育や介護サービスの充実 24.4	男女問わず能力に応じて評価 17.8	女性が働きやすい労働環境整備 15.6
無職		男女問わず能力に応じて評価 24.1	女性が働きやすい労働環境整備 17.0	保育や介護サービスの充実 14.9
学生・その他		男女問わず能力に応じて評価 24.1	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -

問12 情報通信機器（スマートフォンやパソコン等）を持っていない又は操作が苦手なため、町の情報が得られず困ったことや申請ができず困ったことがありますか。

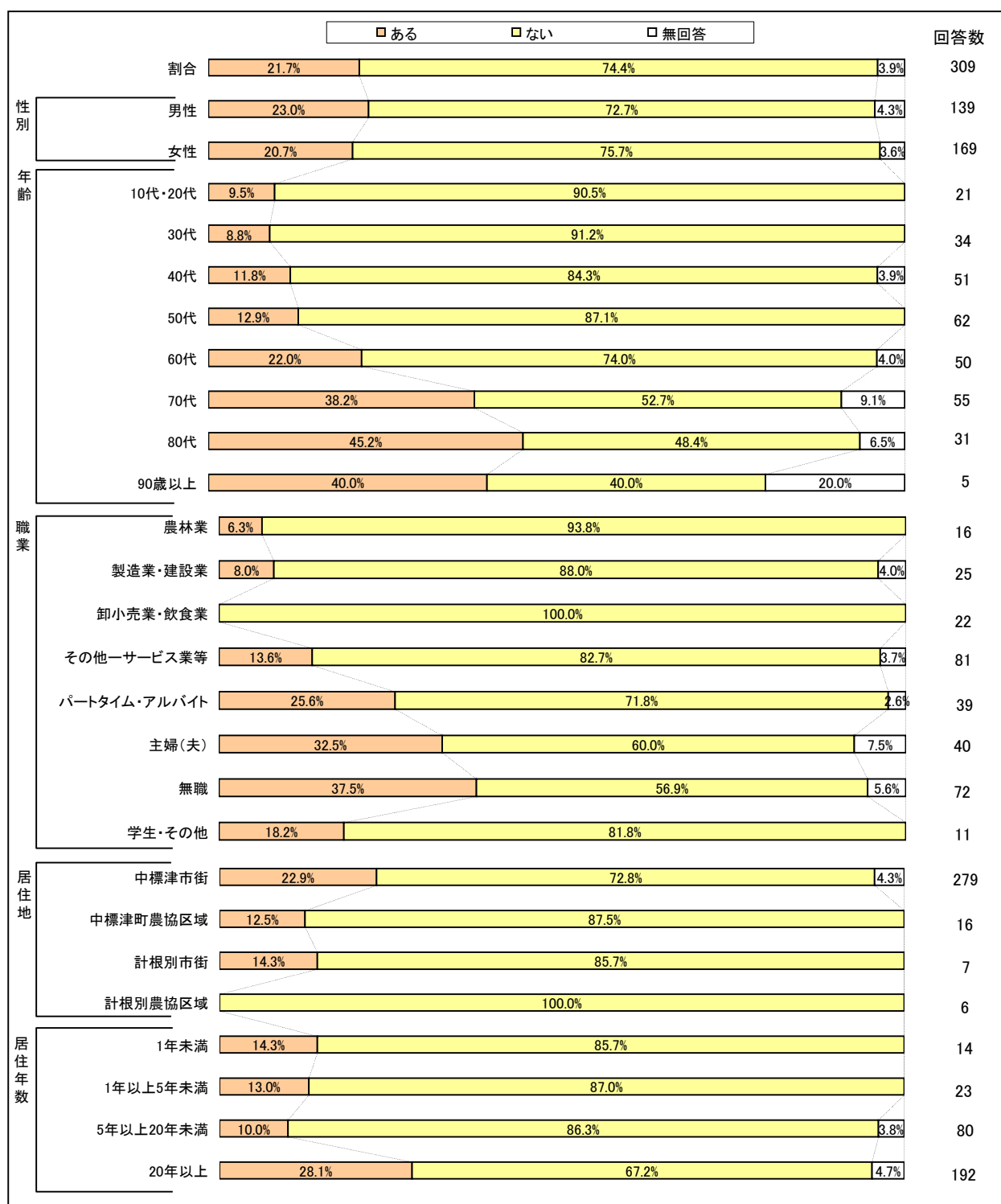
● “ある”が21.7%、“ない”は74.4%。

“ある”と回答した人は全体で21.7%、“ない”と回答した人は全体で74.4%となりました。年齢別では70代以降で“ある”人が3割以上となりました。

職業別での卸小売業・飲食業、居住地別での計根別農協区域で“ある”人が0%でした。

【図表37】

図表37 情報通信機器を持っていない又は操作が苦手な困ったことがあるか。（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



問12-1 主に何からまちの情報を取得しますか。（問12で「ある」を選択した方のみ）

【複数回答】

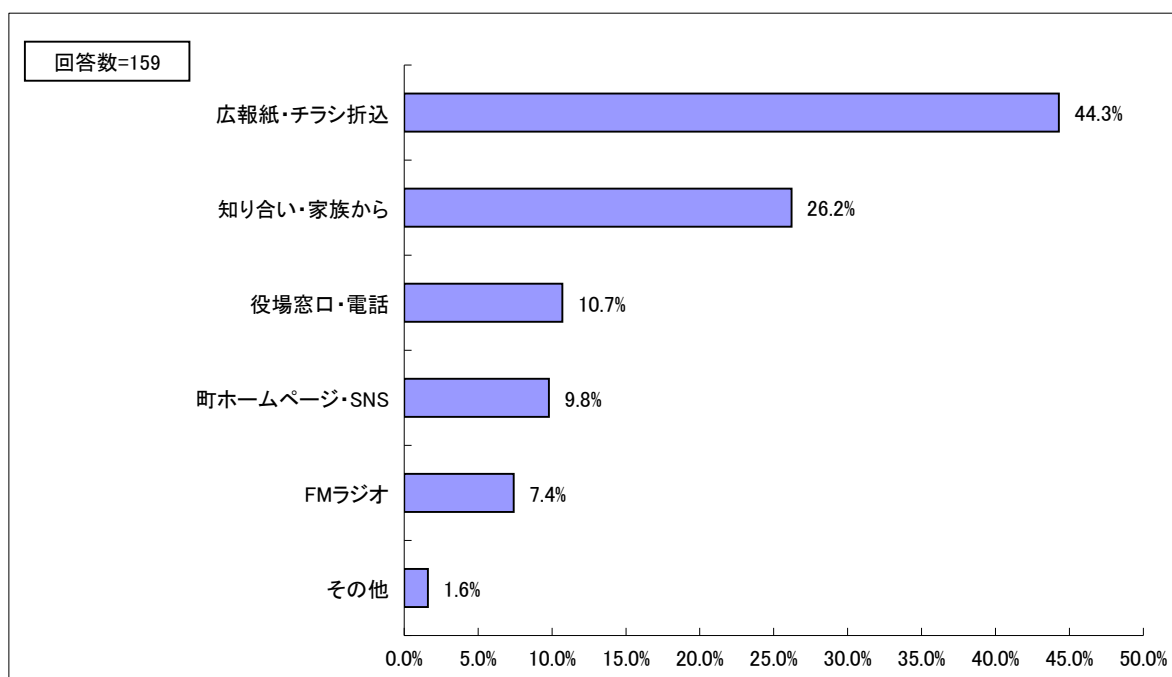
- 「広報紙・チラシ折込」が第1位。次いで「知り合い・家族から」、「役場窓口・電話」の順。

問12で“ある”と回答した人（全体の21.7%・67名）に主に何からまちの情報を取得しているかたずねたところ「広報紙・チラシ」が最も高く、次いで「知り合い・家族から」が高い結果となりました。【図表38】

年齢別では、ほとんどの年代で「広報紙・チラシ」が最も高い結果となりました。

【図表39】

図表38 主に何からまちの情報を取得しているか（全体／複数回答）



図表39 主に何からまちの情報を取得しているか（性別、年齢／複数回答）（上位3位 %）

性別	性別	第1位			第2位			第3位		
		情報源	割合	情報源	割合	情報源	割合	情報源	割合	
男性	男性	広報紙・チラシ折込	45.5	知り合い・家族から	20.0	役場窓口・電話	16.4			
	女性	広報紙・チラシ折込	43.3	知り合い・家族から	31.3	町ホームページ・SNS	11.9			
年齢	10代・20代	同率複数のため省略			同率複数のため省略			同率複数のため省略		
	30代	広報紙・チラシ折込	33.3	知り合い・家族から (同率1位)	33.3	町ホームページ・SNS	22.2			
	40代	広報紙・チラシ折込	33.3	町ホームページ・SNS (同率1位)	33.3	知り合い・家族から (同率1位)	33.3			
	50代	広報紙・チラシ折込	36.4	知り合い・家族から (同率1位)	36.4	役場窓口・電話	18.2			
	60代	広報紙・チラシ折込	44.0	知り合い・家族から	28.0	役場窓口・電話	12.0			
	70代	広報紙・チラシ折込	48.6	知り合い・家族から	18.9	同率複数のため省略				
	80代	広報紙・チラシ折込	50.0	知り合い・家族から	25.0	FMラジオ	12.5			
	90歳以上	広報紙・チラシ折込	50.0	知り合い・家族から	33.3	役場窓口・電話	16.7			

問13 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか。

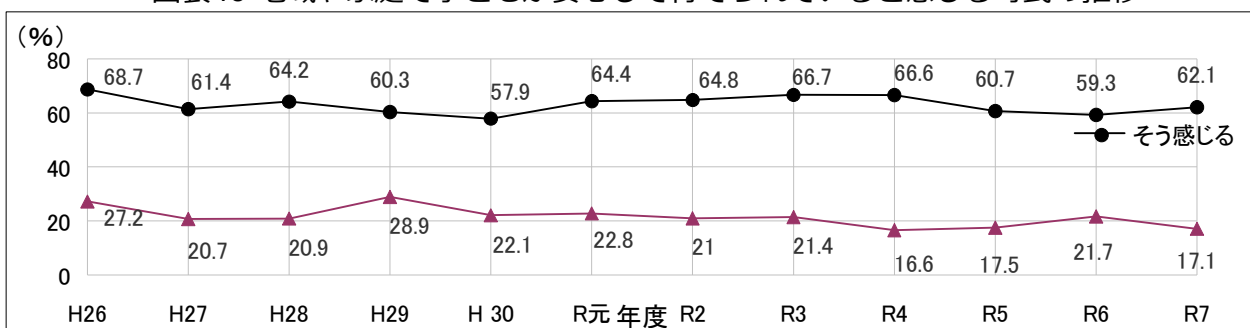
● “そう感じる”が62.1%、“そう感じない”が17.1%。

（そう感じる 13.6%
どちらかといえばそう感じる 48.5%） （そう感じない 7.1%
どちらかといえばそう感じない 10.0%）

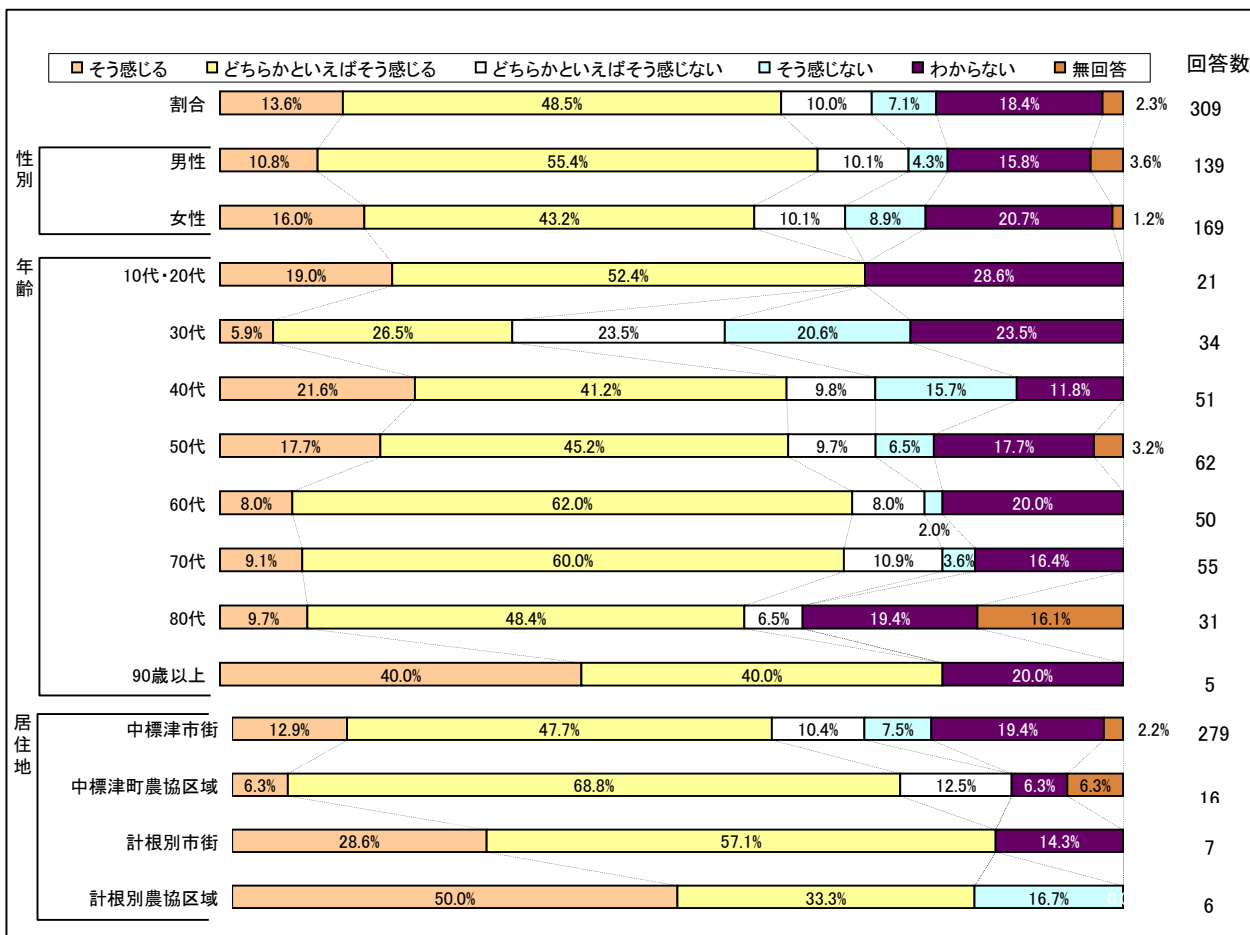
「そう感じる」（13.6%）と「どちらかといえばそう感じる」（48.5%）をあわせて“そう感じる”人は62.1%となりました。

直近の推移を見ると“そう感じる”人はおおむね横這いで推移しています。【図表40】
しかし年齢別での30歳代（32.4%）で低い結果となりました。【図表41】

図表40 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じる町民の推移



図表41 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問14 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じますか。

● “そう感じる”が38.9%、“そう感じない”が32.1%。

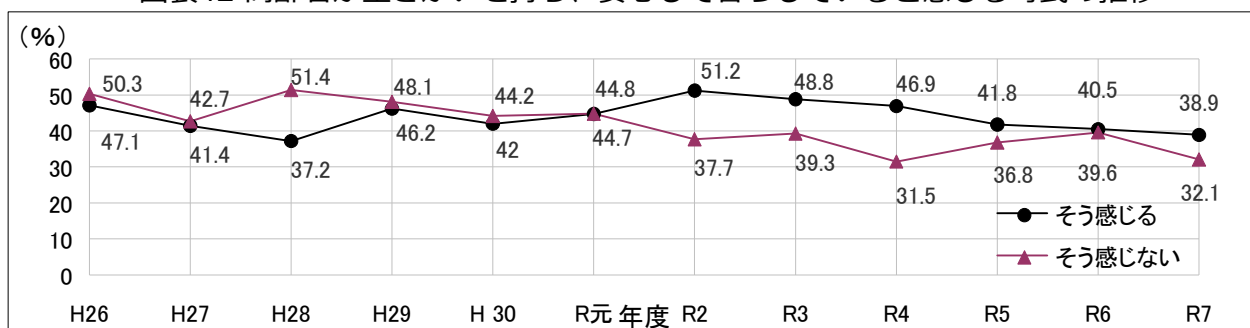
（そう感じる 3.9%
どちらかといえばそう感じる 35.0%） （そう感じない 11.7%
どちらかといえばそう感じない 20.4%）

「そう感じる」（3.9%）と「どちらかといえばそう感じる」（35.0%）をあわせて“そう感じる”人は38.9%となりました。

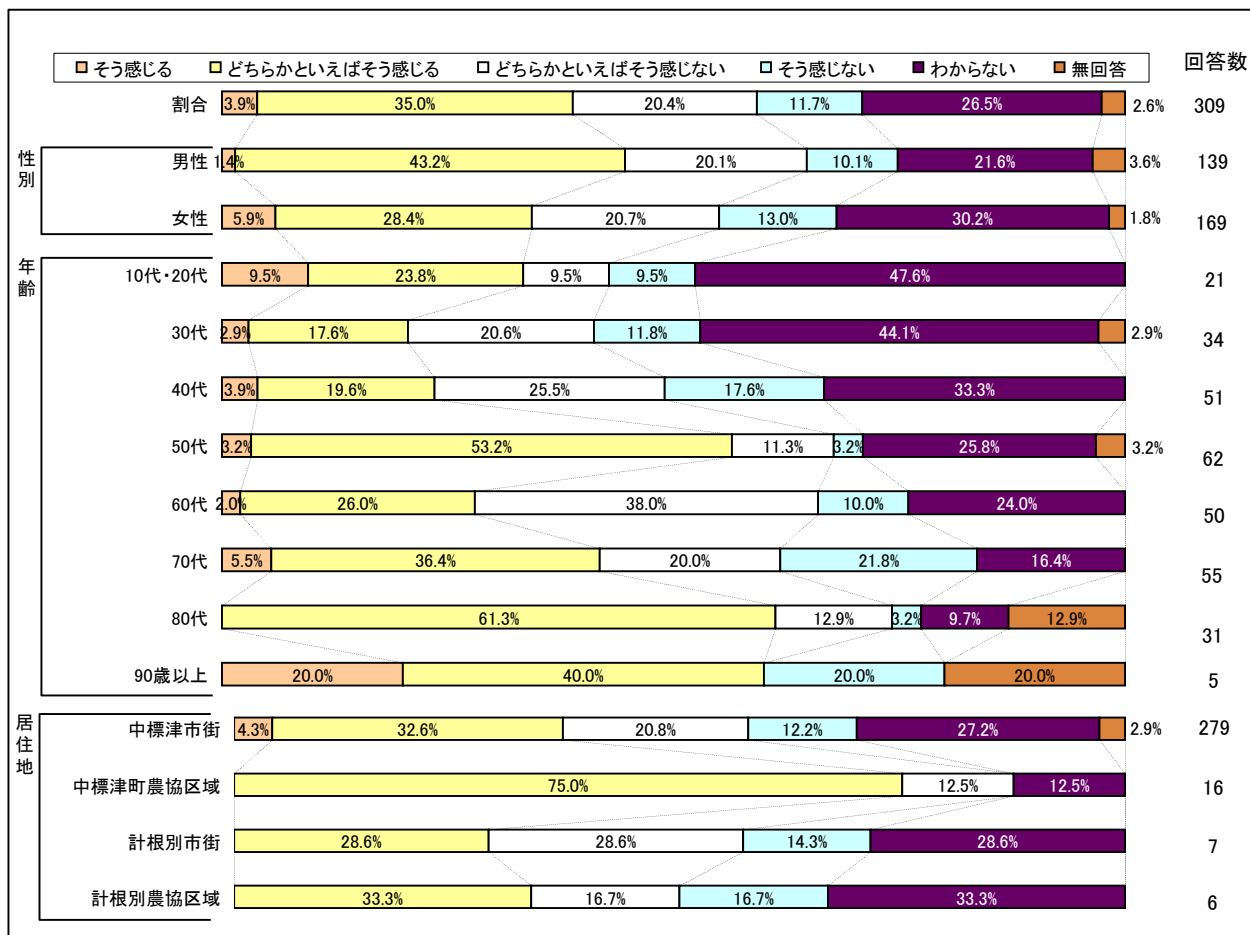
R2以降の推移を見ると“そう感じる”人は減少傾向が続いています。【図表42】

年齢別でみると30・40代・60代では“そう感じる”人が比較的少なく、50代、80代以上では高い割合となりました。【図表43】

図表42 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じる町民の推移



図表43 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問15 障がい福祉サービスが整っていると感じますか。

● “そう感じる”が29.5%、“そう感じない”が32.4%。

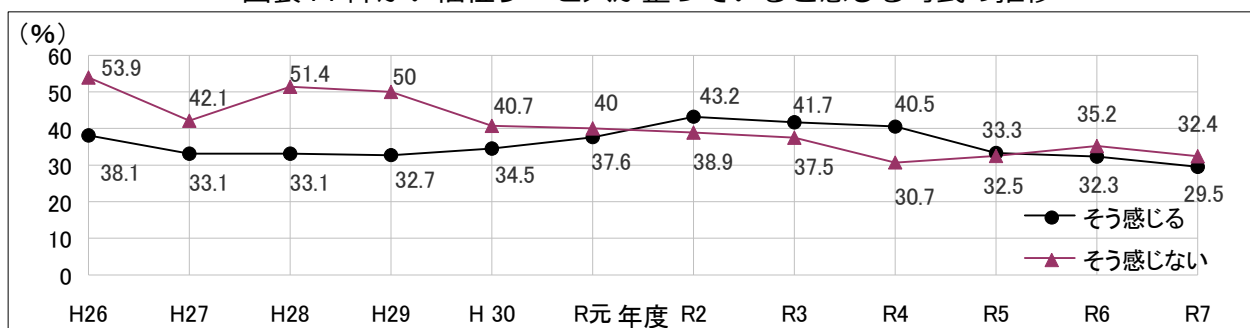
そう感じる 2.3%
 どちらかといえばそう感じる 27.2%

 そう感じない 13.6%
 どちらかといえばそう感じない 18.8%

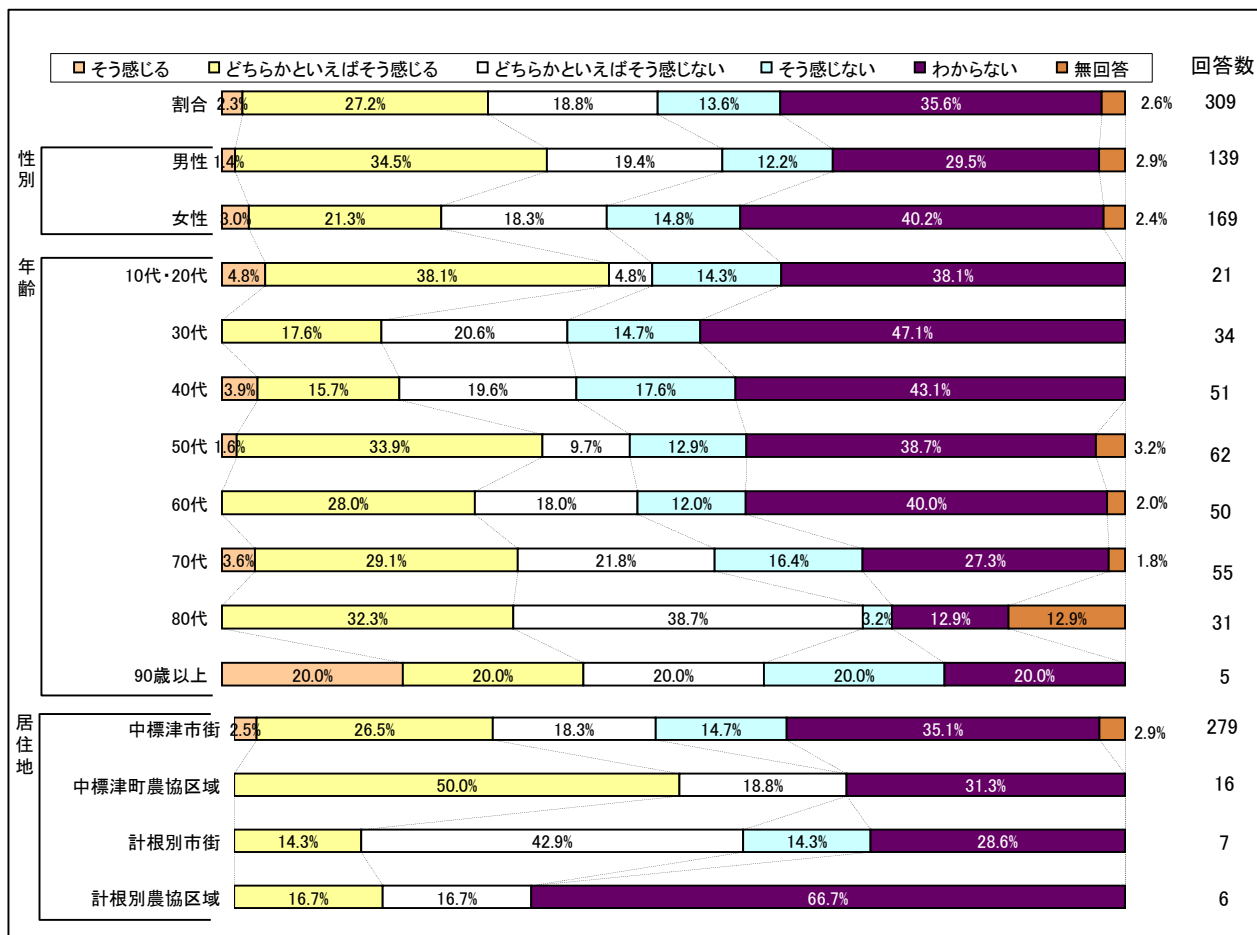
「そう感じる」（2.3%）と「どちらかといえばそう感じる」（27.2%）をあわせた“そう感じる”人は29.5%、「そう感じない」（13.6%）と「どちらかといえばそう感じない」（18.8%）をあわせた“そう感じない”人は32.4%となりました。

直近の推移を見ると、“そう感じる”“そう感じない”どちらも減少傾向にあります。【図表44】
また、60代以下で“わからない”と回答した人が多くみられます。【図表45】

図表44 障がい福祉サービスが整っていると感じる町民の推移



図表45 障がい福祉サービスが整っていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問16 あなたの地域活動・ボランティア活動への参加状況と今後の参加意向についてお尋ねします。



- “参加している”が24.3%、“参加していない”が70.2%。
“参加したい”が41.1%、“参加したくない”が53.4%。

地域活動・ボランティア活動への参加状況と今後の意向について確認したところ次のとおりとなりました。

①現在参加しているし今後も参加したい 20.7%	③現在参加しているが、今後は参加するつもりはない 3.6%
②現在参加していないが今後は参加したい 20.4%	④現在参加していないし、今後も参加するつもりはない 49.8%

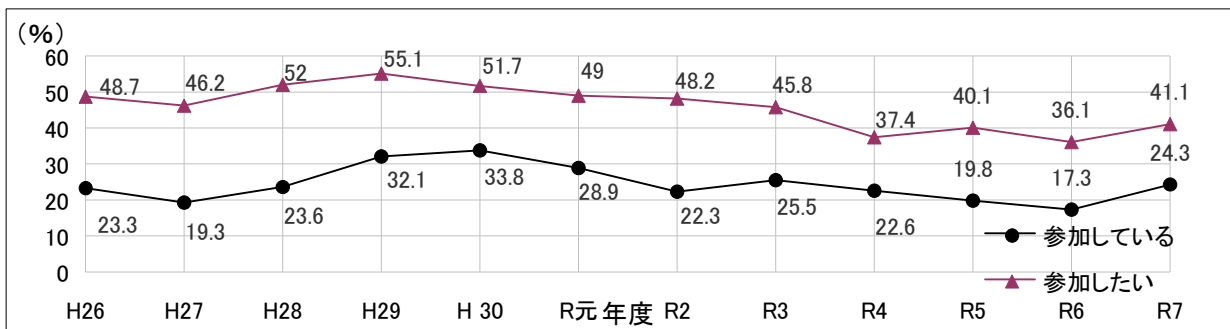
現在“参加している”人は①と③を合わせた24.3%、“参加していない”人は②と④を合わせた70.2%となり、今後“参加したい”人は①と②をあわせた41.1%、“参加したくない”人は③と④をあわせた53.4%となります。

これまでの推移を見ると、“参加したい”人“参加している”人ともにわずかずつ減少傾向にありましたが、今回増加がみられました。【図表46】

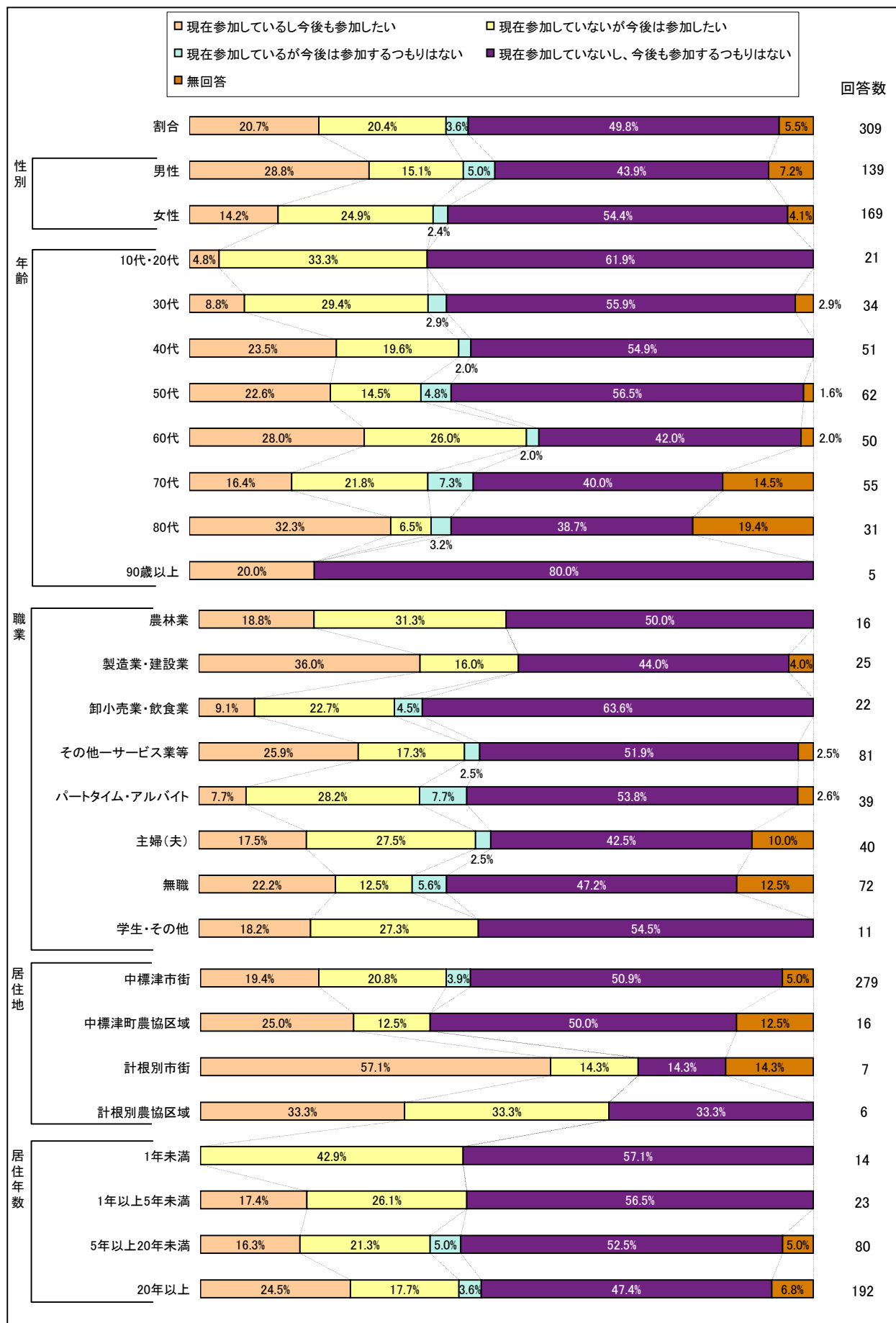
地域別でみると計根別市街及び計根別農協区域での“参加したい”が高い結果となりました。

①について見ると、性別では男性（28.8%）と女性（14.2%）の回答に大きく差がみられます。また年齢別では80代を除いた世代で比較的低い結果となっており、職業別では卸小売業・飲食業、主婦（夫）が特に低い結果となりました。【図表47】

図表46 地域活動・ボランティア活動へ参加している町民と参加意向の推移



図表47 地域活動・ボランティア活動への参加状況と今後の意向（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



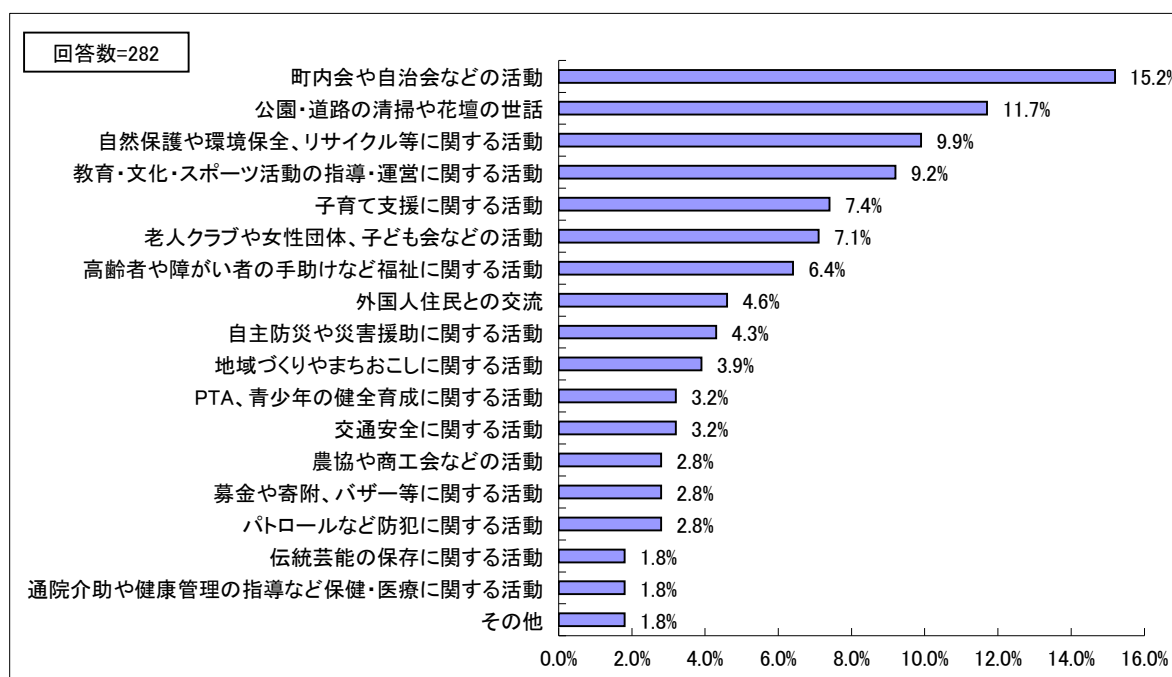
問16-1 あなたは、今後（今後とも）どのような地域活動・ボランティア活動に参加したいと思いますか。（問16で“参加したい”を選択した方のみ）【複数回答】

- 「町内会や自治会などの活動」が第1位。次いで「公園・道路の清掃や花壇の世話」、「自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動」の順。

問16で“参加したい”と回答した人（全体の41.1%・127名）に参加したい地域活動等についてたずねたところ「町内会や自治会などの活動」が最も高く、次いで「公園・道路の清掃や花壇の世話」が高い回答となりました。【図表48】

年齢別では50代～80代で「町内会や自治会などの活動」が最も高く、10代・20代では「教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動」が最も高い結果となりました。【図表49】

図表48 参加したい地域活動等について（全体／複数回答）



図表49 参加したい地域活動等について（性別、年齢／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	町内会や自治会活動 20.4	公園・道路清掃、花壇の世話 12.9	自然保護や環境保全、リサイクル等 9.5
	女性	子育て支援に関する活動 11.1	同率複数のため省略	同率複数のため省略
年齢	10代・20代	教育・文化・スポーツ活動 23.5	同率複数のため省略	同率複数のため省略
	30代	同率複数のため省略	同率複数のため省略	同率複数のため省略
	40代	子育て支援に関する活動 19.0	教育・文化・スポーツ活動 (同率1位) 19.0	PTA、青少年の健全育成 14.3
	50代	町内会や自治会活動 15.6	公園・道路清掃、花壇の世話 13.3	同率複数のため省略
年齢	60代	町内会や自治会活動 18.9	自然保護や環境保全、リサイクル等 17.0	公園・道路清掃、花壇の世話 13.2
	70代	町内会や自治会活動 20.0	自然保護や環境保全、リサイクル等 10.9	老人クラブや女性団体、子ども会 (同率2位) 10.9
	80代	町内会や自治会活動 18.9	公園・道路清掃、花壇の世話 (同率1位) 18.9	老人クラブや女性団体、子ども会 16.2
	90歳以上	公園・道路清掃、花壇の世話 100.0	回答なし	回答なし

問17 町立病院の医療体制に満足していますか。

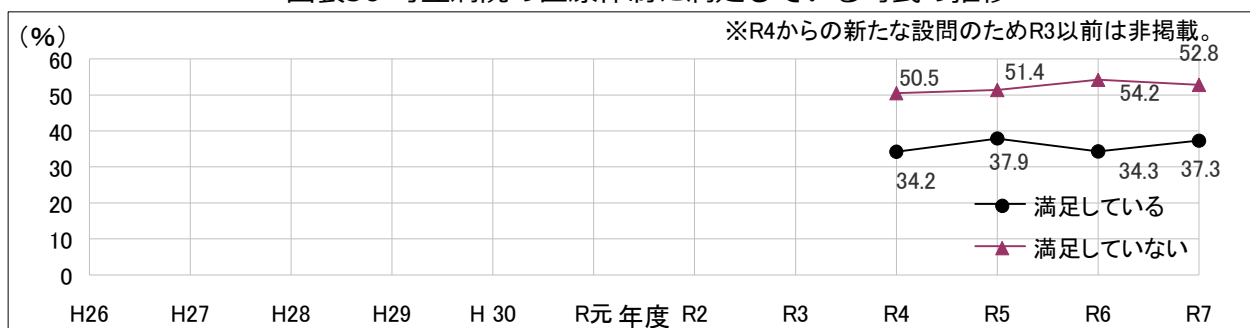
● “満足している”が37.3%、“満足していない”が52.8%。

〔満足している 4.9%
どちらかといえば満足している 32.4%〕 〔満足していない 25.9%
どちらかといえば満足していない 26.9%〕

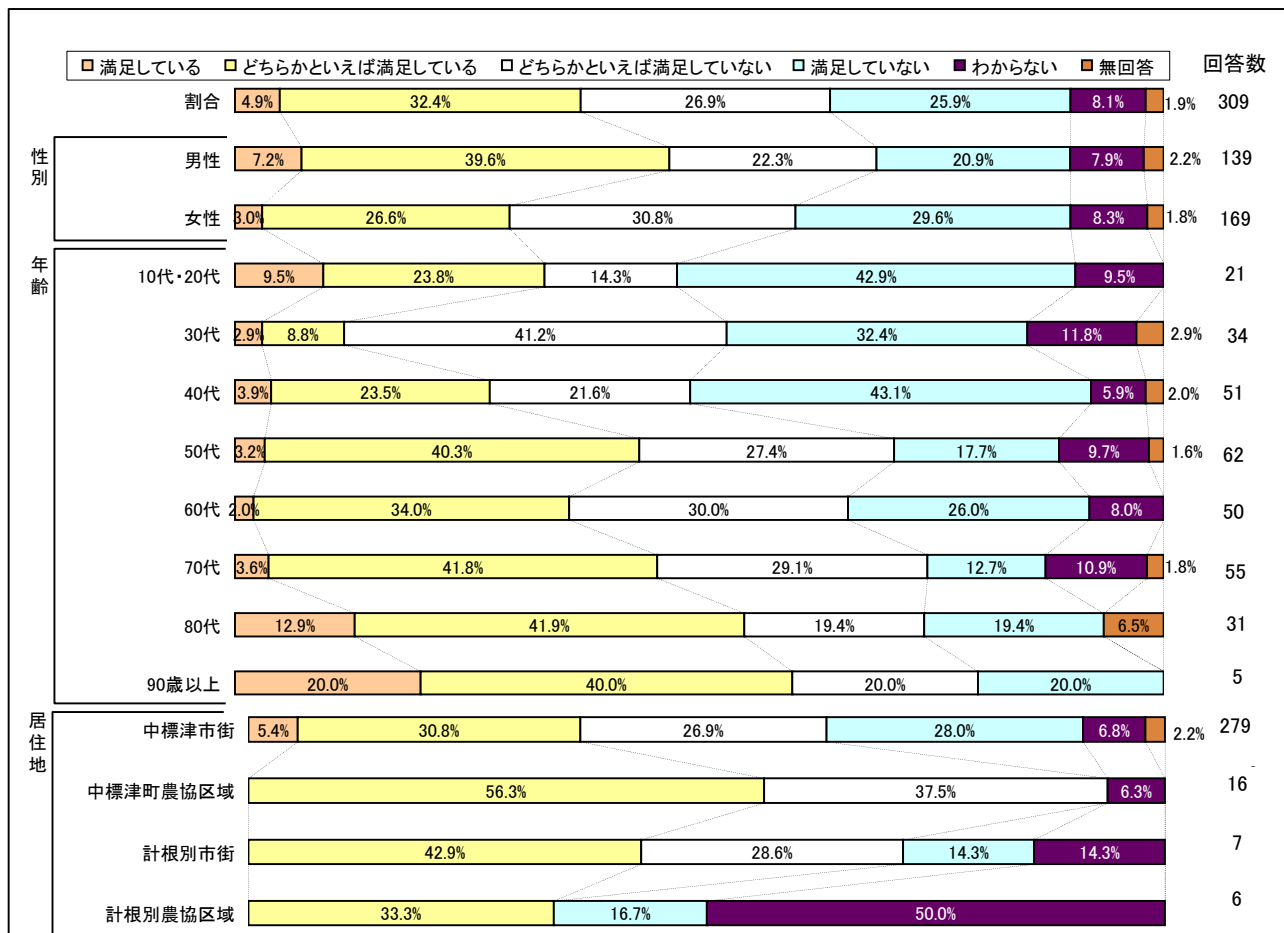
「満足している」（4.9%）と「どちらかといえば満足している」（32.4%）をあわせた“満足している”人は37.3%となり、「満足していない」（25.9%）と「どちらかといえば満足していない」（26.9%）をあわせた“満足していない”人の52.8%を大きく下回りました。

性別において“満足している”人は女性（29.6%）と男性（46.8%）で大きく差が開きました。また年齢別では“満足している”人は30代（11.7%）が最も低い結果となりました。【図表51】

図表50 町立病院の医療体制に満足している町民の推移



図表51 町立病院の医療体制に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問18 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じますか。

● “そう感じる”が32.7%、“そう感じない”が49.2%。

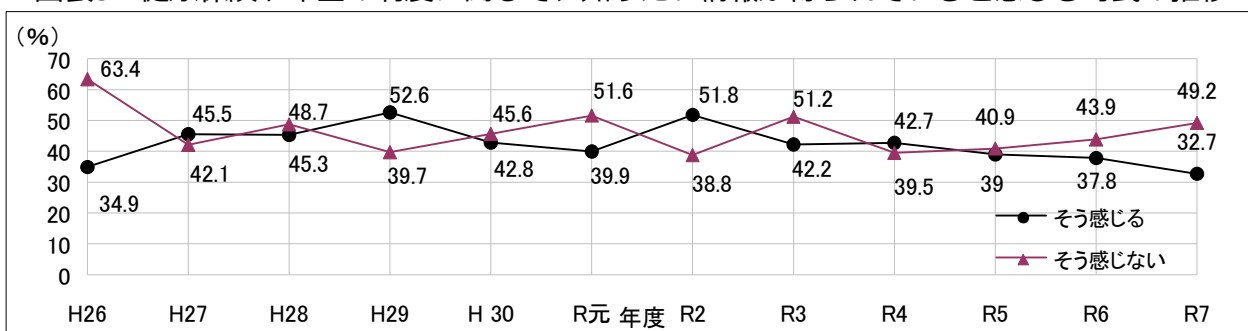
（そう感じる 7.1%
どちらかといえばそう感じる 25.6%） （そう感じない 18.1%
どちらかといえばそう感じない 31.1%）

「そう感じる」（7.1%）と「どちらかといえばそう感じる」（25.6%）をあわせた“そう感じる”人は32.7%となりました。

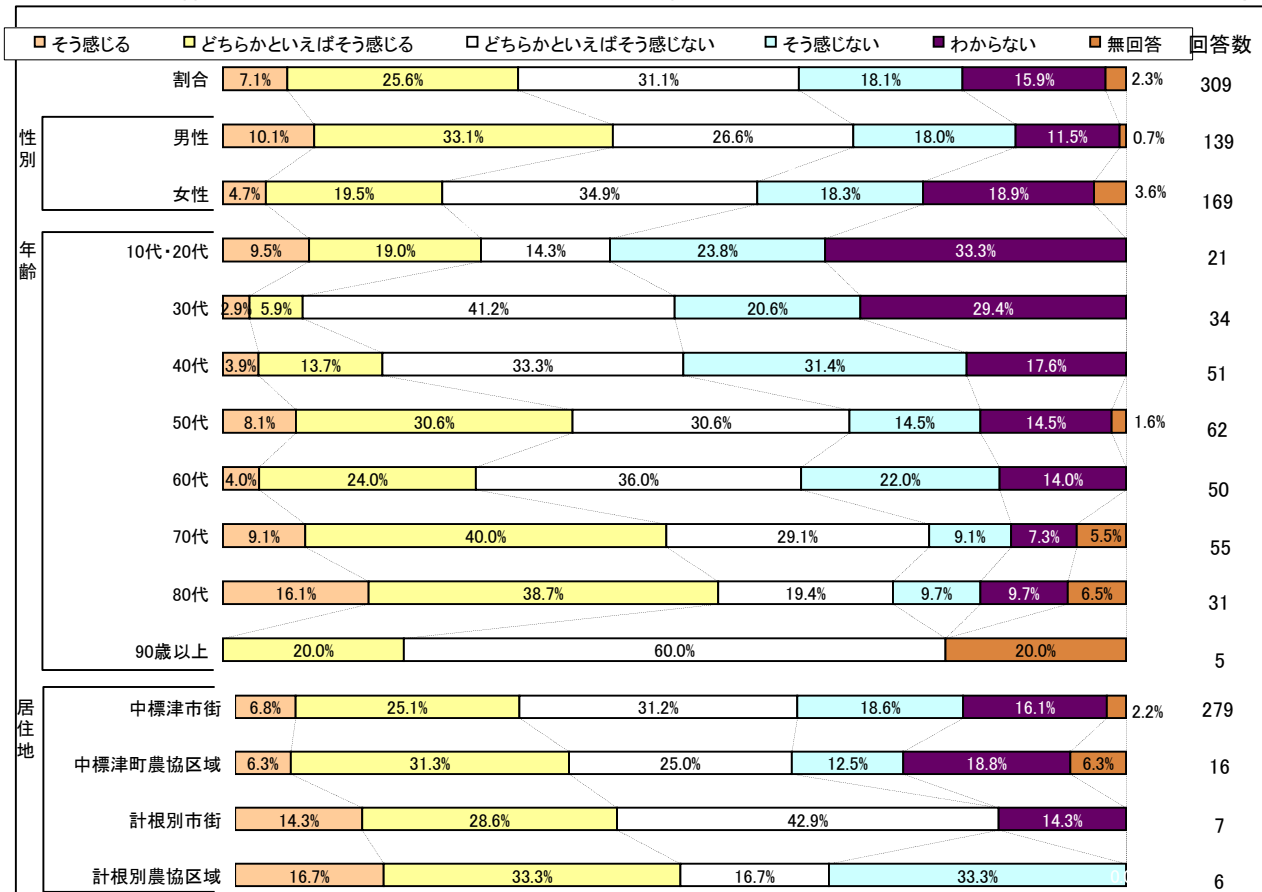
これまでの推移から、“そう感じる”は概ね横ばいですが減少傾向に推移していることがわかります。【図表52】

“そう感じる”人を性別で見ると回答した男性（43.2%）と女性（24.2%）で大きく開きがあり、また年齢別では、30代の“そう感じる”人の割合は特に低い結果となりました。【図表53】

図表52 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じる町民の推移



図表53 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られているか（全体、性別、年齢、居住地）



問19 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じますか。

● “そう感じる”が66.3%、“そう感じない”が27.5%。

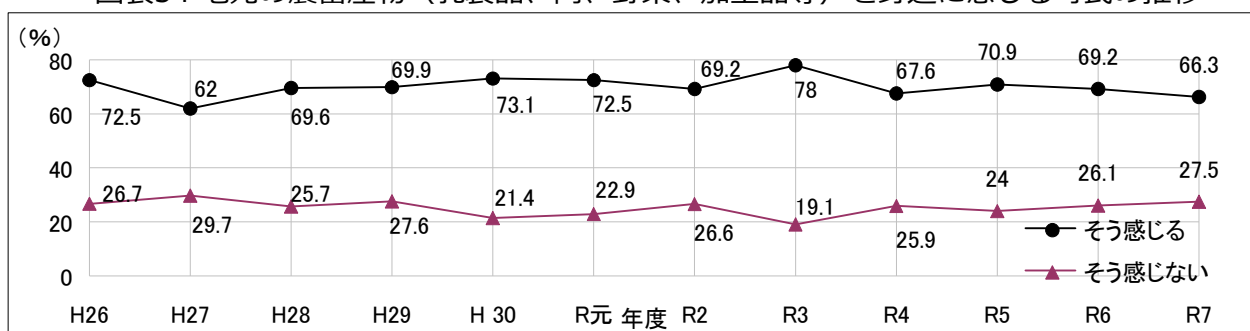
（そう感じる 23.3%
 どちらかといえばそう感じる 43.0%） （そう感じない 11.3%
 どちらかといえばそう感じない 16.2%）

「そう感じる」（23.3%）と「どちらかといえばそう感じる」（43.0%）をあわせた“そう感じる”人は66.3%となりました。

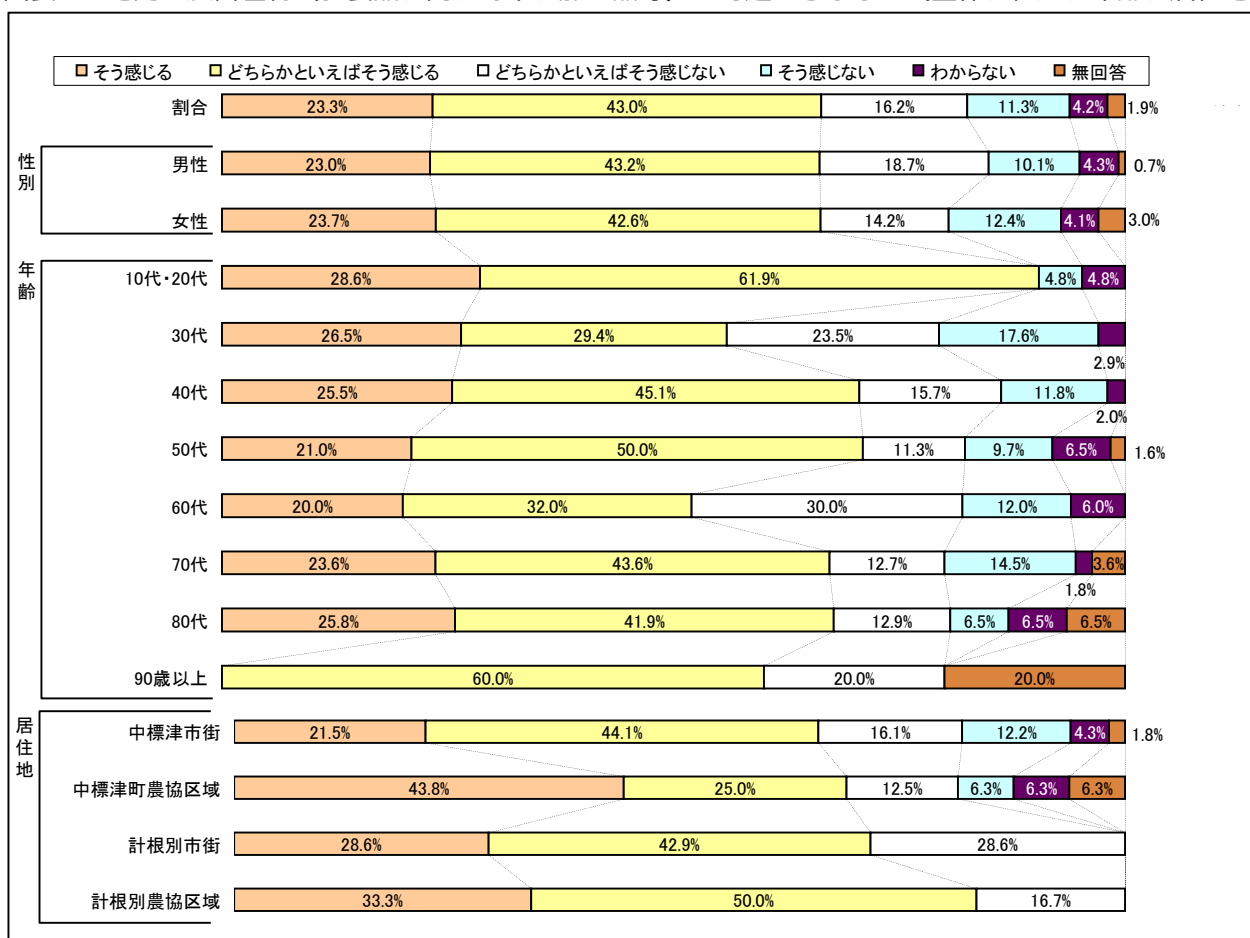
これまでの推移を見ると概ね横ばいで推移していることが分かります。【図表54】

年齢別で見ると、10代・20代での“そう感じる”割合が特に高い結果となりました。【図表53】

図表54 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じる町民の推移



図表55 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問20 町が行う植樹などの森林づくり活動に参加したいと思いますか。

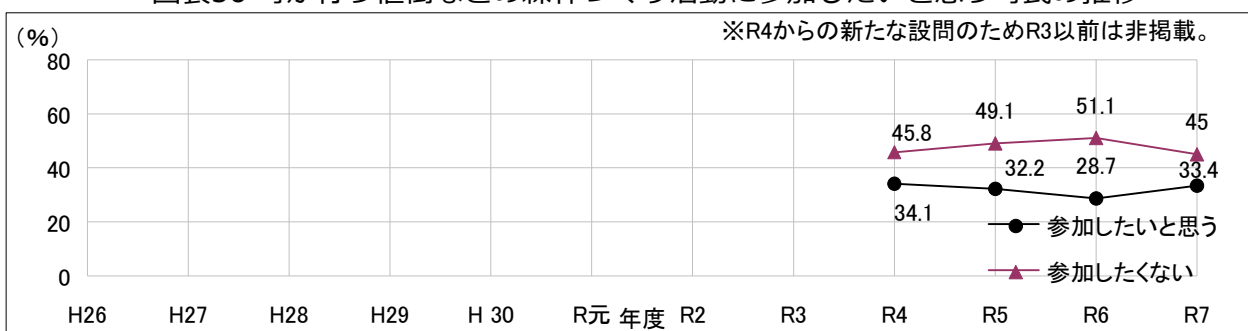
● “参加したいと思う”が33.4%、“参加したくない”が45.0%。

（参加したいと思う 4.9%
どちらかといえば参加したいと思う 28.5%） （参加したくない 23.0%
どちらかといえば参加したくない 22.0%）

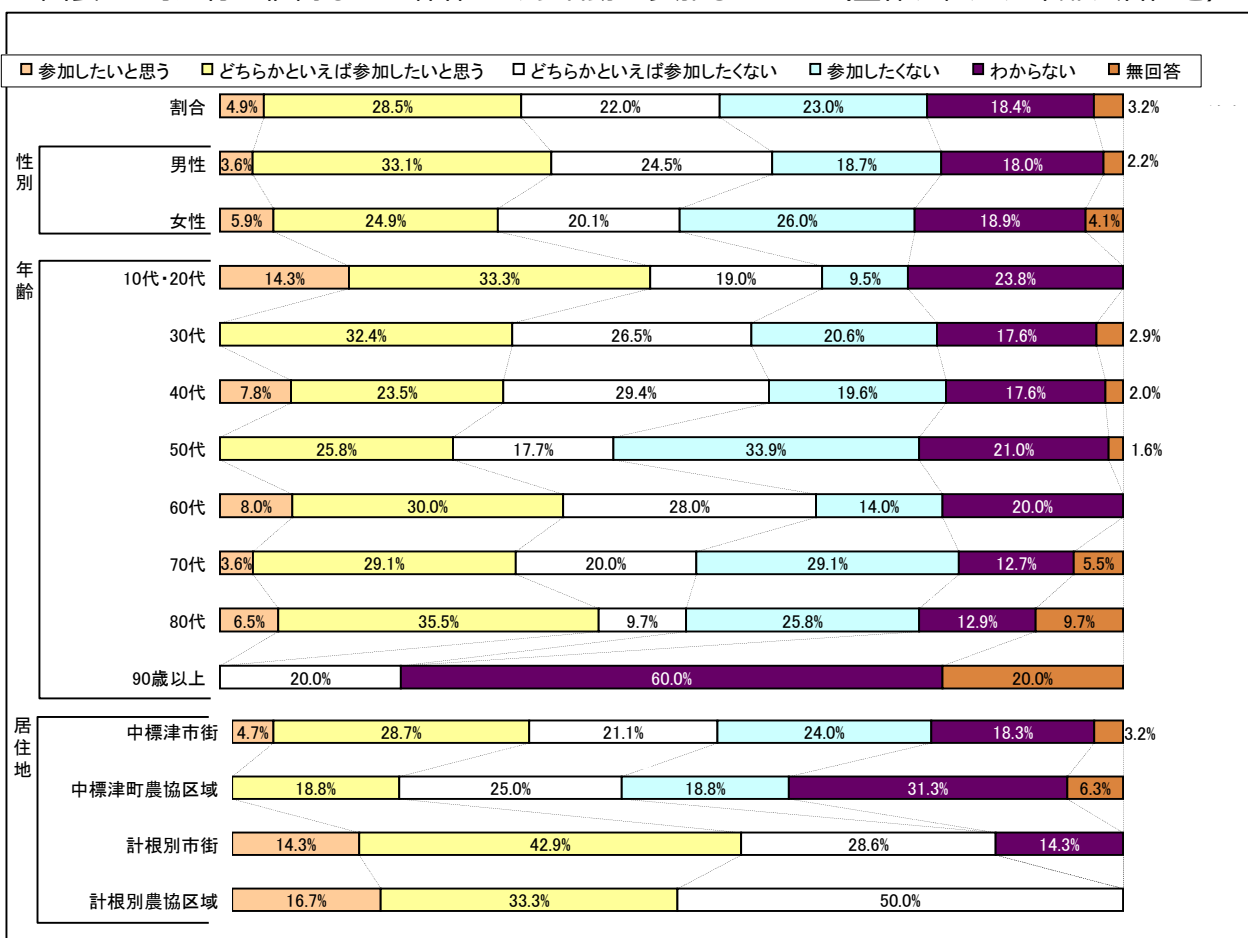
「参加したいと思う」（4.9%）と「どちらかといえば参加したいと思う」（28.5%）をあわせた“参加したいと思う”人は33.4%となりました。

年齢別では10代・20代（47.6%）が最も高く、居住地別では計根別市街（57.2%）が最も高い結果となりました。【図表57】

図表56 町が行う植樹などの森林づくり活動に参加したいと思う町民の推移



図表57 町が行う植樹などの森林づくり活動に参加したいか（全体、性別、年齢、居住地）



問21 町内での飲食や買い物に満足していますか。

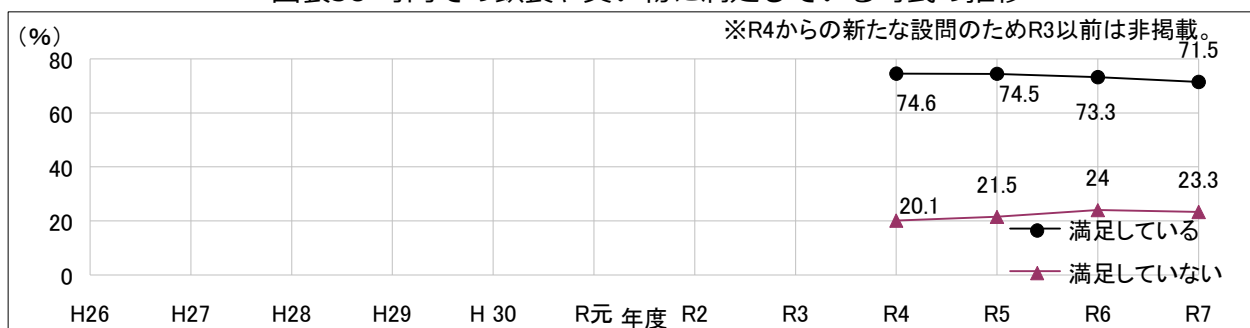
● “満足している”が71.5%、“満足していない”が23.3%。

〔満足している 23.6%
どちらかといえば満足している 47.9%〕
〔満足していない 7.8%
どちらかといえば満足していない 15.5%〕

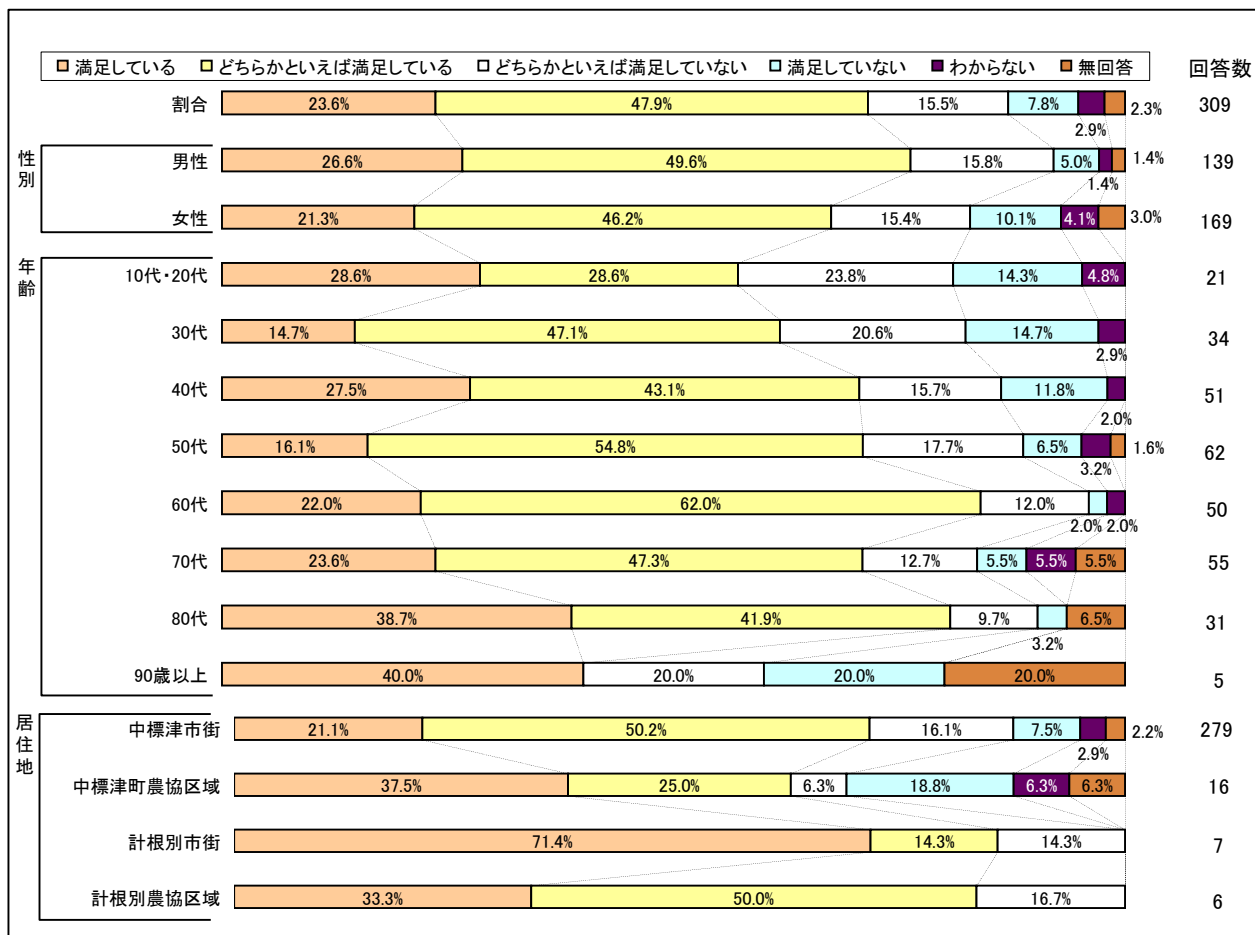
「満足している」(23.6%)と「どちらかといえば満足している」(47.9%)をあわせた“満足している”人は71.5%となりました。アンケートを始めてからほぼ同じ推移となっています。

全体的に高い結果となっていますが、年齢別での90歳以上の“満足している”人は40.0%と低い結果となりました。【図表59】

図表58 町内での飲食や買い物に満足している町民の推移



図表59 町内での飲食や買い物に満足しているか (全体、性別、年齢、居住地)



問22 あなたは観光客に対して「おもてなし」の気持ちを持っていますか。

● “持っている”が57.3%、“持っていない”が25.3%。

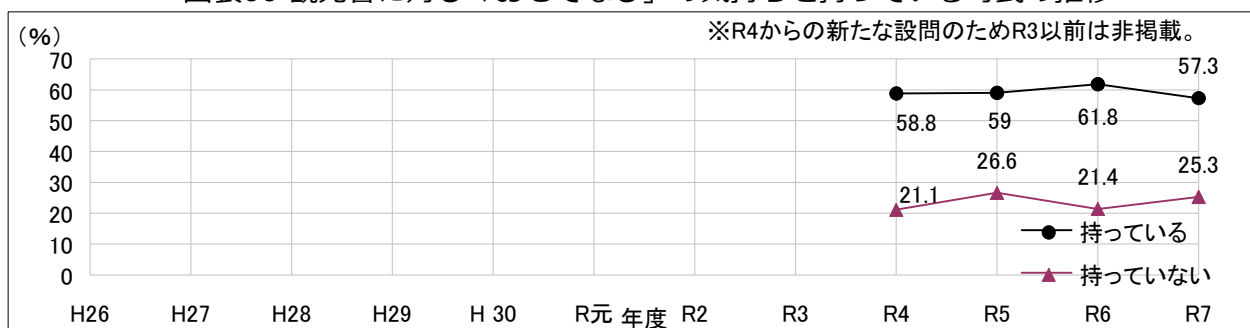
（持っている 12.3%
どちらかといえば持っている 45.0%） （持っていない 10.4%
どちらかといえば持っていない 14.9%）

「持っている」（12.3%）と「どちらかといえば持っている」（45.0%）をあわせた“持っている”人は57.3%となりました。

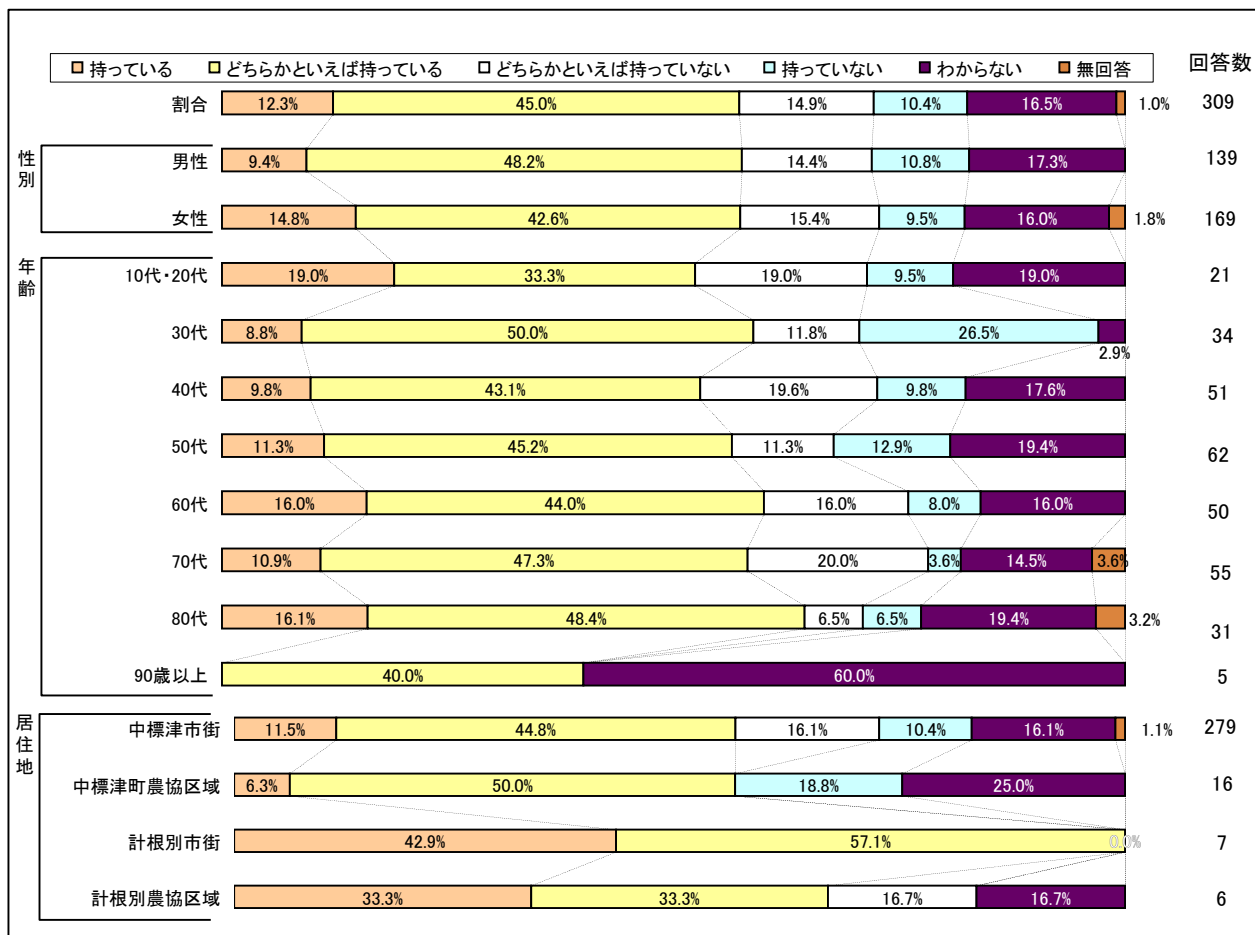
性別でみると、男性（57.6%）、女性（57.4%）とほぼ同じ割合でした。

年齢別で90歳以上（40.0%）が低い割合となりましたが、全体的にみると比較的高い結果となりました。また住居地別での計根別市街は100%でした。【図表61】

図表60 観光客に対し「おもてなし」の気持ちを持っている町民の推移



図表61 観光客に対し「おもてなし」の気持ちを持っているか（全体、性別、年齢、居住地）



問23 雇用対策（通年雇用、雇用の創出・確保等）に満足していますか。

● “満足している”が27.9%、“満足していない”が29.5%。

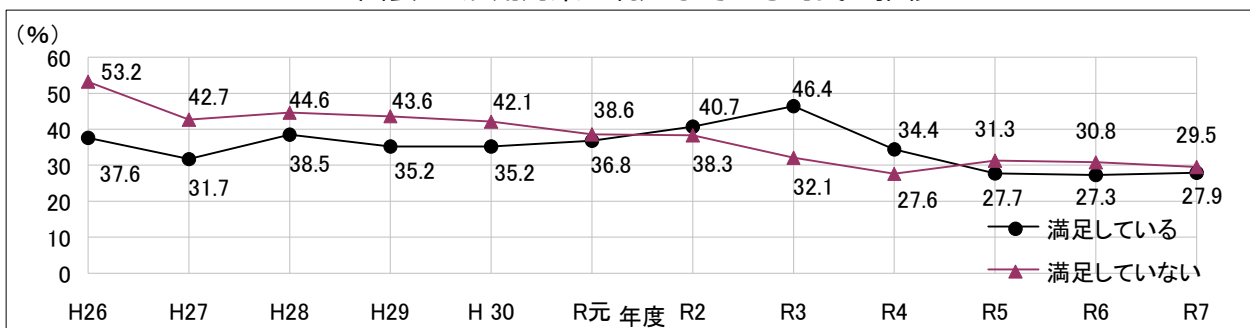
（満足している 3.6%
 どちらかといえば満足している 24.3%） （満足していない 10.4%
 どちらかといえば満足していない 19.1%）

「満足している」（3.6%）と「どちらかといえば満足している」（24.3%）をあわせた“満足している”人は27.9%となりました。

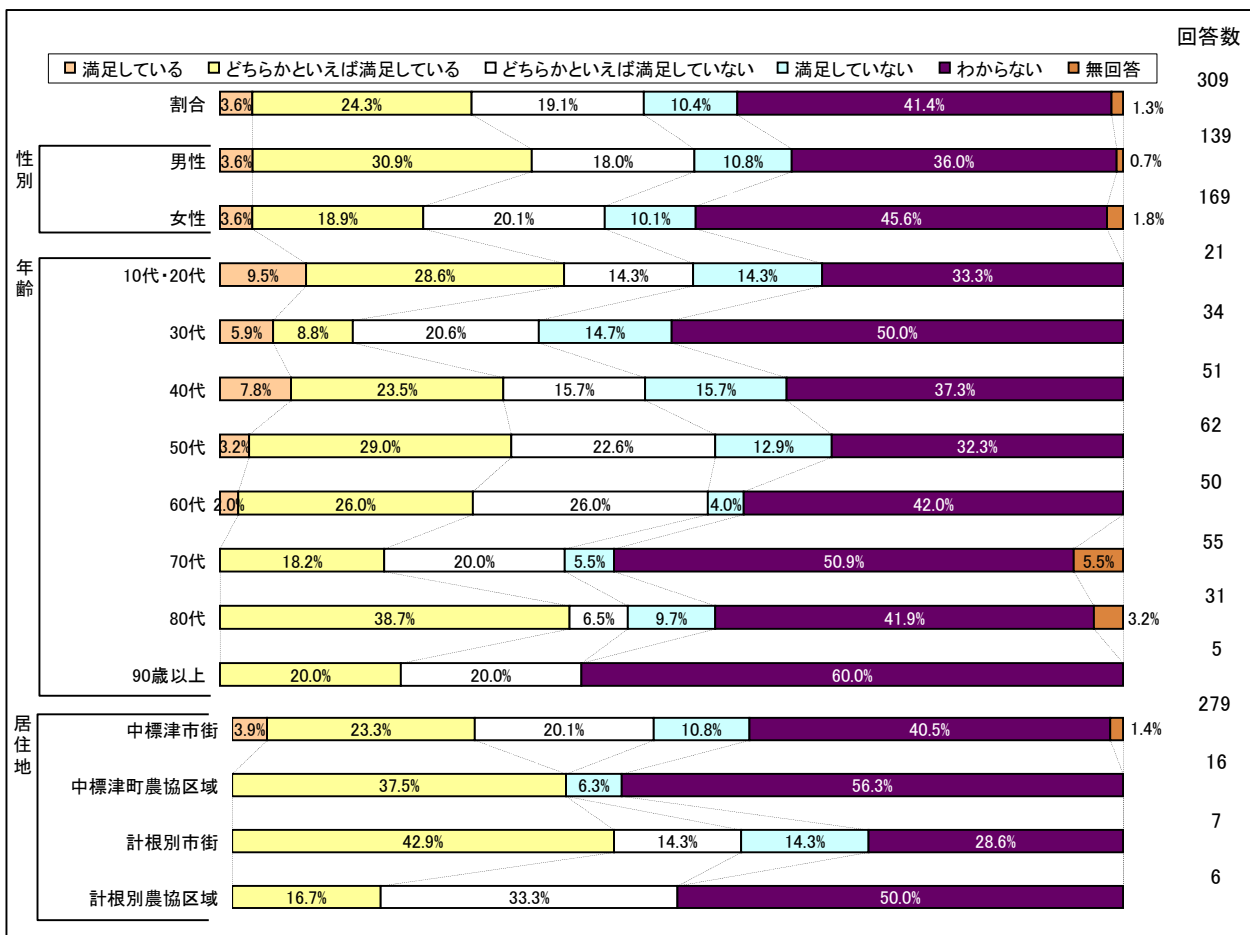
これまでの推移をみるとR3からR5にかけて大きく減少し、横ばいに推移していますが、R4から追加した「わからない」の選択肢を例年選ぶ方が多いことから、その影響が大きいと思われます。【図表62】

男女別では、男性（34.5%）が女性（22.5%）より高く、年齢別では30代（14.7%）が低い結果となりました。【図表63】

図表62 雇用対策に満足している町民の推移



図表63 雇用対策に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問24 住んでいる地域が「良好なまちなみ（住環境）である」と感じていますか。

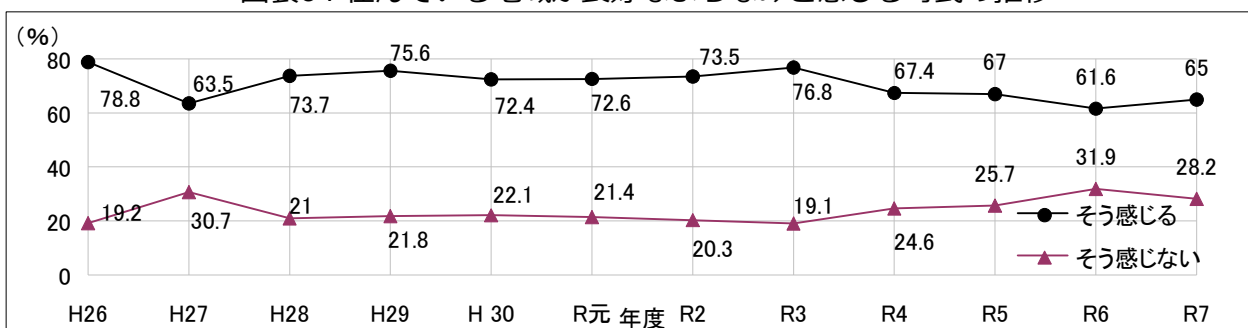
● “そう感じる”が65.0%、“そう感じない”が28.2%。

（そう感じる 12.6%
 どちらかといえばそう感じる 52.4%） （そう感じない 9.4%
 どちらかといえばそう感じない 18.8%）

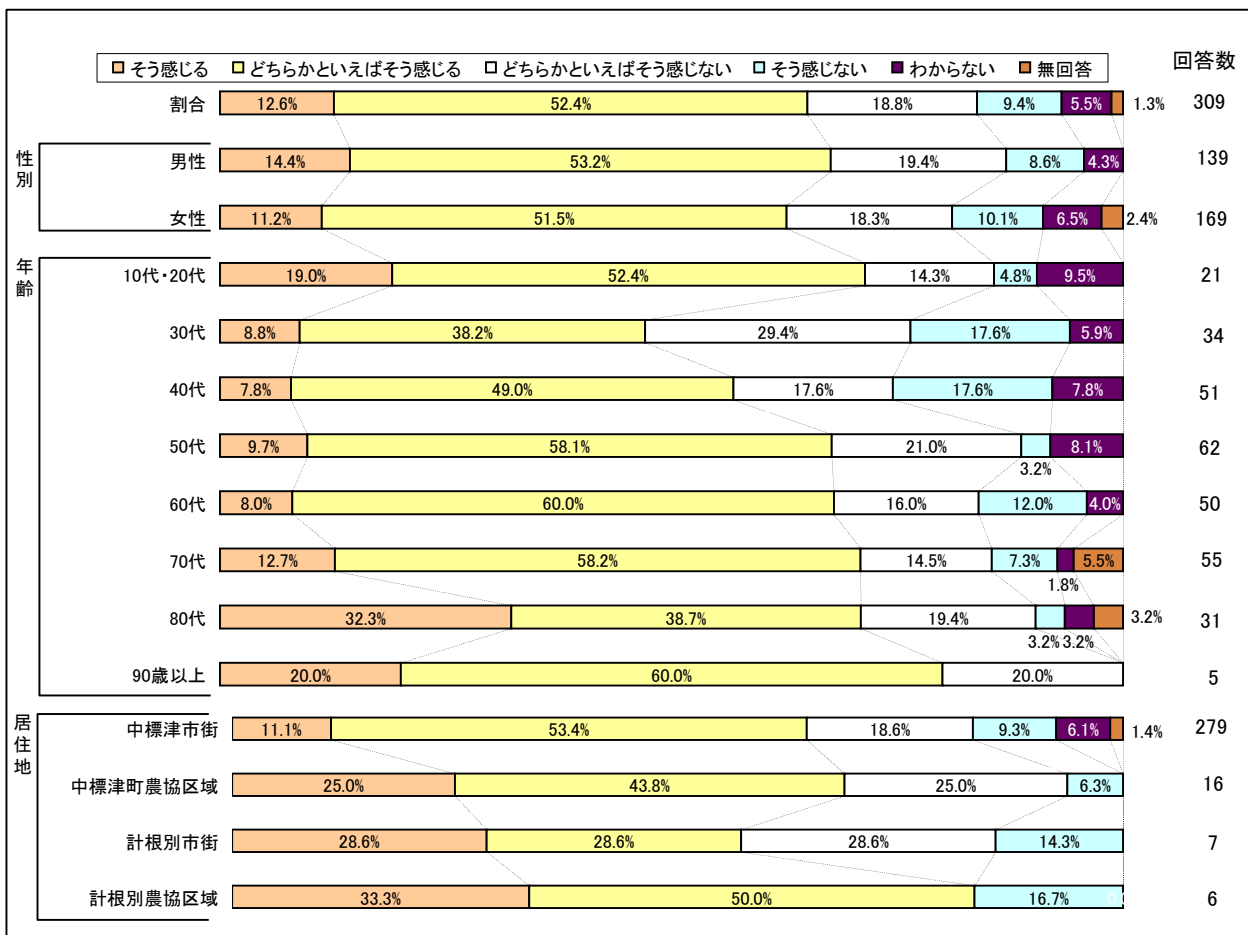
「そう感じる」（12.6%）と「どちらかといえばそう感じる」（52.4%）をあわせた“そう感じる”人は65.0%となりました。これまでの推移を見ると若干減少しつつも概ね横ばいで推移していることが分かります。【図表64】

年齢別では、30代（47.0%）が比較的低い結果となりましたが、全体的には高い割合となりました。【図表65】

図表64 住んでいる地域が良好なまちなみと感じる町民の推移



図表65 住んでいる地域が良好なまちなみと感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問25 日々の生活の中で景観を意識していますか。

● “意識している”が67.9%、“意識していない”が26.2%。

（意識している 24.9%
どちらかといえば意識している 43.0%） （意識していない 10.7%
どちらかといえば意識していない 15.5%）

「意識している」（24.9%）と「どちらかといえば意識している」（43.0%）をあわせた“意識している”人は67.9%となりました。やや減少傾向ではありますが、高い回答率となっています。【図表66】

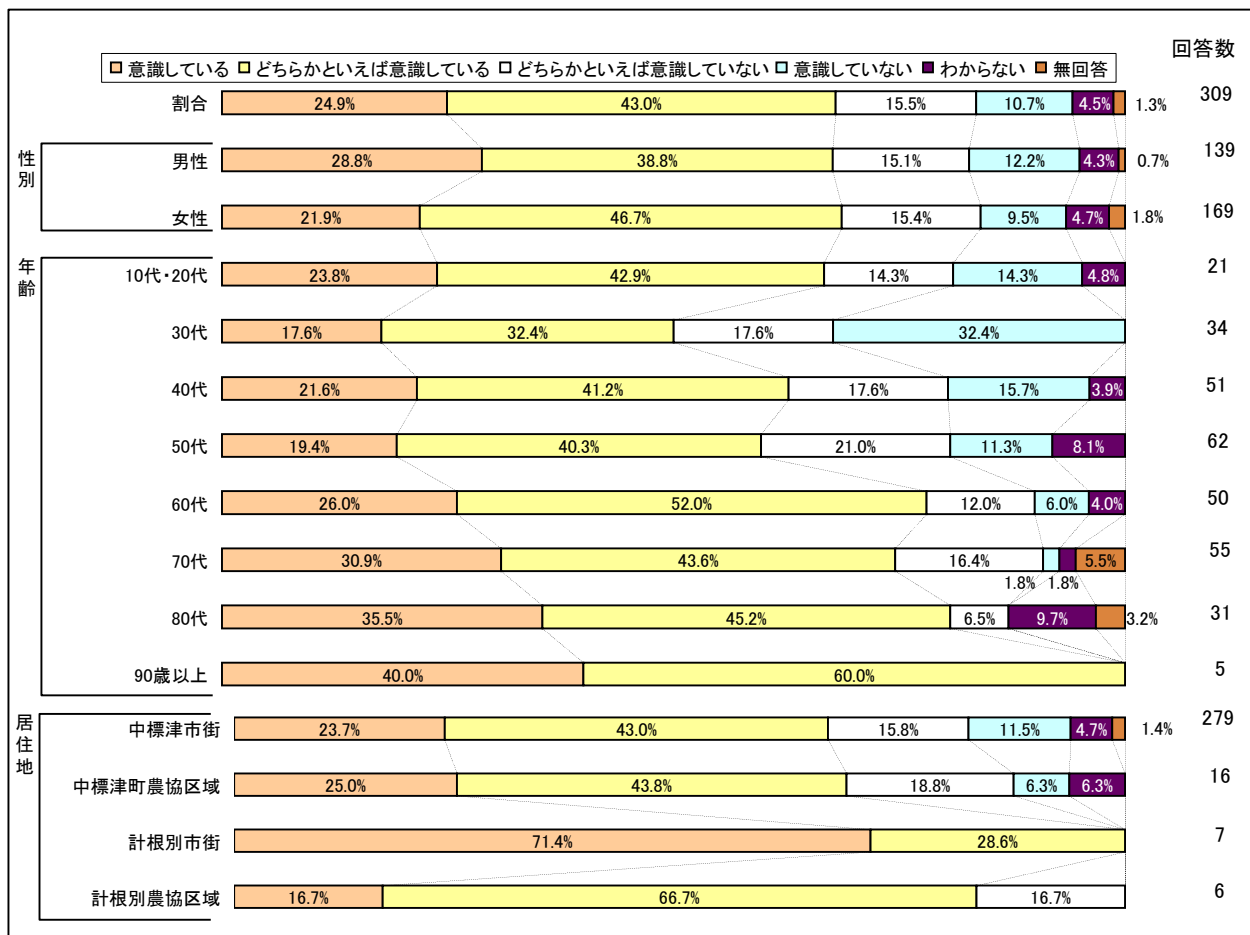
性別での“意識している”人は男性（67.6%）と女性（68.6%）でほぼ同じ割合で、年齢別では30代（50.0%）が低い割合となりましたが、全体的に高い結果となっています。

【図表67】

図表66 日々の生活の中で景観を意識している町民の推移



図表67 日々の生活の中で景観を意識しているか（全体、性別、年齢、居住地）



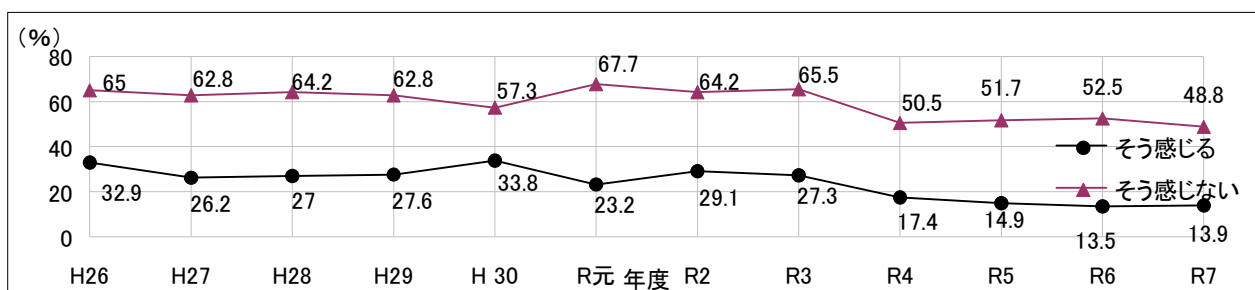
問26 公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができていると感じますか。

● “そう感じる”が13.9%、“そう感じない”が48.8%。

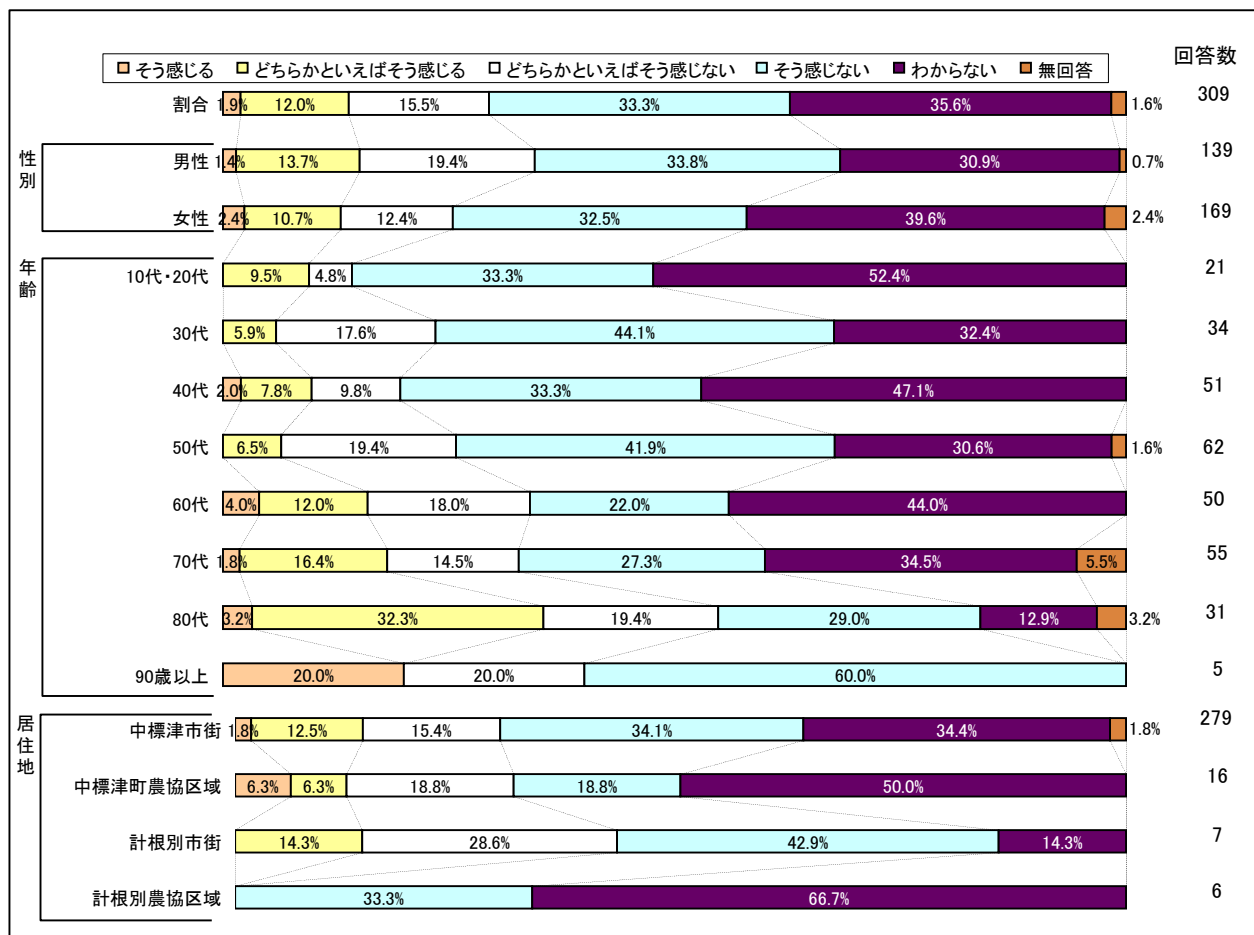
（そう感じる 1.9%
どちらかといえばそう感じる 12.0%） （そう感じない 33.3%
どちらかといえばそう感じない 15.5%）

“そう感じる”人が13.9%に対し、“そう感じない”人は48.8%と大きく上回っています。これまでの推移をみると、両方の人がR3から減少し横ばい状態になっています。【図表68】R4から追加した「わからない」の選択肢を選ぶ方が多く、その影響が大きいと思われます。性別での“そう感じる”人は男性（15.1%）、女性（13.1%）とほぼ同じ割合ですが、「わからない」の回答が女性（39.6%）は強い割合となっています。年齢別でも10代・20代（52.4%）、40代（47.1%）で「わからない」が高い結果となっています。【図表69】

図表68 公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができていると感じる町民の推移



図表69 公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問27 中標津空港利用の利便性に満足していますか。

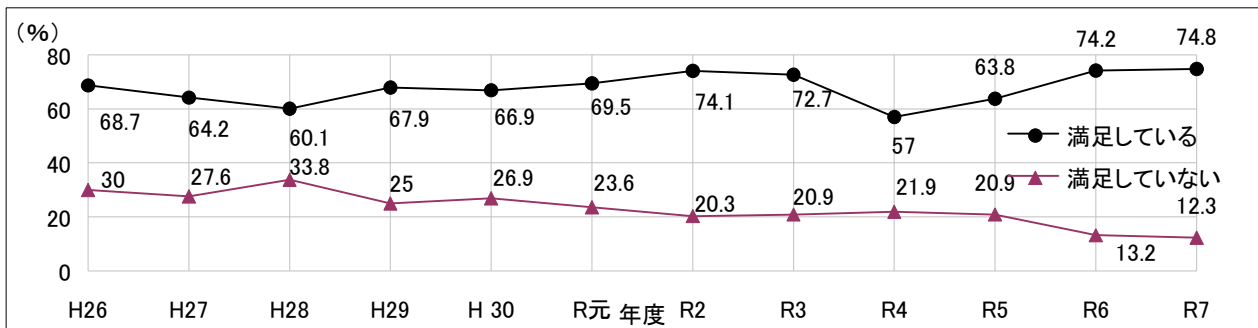
● “満足している”が74.8%、“満足していない”が12.3%。

(満足している 28.2%
 どちらかといえば満足している 46.6%)
 (満足していない 4.5%
 どちらかといえば満足していない 7.8%)

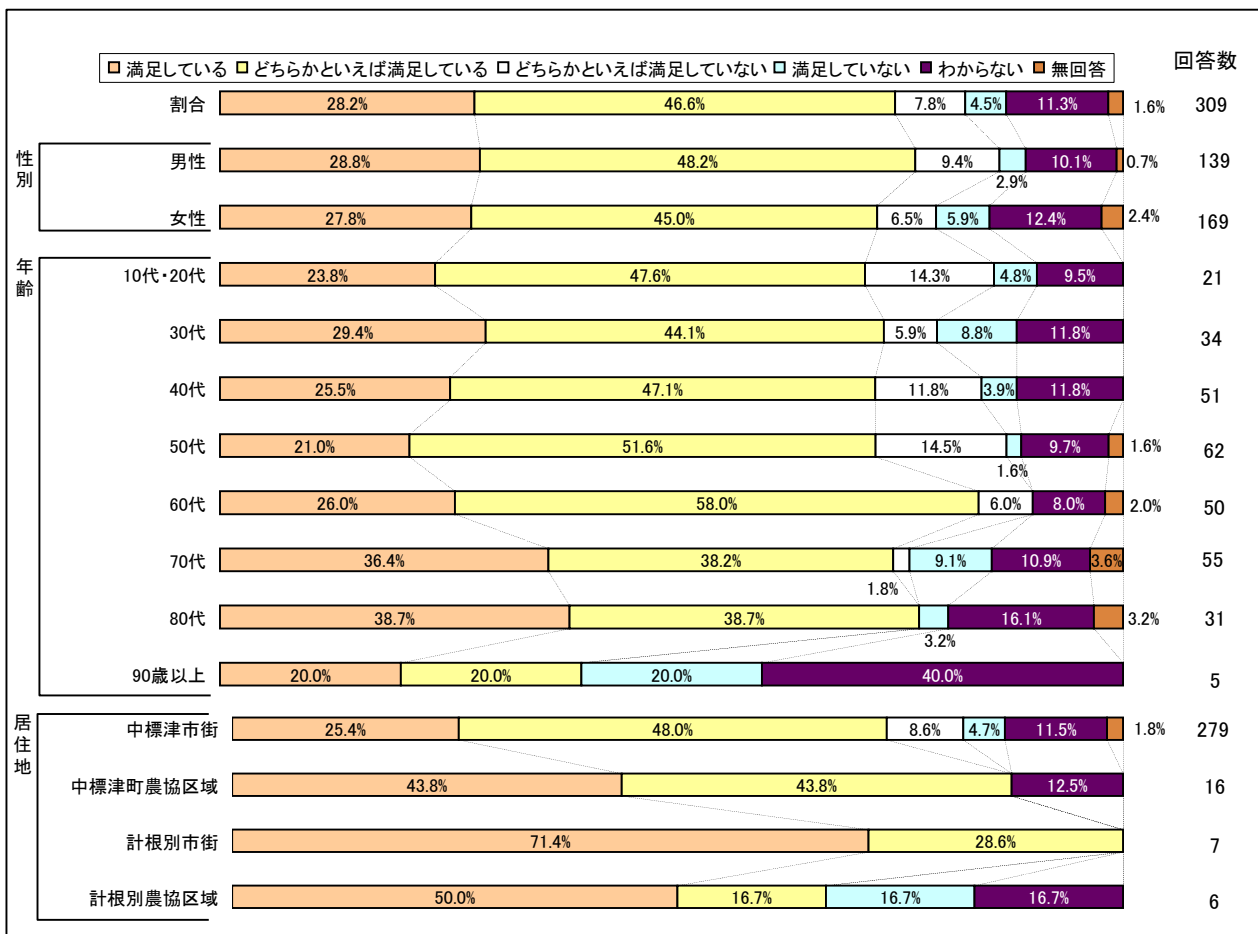
「満足している」(28.2%)と「どちらかといえば満足している」(46.6%)をあわせた“満足している”人は74.8%と、これまでの推移をみると昨年引き続き高い結果となりましたが、R4からの札幌便の増加の影響が大きいと思われます。【図表70】

年齢別で見ると、90歳以上(40%)では低い結果となりましたが、その他の年代で高い結果となっており、また居住地別で見ると計根別市街(100.0%)で最も高い結果となりました。【図表71】

図表70 中標津空港利用の利便性に満足している町民の推移



図表71 中標津空港利用の利便性に満足しているか(全体、性別、年齢、居住地)



問28 日頃から家庭で災害（地震や風雪災害など）への備えをしていますか。

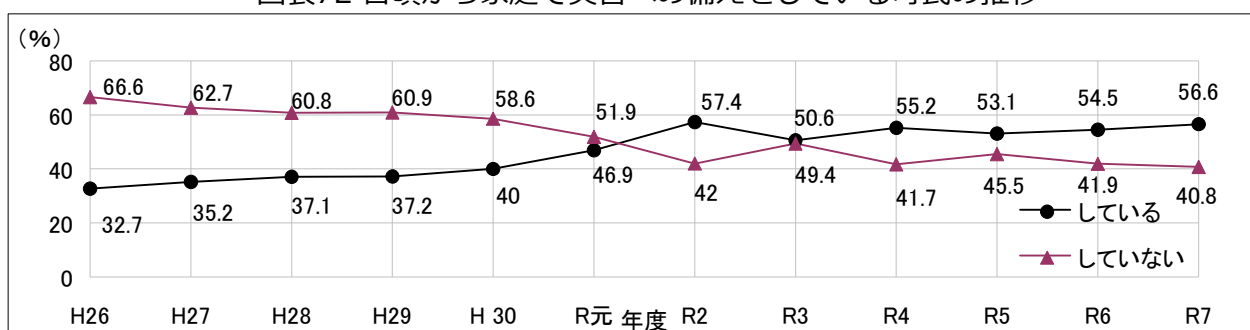
● “している”が56.6%、“していない”が40.8%。

（している 12.3%
 どちらかといえばしている 44.3%） （していない 13.3%
 どちらかといえばしていない 27.5%）

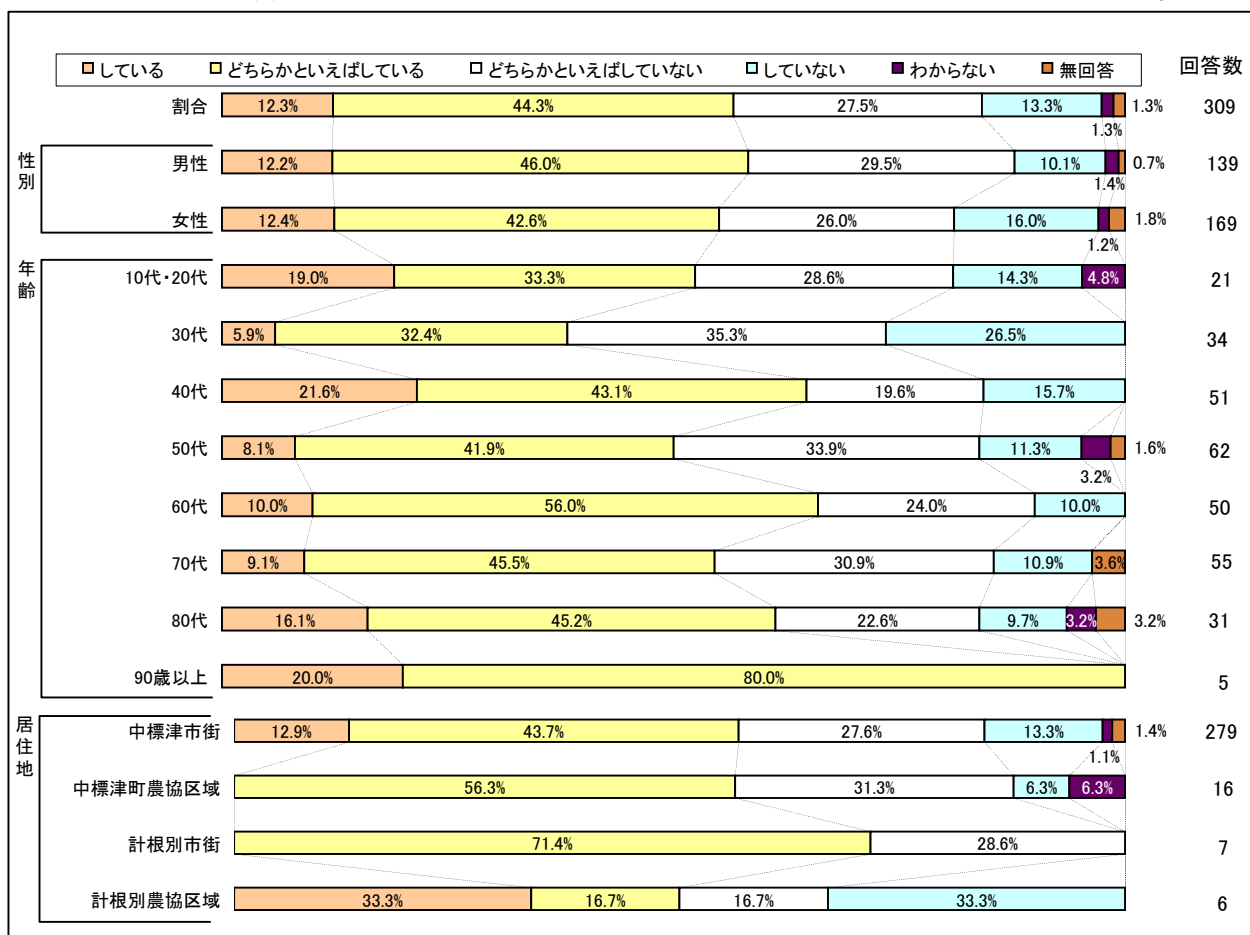
「している」（12.3%）と「どちらかといえばしている」（44.3%）をあわせた“している”人は56.6%となりました。

これまでの推移を見ると“している”人はR2以降横ばい状態となっています。【図表72】年齢別では90歳以上（100.0%）が最も高く、30代（38.3%）が最も低い結果となりました。居住地別では計根別市街（71.4%）が最も高い結果となりました。【図表73】

図表72 日頃から家庭で災害への備えをしている町民の推移



図表73 日頃から家庭で災害への備えをしているか（全体、性別、年齢、居住地）



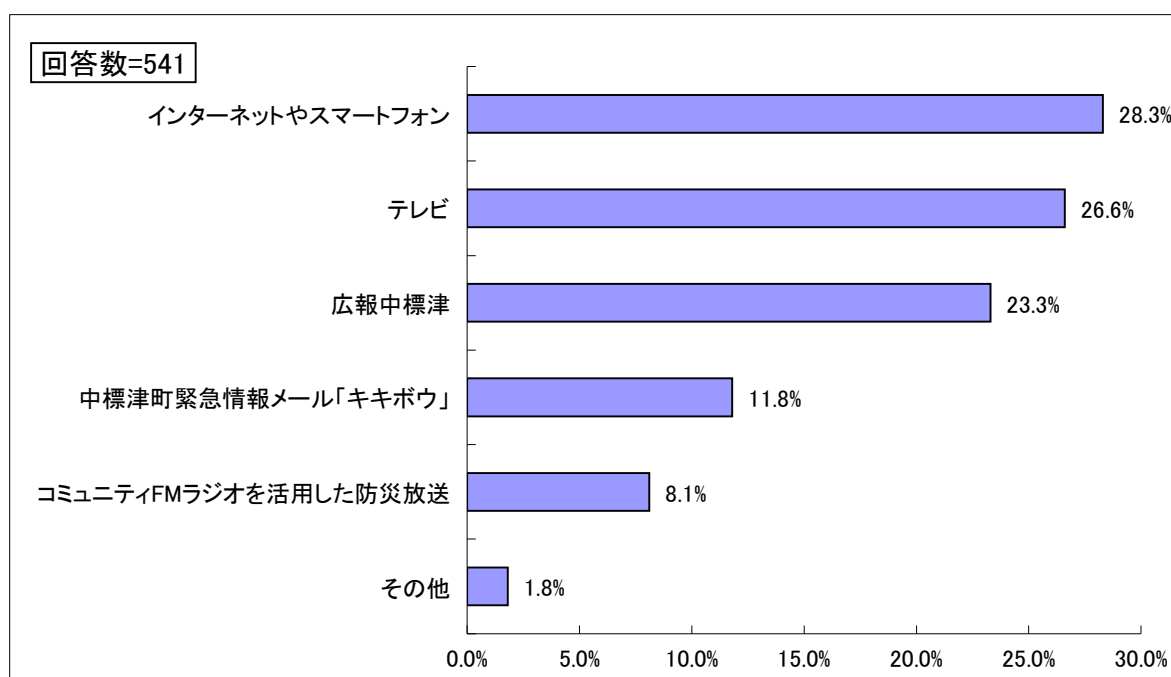
問29 あなたは、防災のための情報をどこから得ていますか。【複数回答】

- 「インターネットやスマートフォン」が第1位。次いで「テレビ」、「広報中標津」の順。

防災のための情報をどこから得ているかたずねたところ「インターネットやスマートフォン」が最も多く、次いで「テレビ」、「広報中標津」の順となりました。【図表74】

年齢別でみると「インターネットやスマートフォン」が10～60代で上位だった一方、70代以上では上位3項目に入りませんでした。また「テレビ」はすべての年代において上位に入っています。【図表75】

図表74 防災のための情報をどこから得ているか（全体／複数回答）



図表75 防災のための情報をどこから得ているか（性別、年齢／複数回答）（上位3位 %）

性別	性別	第1位	第2位	第3位
		男性	インターネット・スマートフォン 30.4	テレビ 26.1
女性	女性	テレビ 27.0	インターネット・スマートフォン 26.3	広報中標津 25.3
年	10代・20代	インターネット・スマートフォン 56.3	テレビ 21.9	キキボウ 12.5
	30代	インターネット・スマートフォン 46.4	テレビ 23.2	広報中標津 12.5
	40代	インターネット・スマートフォン 37.8	広報中標津 20.7	同率複数のため省略 -
	50代	インターネット・スマートフォン 34.2	テレビ 27.2	広報中標津 21.1
齢	60代	広報中標津 28.0	インターネット・スマートフォン 27.0	テレビ 23.0
	70代	広報中標津 32.2	テレビ (同率1位) 32.2	コミュニティFMラジオ 14.4
	80代	テレビ 37.3	広報中標津 32.2	コミュニティFMラジオ 11.9
	90歳以上	テレビ 62.5	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -

問30 地域や企業などでの防犯活動に参加していますか。

● “参加している”が12.0%、“参加していない”が82.8%。

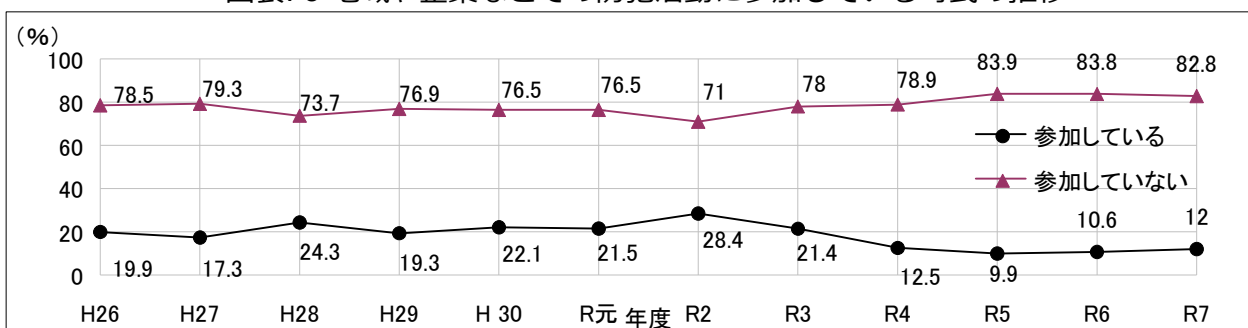
参加している 4.9%
たまたま参加している 7.1%

参加していない 69.9%
あまり参加していない 12.9%

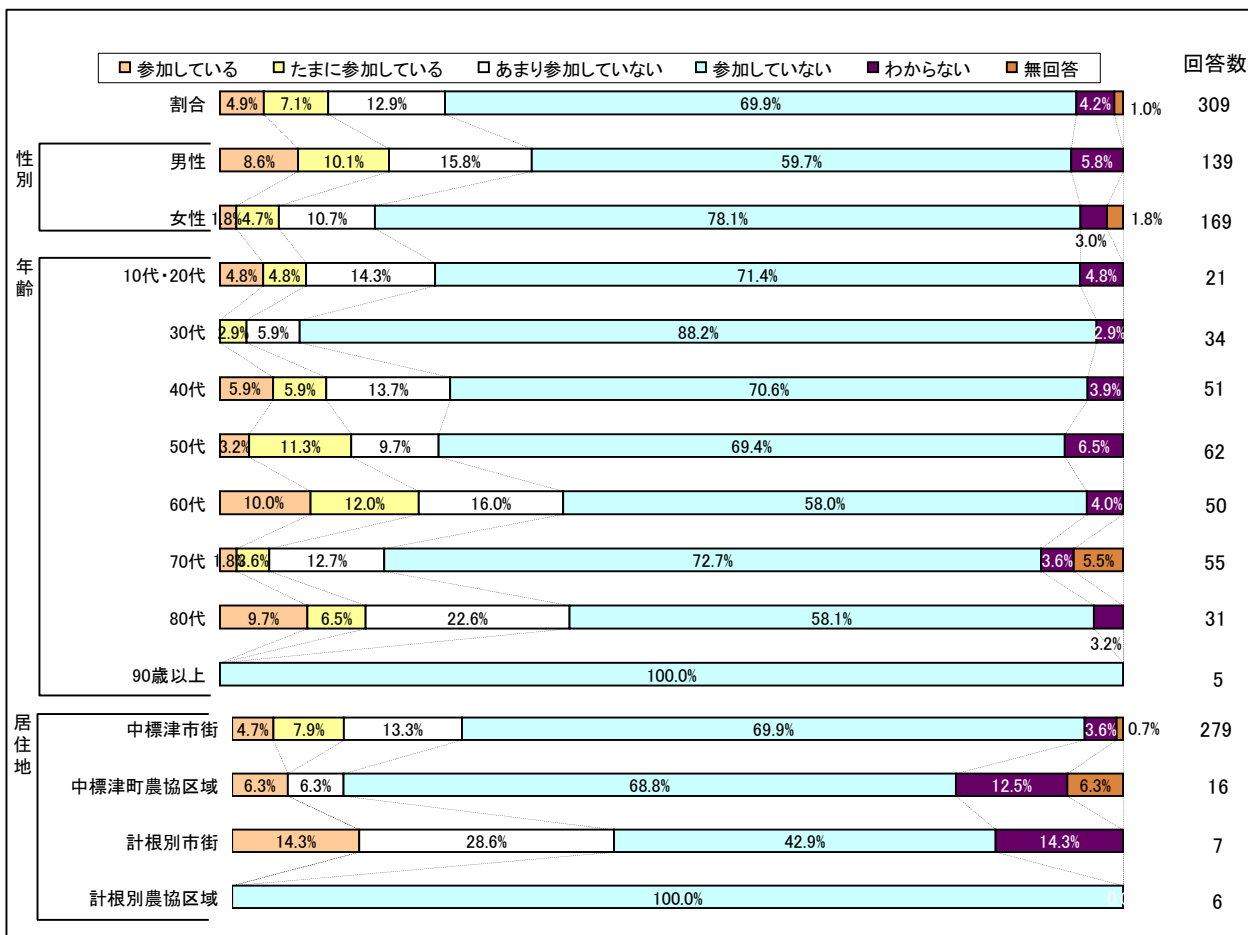
「参加している」（4.9%）と「たまたま参加している」（7.1%）をあわせた“参加している”人は12.0%となりました。

これまでの推移を見るとR2をピークに減少し、その後横ばいに推移しています。【図表76】性別では男性（18.7%）が女性（6.5%）よりも高く、年齢別では60代（22.0%）が最も高く、居住地別では計根別市街（14.3%）が最も高い結果となりました。【図表77】

図表76 地域や企業などでの防犯活動に参加している町民の推移



図表77 地域や企業などでの防犯活動に参加しているか（全体、性別、年齢、居住地）



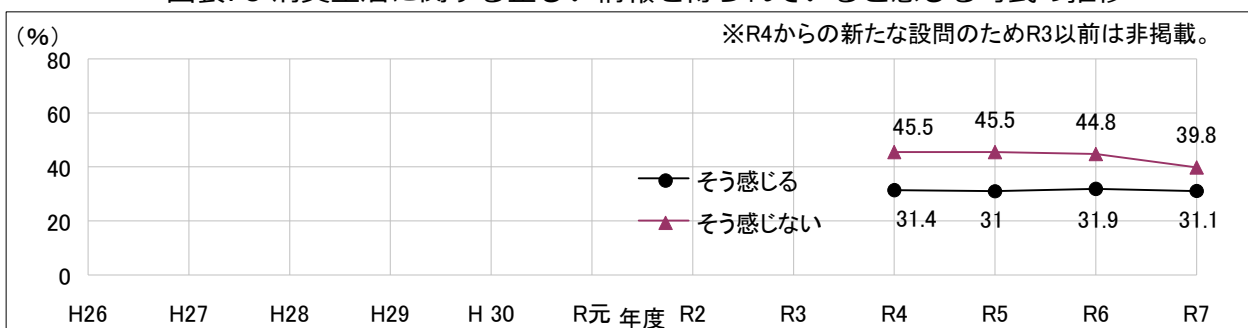
問31 消費生活に関する正しい情報を得られていると感じますか。

● “そう感じる”が31.1%、“そう感じない”が39.8%。

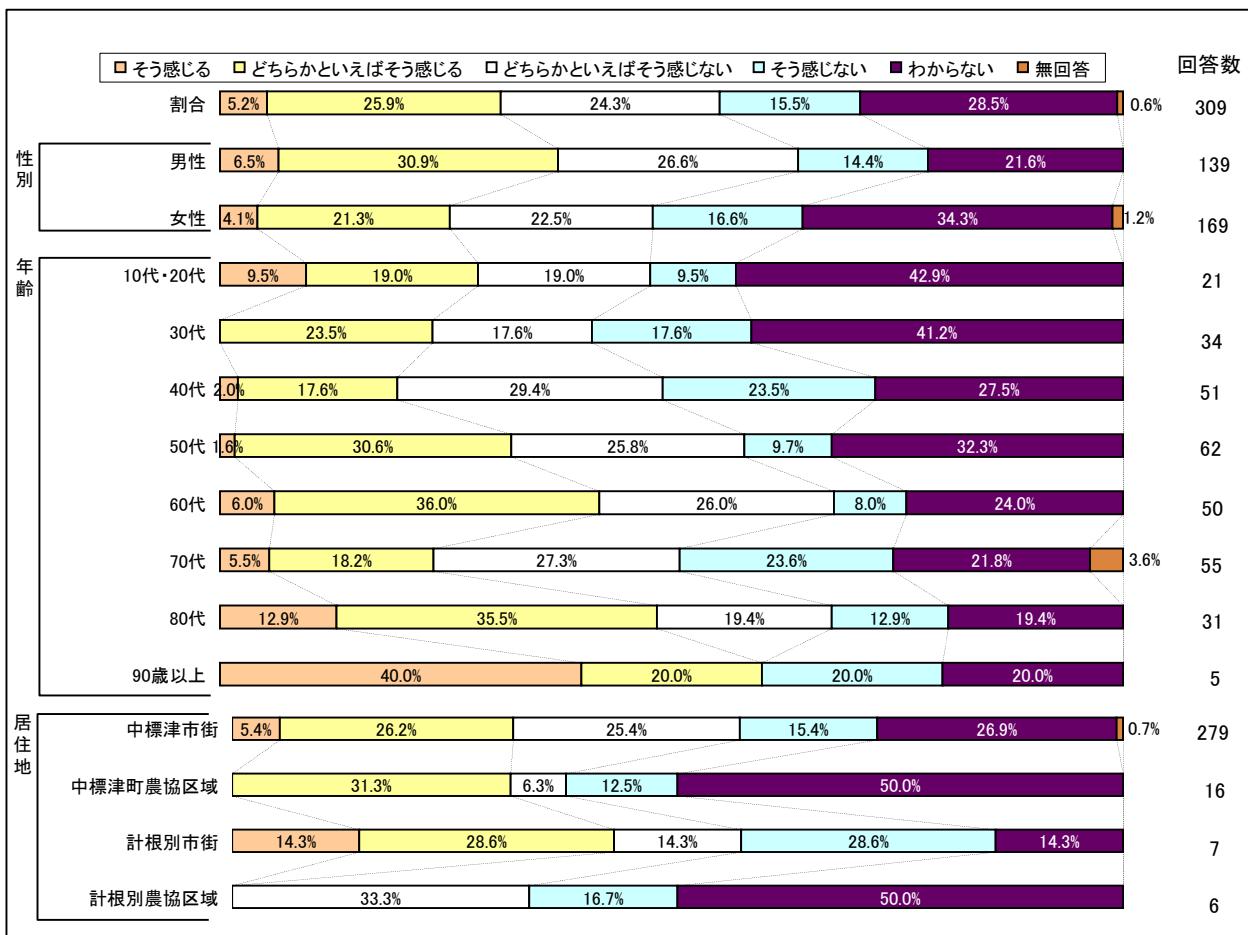
そう感じる 5.2% どちらかといえばそう感じる 25.9%	そう感じない 15.5% どちらかといえばそう感じない 24.3%
-----------------------------------	--------------------------------------

“そう感じる”（31.1%）よりも、“そう感じない”（39.8%）が高い結果となりました。性別では、男性（37.4%）と女性（25.4%）の“そう感じる”割合は差があり、年齢別では40代（19.6%）が最も低く、次いで30代（23.5%）が低い結果となりました。また全体的に“わからない”の回答の割合が例年よりも目立ちました。【図表79】

図表78 消費生活に関する正しい情報を得られていると感じる町民の推移



図表79 消費生活に関する正しい情報を得られているか（全体、性別、年齢、居住地）



問32 日頃から環境問題（温暖化、省エネルギー、ごみ減量等）について意識していますか。

● “意識している”が74.7%、“意識していない”が20.4%。

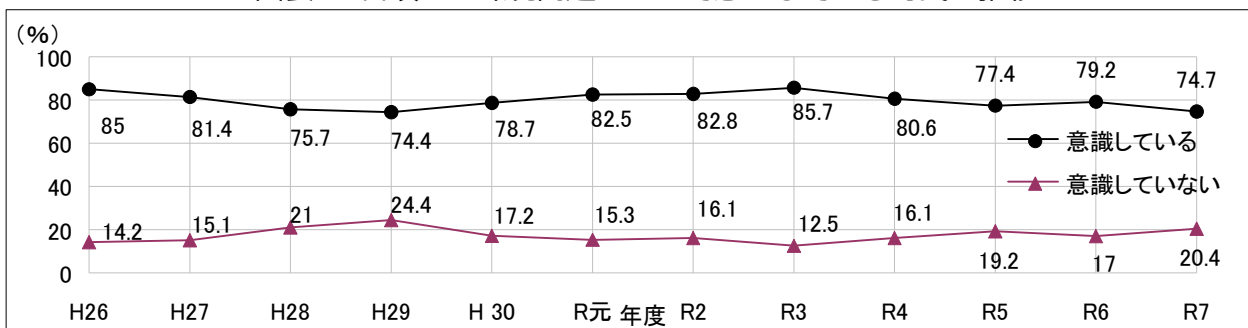
（意識している 26.2%
 どちらかといえば意識している 48.5%） （意識していない 8.4%
 どちらかといえば意識していない 12.0%）

「意識している」（26.2%）と「どちらかといえば意識している」（48.5%）をあわせた“意識している”人は74.7%となりました。

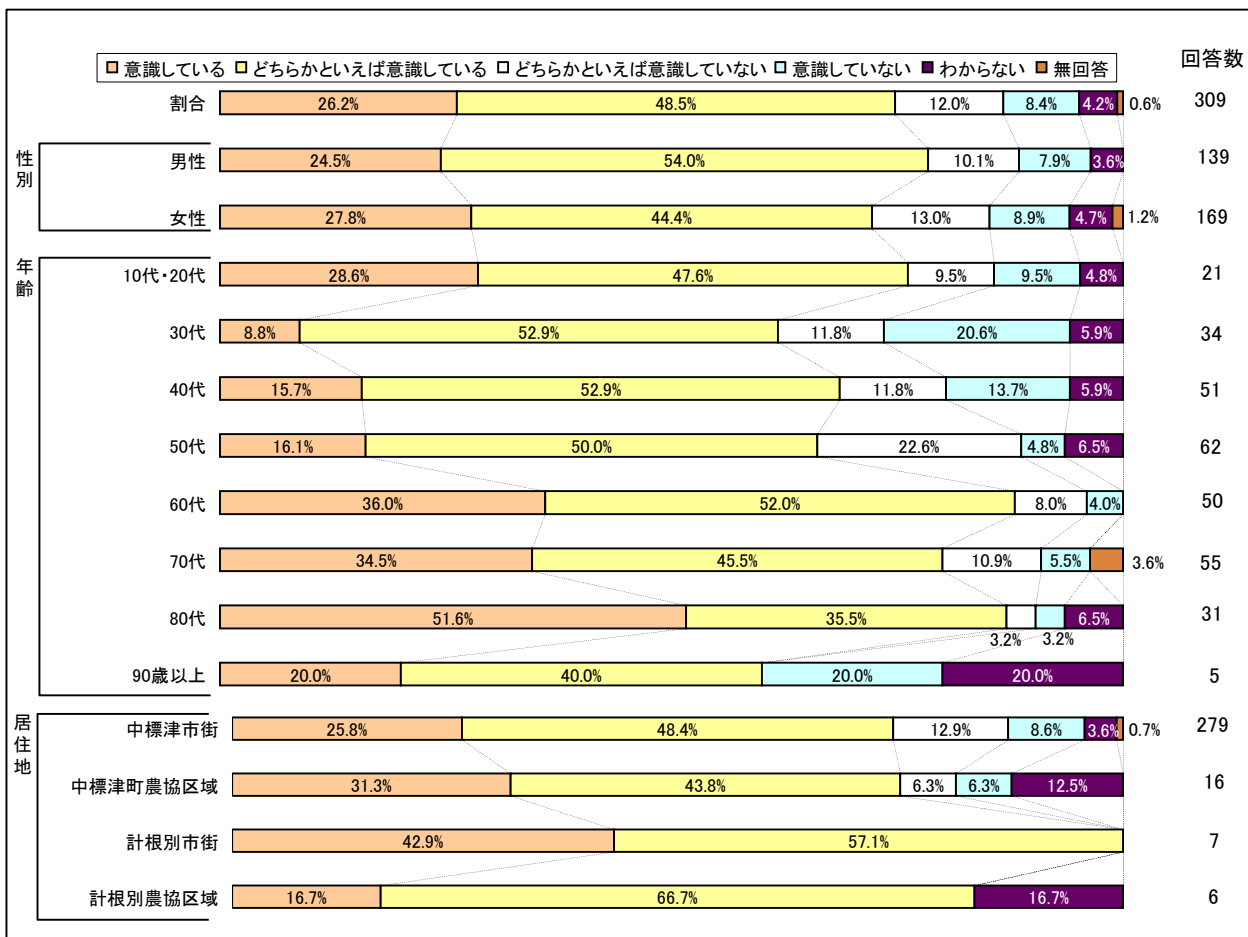
これまでの推移を見ると概ね横ばいで推移していることが分かります。【図表80】
 年齢別では60～80代では非常に高く、60代（88.0%）が特に高い結果となりました。

【図表81】

図表80 日頃から環境問題について意識している町民の推移



図表81 日頃から環境問題について意識しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問33 3R運動（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生使用）をしていますか。

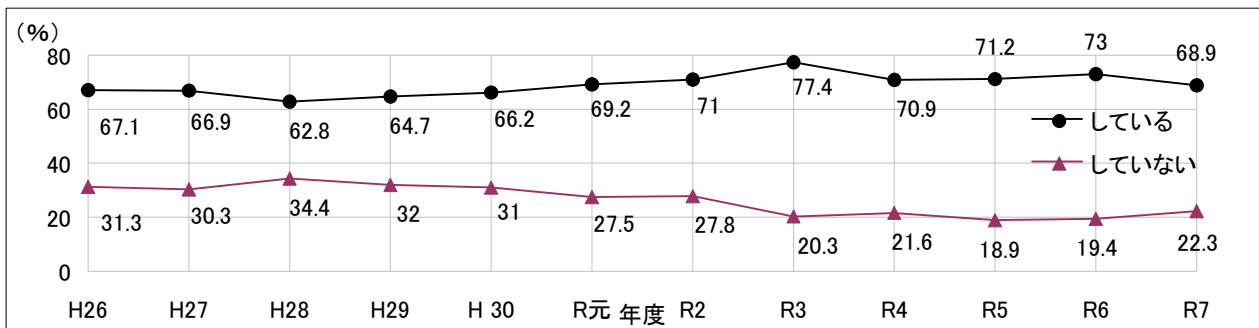
● “している”が68.9%、“していない”が22.3%。

（している 24.6%
どちらかといえばしている 44.3%） （していない 8.4%
どちらかといえばしていない 13.9%）

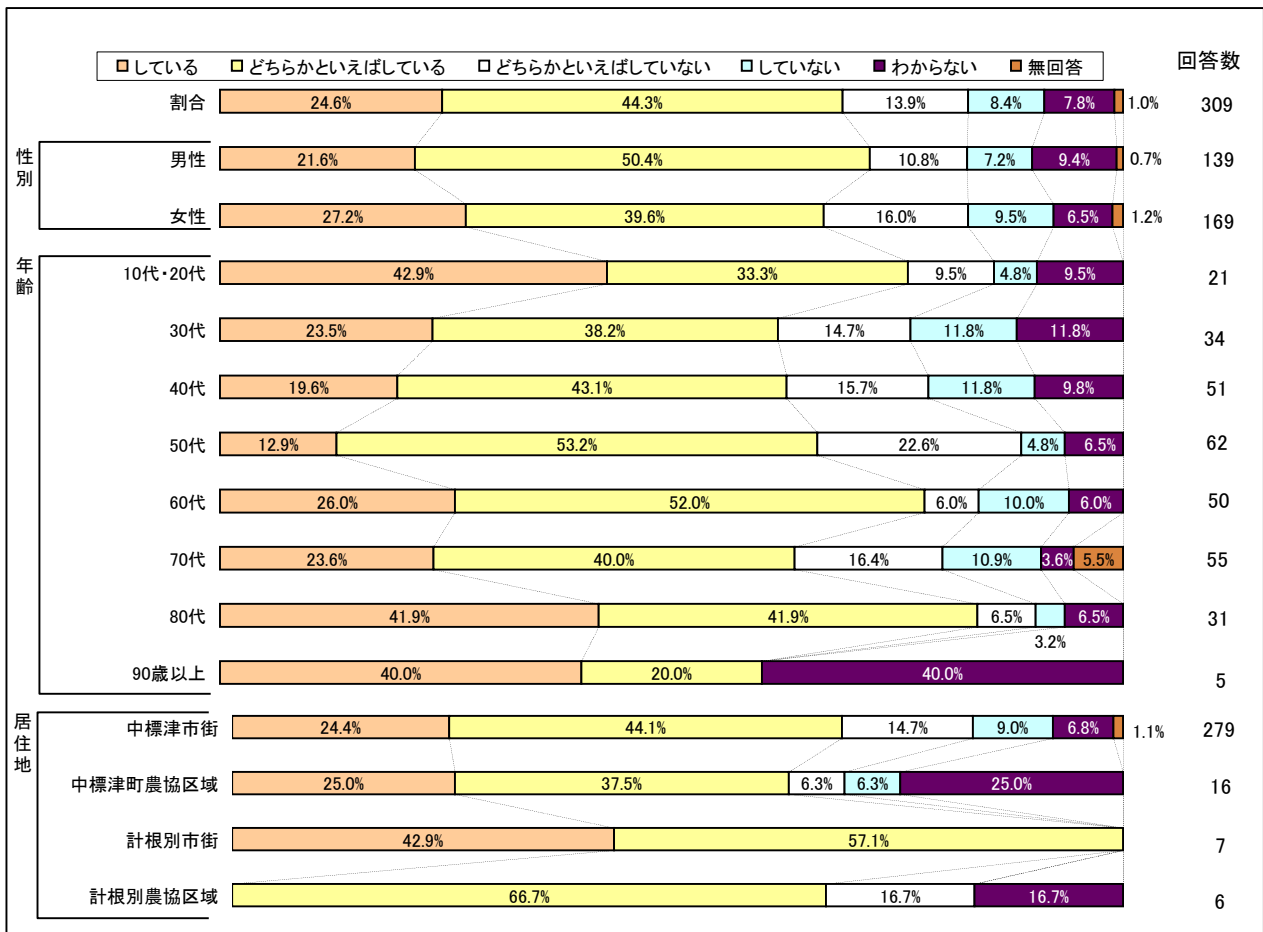
「している」（24.6%）と「どちらかといえばしている」（44.3%）をあわせた“している”人は68.9%となりました。

これまでの推移を大きく見るとほぼ横ばいで推移していることが分かります。【図表82】
年齢別でみると、10代・20代、60代、80代が他の年代と比較して特に高い割合となっており、居住地別では計根別市街（100.0%）で最も高い結果となりました。【図表83】

図表82 3R運動をしている町民の推移



図表83 3R運動をしているか（全体、性別、年齢、居住地）



問34 学校、家庭、地域が一体となって教育活動を進めていると感じますか。

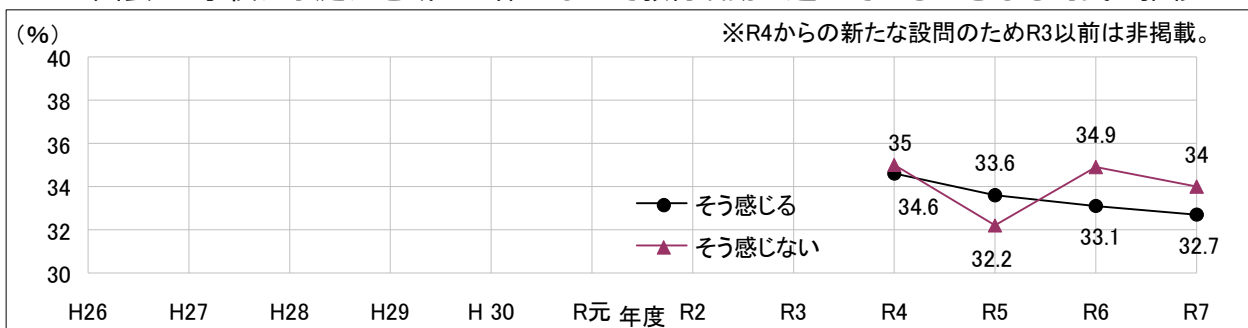
● “そう感じる”が32.7%、“そう感じない”が34.0%。

（そう感じる 2.6% どちらかといえばそう感じる 30.1%） （そう感じない 13.3% どちらかといえばそう感じない 20.7%）

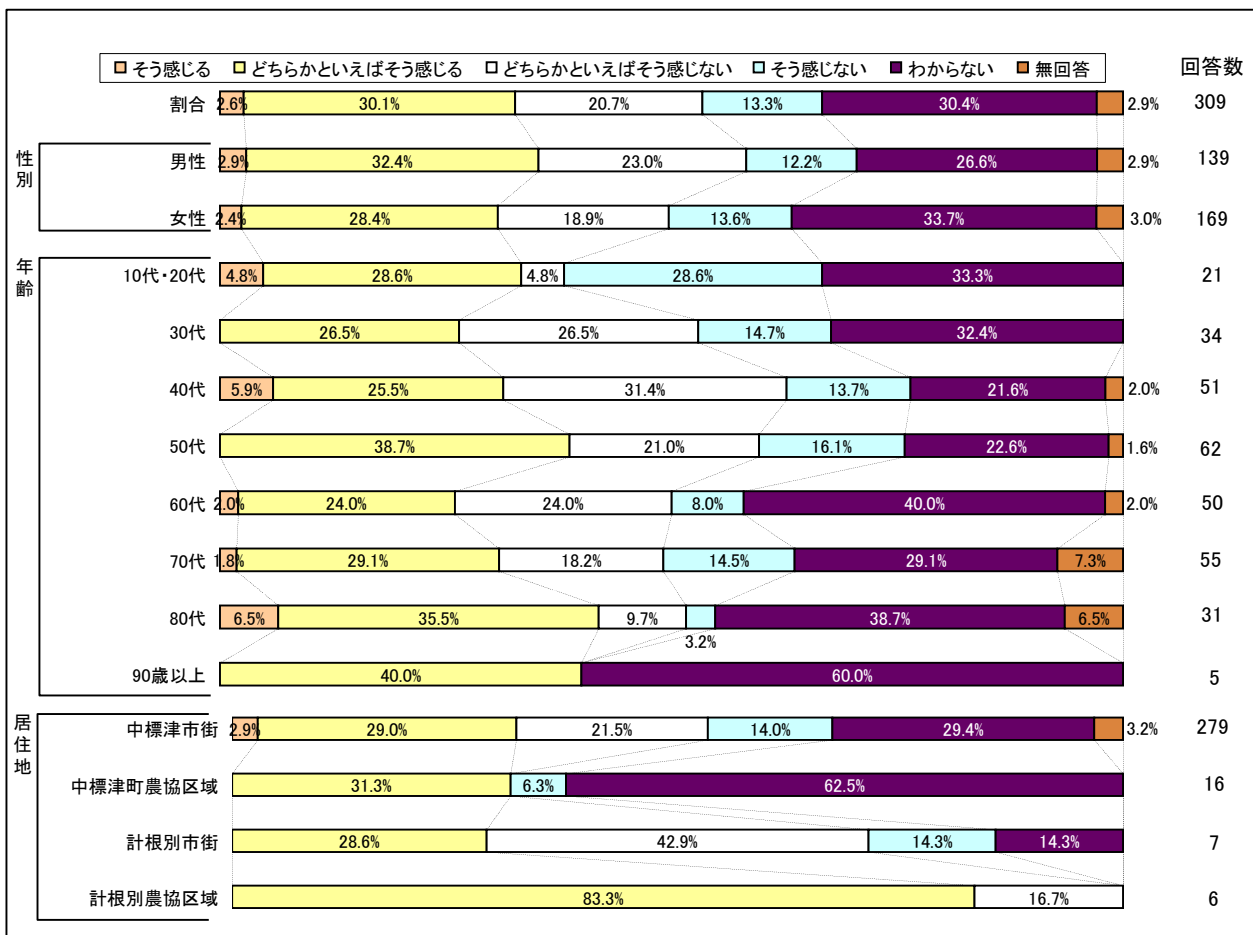
「そう感じる」（2.6%）と「どちらかといえばそう感じる」（30.1%）をあわせた“そう感じる”人は32.7%となりました。

性別では、男性（35.3%）が女性（30.8%）よりも高く、年齢別では、80代（42.0%）と50代（59.7%）が高く、30代（26.5%）、60代（26.0%）が低い結果となり、居住地別では計根別農協区域（83.3%）で高い結果となりました。【図表85】

図表84 学校、家庭、地域が一体となって教育活動を進めていると感じる町民の推移



図表85 学校、家庭、地域が一体となって教育活動を進めていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問35 らいふまっぷ（生涯学習情報誌）・社会教育施設ホームページに満足していますか。

● “満足している”が26.5%、“満足していない”が12.9%。

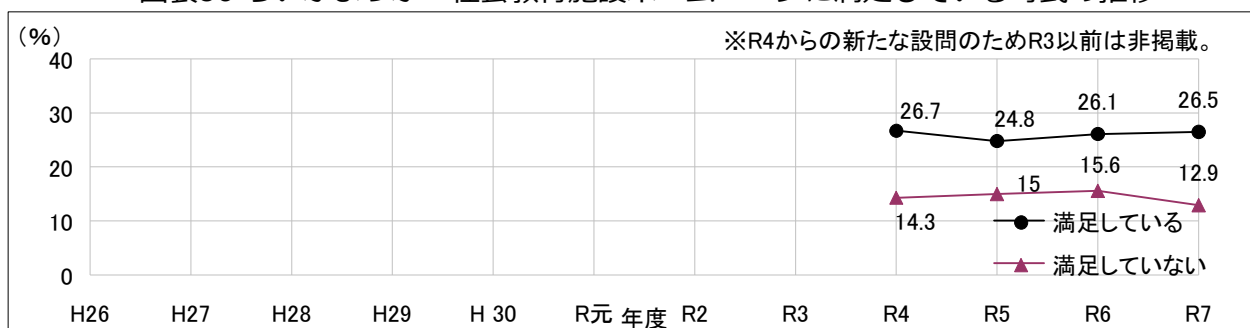
（満足している 1.9%
どちらかといえば満足している 24.6%） （満足していない 4.5%
どちらかといえば満足していない 8.4%）

「満足している」（1.9%）と「どちらかといえば満足している」（24.6%）を合わせた“満足している”人は26.5%となりました。また、「わからない」を選んだ方が57.3%と半数以上となる結果となりました。

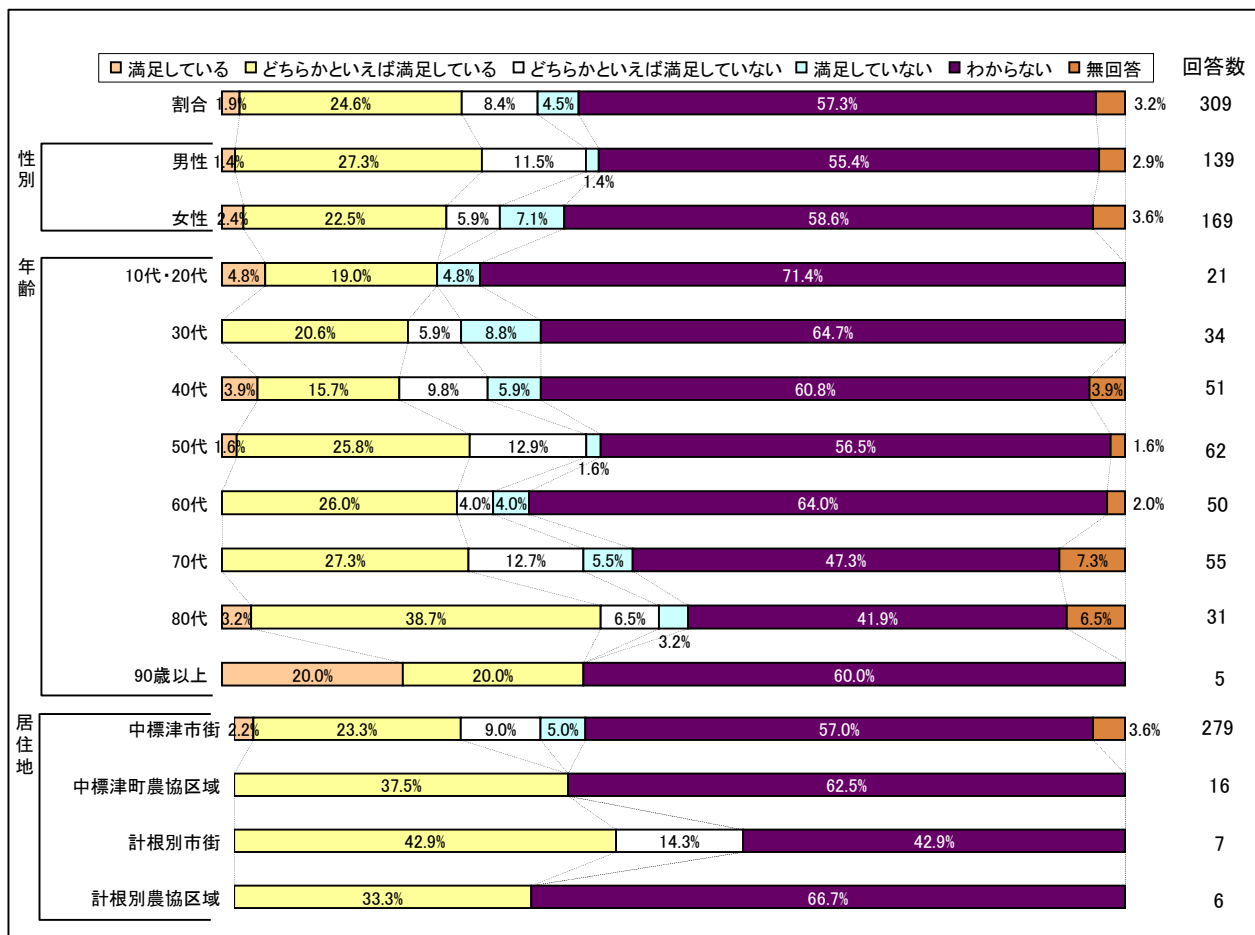
年齢別で見ると10～30代が低い割合となり、80代（41.9%）で比較的高い結果となりました。

【図表87】

図表86 らいふまっぷ・社会教育施設ホームページに満足している町民の推移



図表87 らいふまっぷ・社会教育施設ホームページに満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問36 生涯学習活動を通して生きがいを感じますか。

※生涯学習活動とは
学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味等の学習。

● “そう感じる”が32.1%、“そう感じない”が24.3%。

（そう感じる 4.9%
どちらかといえばそう感じる 27.2%）

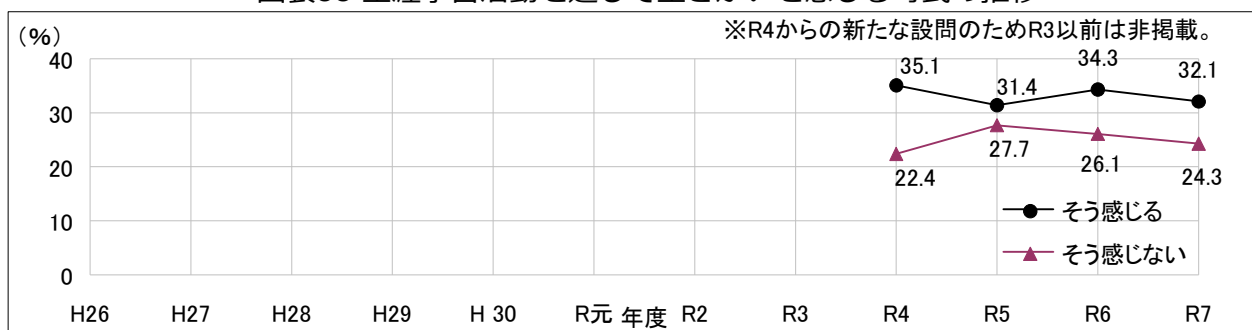
（そう感じない 10.4%
どちらかといえばそう感じない 13.9%）

「そう感じる」（4.9%）と「どちらかといえばそう感じる」（27.2%）をあわせた“そう感じる”人は32.1%となりました。

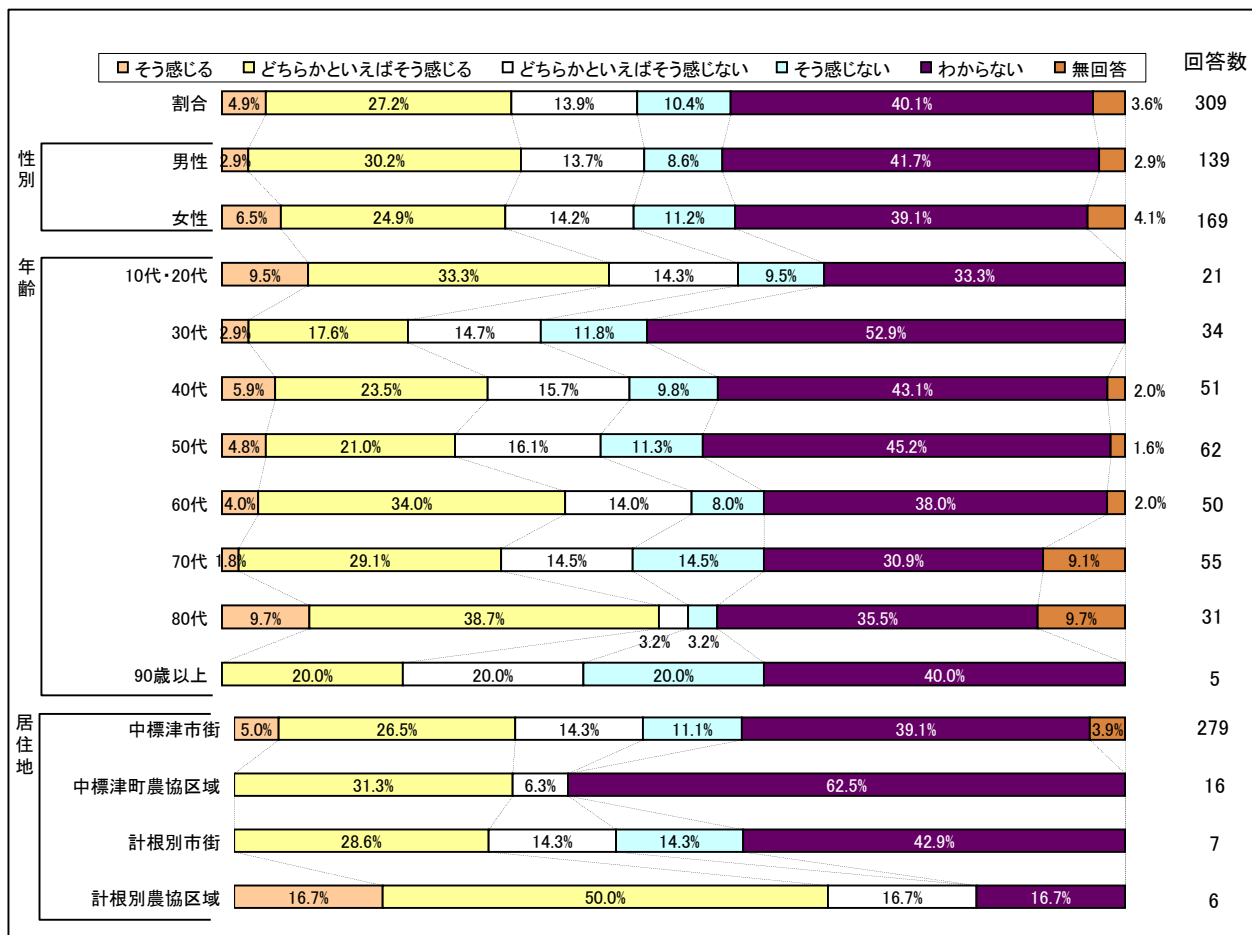
また、「わからない」を選んだ人が40.1%と高い割合を占めました。

性別では、男性（33.1%）と女性（31.4%）の“そう感じる”割合はほぼ同じ割合の結果となり、年齢別では、30代の“そう感じる”が20.5%に対し、「わからない」が52.9%と半数以上となりました。【図表89】

図表88 生涯学習活動を通して生きがいを感じる町民の推移



図表89 生涯学習活動を通して生きがいを感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



問37 運動やスポーツに取り組んでいますか。

● “取り組んでいる”が39.5%、“取り組んでいない”が55.6%。

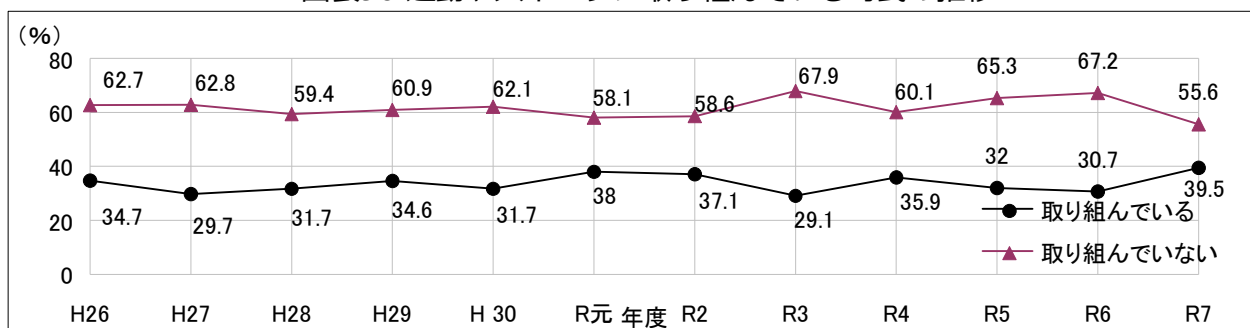
取り組んでいる 19.1%	取り組んでいない 29.4%
どちらかといえば取り組んでいる 20.4%	あまり取り組んでいない 26.2%

「取り組んでいる」（19.1%）と「どちらかといえば取り組んでいる」（20.4%）をあわせた“取り組んでいる”人は39.5%となりました。

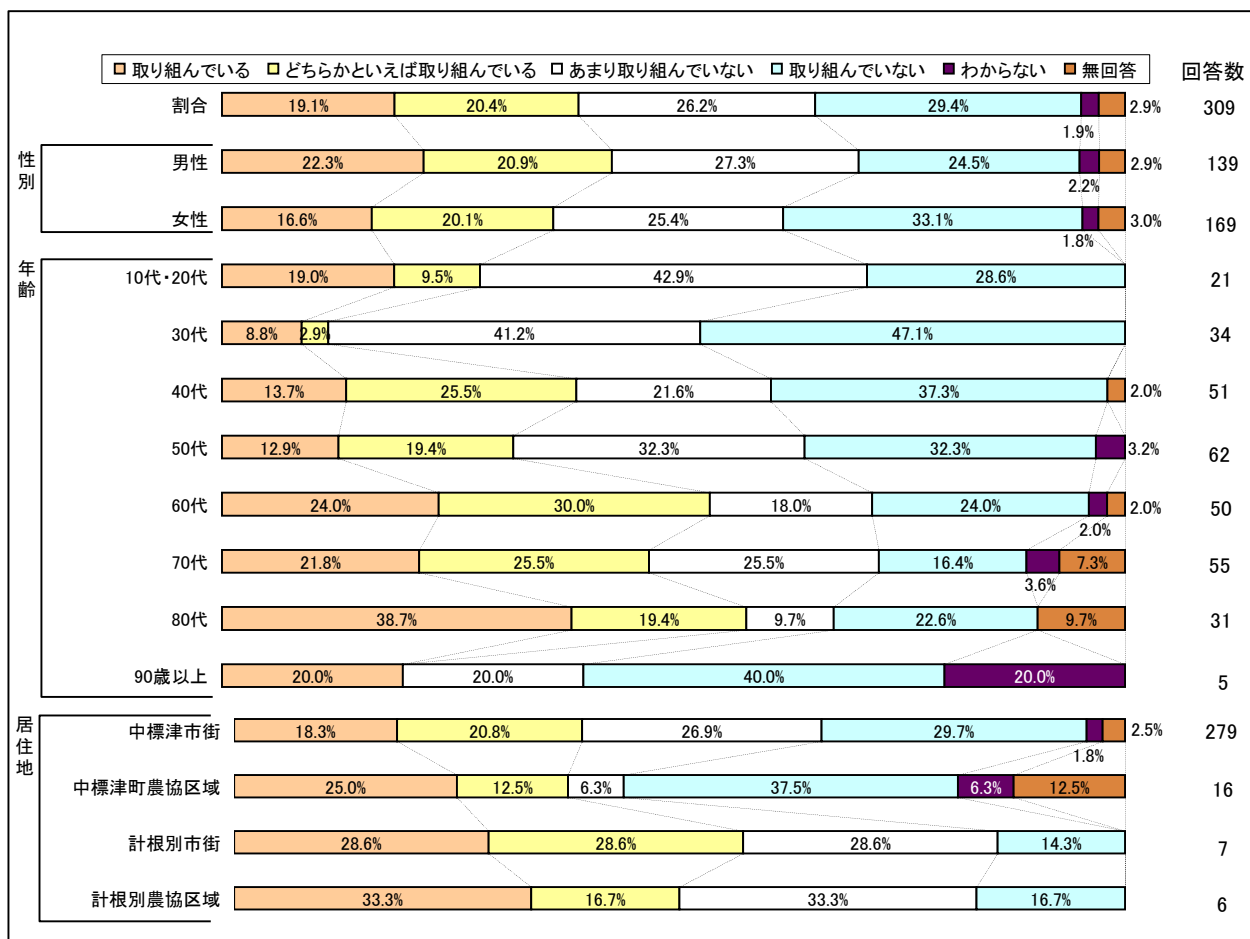
これまでの推移は概ね横ばいでしたが、本年度はやや増加しました。【図表90】

性別でみると男性（43.2%）が女性（36.7%）よりも高く、年齢別では80代（58.1%）が最も高く、次いで60代（54.0%）、対して“取り組んでいる”人が少ない年代は、30代（11.7%）、10代・20代（28.5%）となっています。【図表91】

図表90 運動やスポーツに取り組んでいる町民の推移



図表91 運動やスポーツに取り組んでいるか（全体、性別、年齢、居住地）



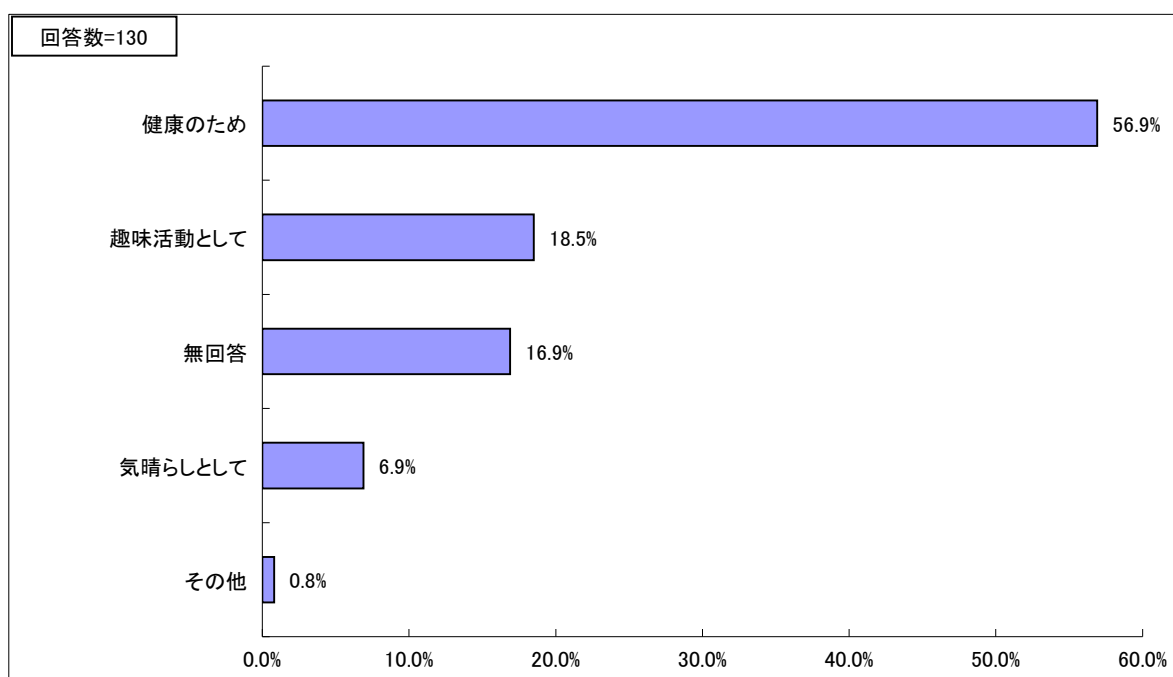
問37-1 運動やスポーツに取り組んでいる理由を1つ選んでください。（問37で「取り組んでいる」「どちらかといえば取り組んでいる」を選択した方のみ）

- 「健康のため」が第1位。次いで「趣味活動として」、「無回答」の順。

問37で“取り組んでいる”と回答した人（全体の39.5%）に取り組んでいる主な理由をたずねたところ「健康のため」が最も高い結果となりました。【図表92】

次いで「趣味活動として」、「無回答」が高い回答となりました。【図表93】

図表92 運動やスポーツに取り組む理由（全体／一つのみ回答）



図表93 運動やスポーツに取り組む理由（性別、年齢／一つのみ回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	健康のため 60.3	趣味活動として 19.0	無回答 11.1
	女性	健康のため 53.7	無回答 22.4	趣味活動として 17.9
年齢	10代・20代	趣味活動として 50.0	気晴らしとして 33.3	健康のため 16.7
	30代	健康のため 40.0	無回答 (同率1位) 40.0	気晴らしとして 20.0
	40代	健康のため 52.4	趣味活動として 33.3	無回答 9.5
	50代	健康のため 61.9	趣味活動として 23.8	無回答 9.5
	60代	健康のため 66.7	趣味活動として 18.5	同率複数のため省略 -
年齢	70代	健康のため 58.6	無回答 31.0	趣味活動として 6.9
	80代	健康のため 60.0	無回答 25.0	気晴らしとして 10.0
	90歳以上	趣味活動として 100.0		

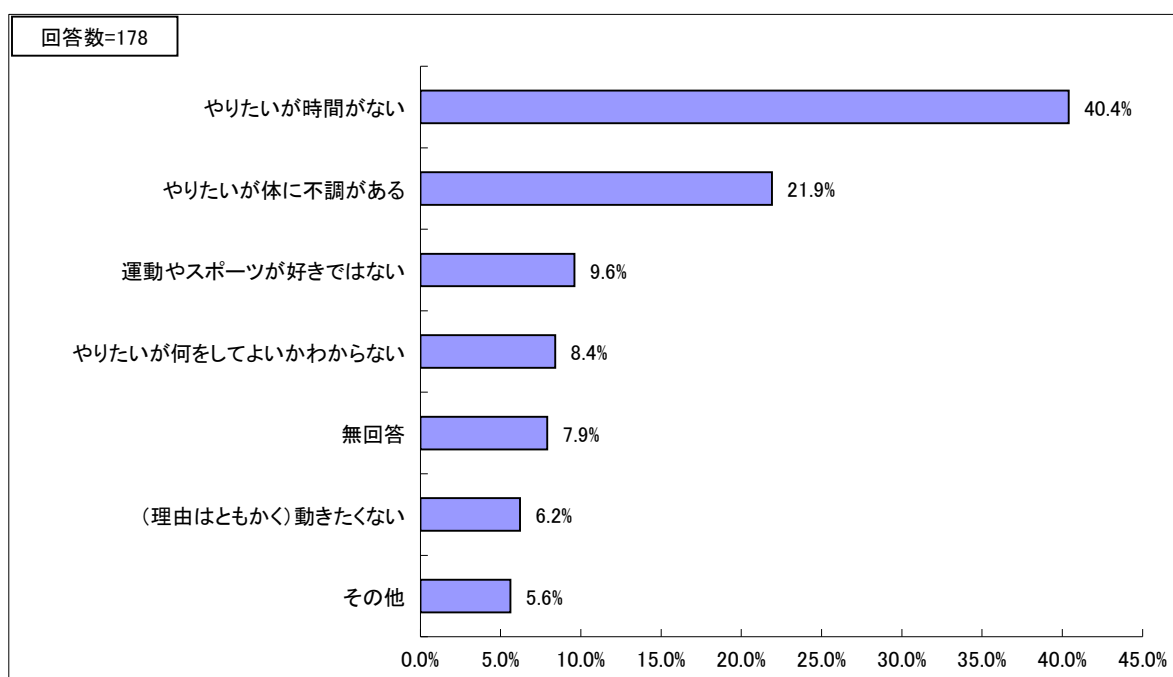
問37-2 運動やスポーツに取り組んでいない理由を1つ選んでください。（問37で「あまり取り組んでいない」「取り組んでいない」を選択した方のみ）

- 「やりたいが時間がない」が第1位。次いで「やりたいが体に不調がある」、「運動やスポーツが好きではない」の順。

問37で“取り組んでいない”と回答した人（全体の55.6%）に取り組んでいない主な理由をたずねたところ「やりたいが時間がない」が最も高い結果となりました。【図表94】
「やりたいが時間がない」は10～60代までの年代で高い結果となった他、「やりたいが体に不調がある」「運動やスポーツが好きではない」も比較的高い結果となりました。

【図表95】

図表94 運動やスポーツに取り組んでいない理由（全体／一つのみ回答）



図表95 運動やスポーツに取り組んでいない理由（性別、年齢／一つのみ回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	やりたいが時間がない 45.3	やりたいが体に不調がある 26.7	やりたいが何をしてもよいかわからない 8.0
	女性	やりたいが時間がない 37.3	やりたいが体に不調がある 18.6	運動やスポーツが好きではない 12.7
年齢	10代・20代	やりたいが時間がない 42.9	運動やスポーツが好きではない 21.4	(理由はともかく) 動きたくない (同率2位) 21.4
	30代	やりたいが時間がない 51.7	やりたいが体に不調がある 13.8	同率複数のため省略 -
	40代	やりたいが時間がない 64.5	やりたいが体に不調がある 9.7	その他 (同率2位) 9.7
	50代	やりたいが時間がない 46.3	運動やスポーツが好きではない 17.1	無回答 12.2
	60代	やりたいが時間がない 40.9	やりたいが体に不調がある 36.4	やりたいが何をしてもよいかわからない 9.1
年齢	70代	やりたいが体に不調がある 53.8	その他 11.5	同率複数のため省略 -
	80代	やりたいが体に不調がある 33.3	やりたいが何をしてもよいかわからない 25.0	無回答 16.7
	90歳以上	やりたいが体に不調がある 100.0		

問38 文化活動・芸術活動に取り組んでいますか。

● “取り組んでいる”が14.8%、“取り組んでいない”が78.0%。

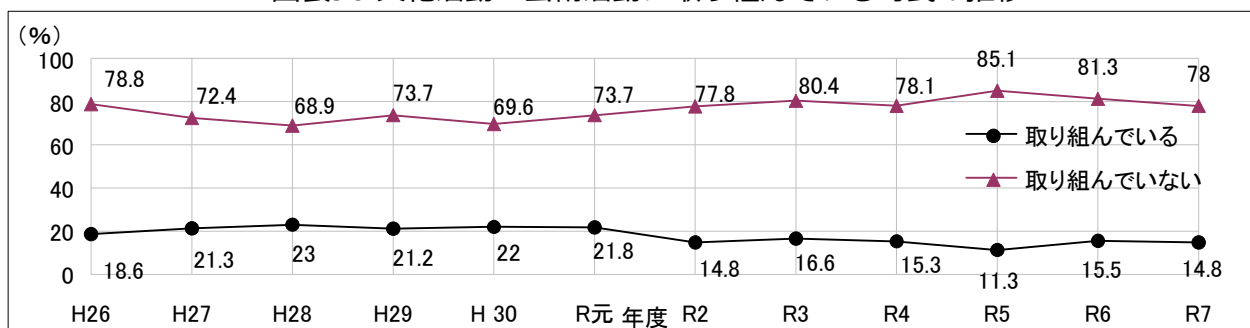
（取り組んでいる 7.4%
 どちらかといえば取り組んでいる 7.4%） （取り組んでいない 57.0%
 あまり取り組んでいない 21.0%）

「取り組んでいる」（7.4%）と「どちらかといえば取り組んでいる」（7.4%）をあわせた“取り組んでいる”人は14.8%となりました。

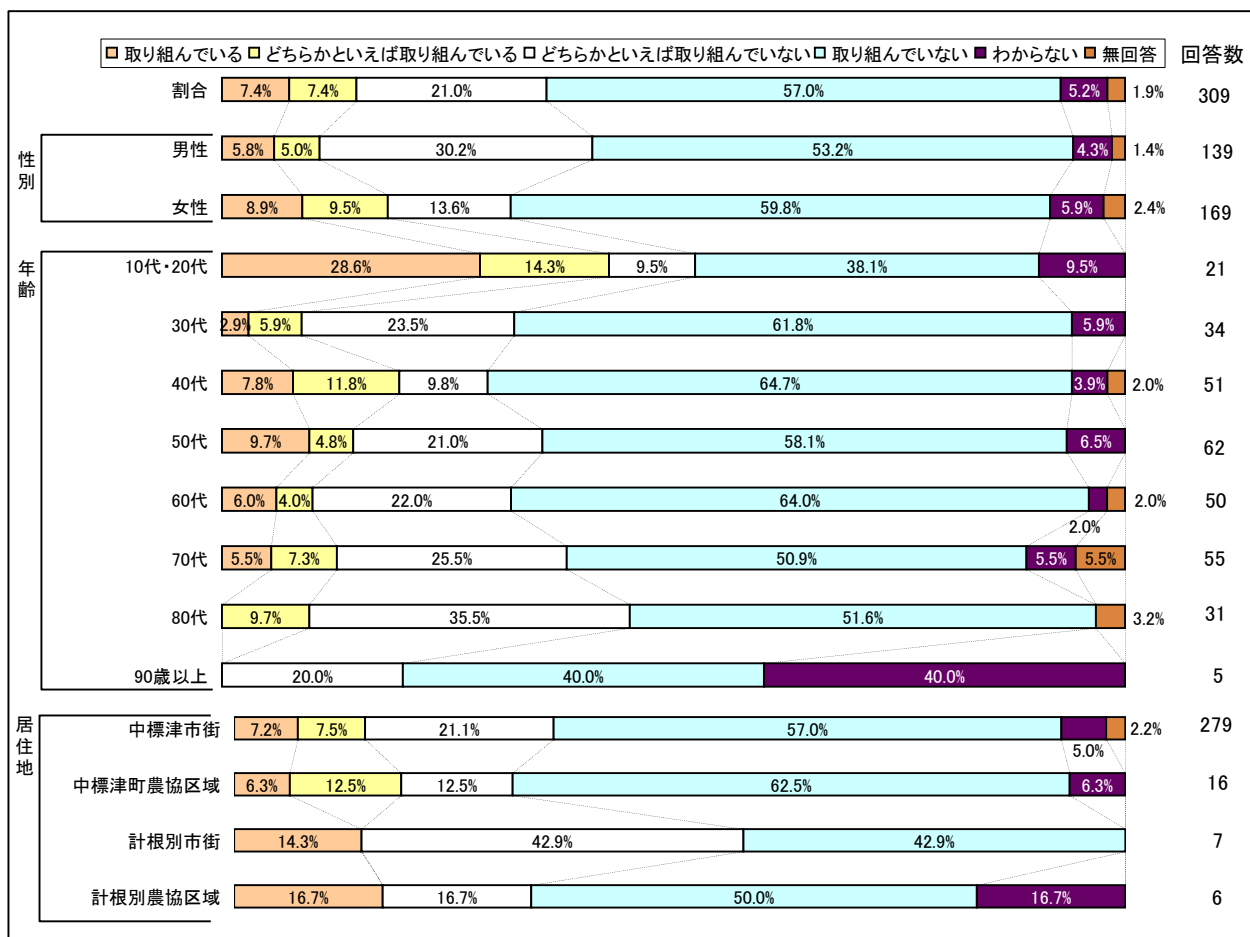
これまでの推移を見るとR2以降さらに低い水準で推移していることが分かります。【図表96】
 その中で年齢別でみると10代・20代（42.9%）が比較的高い結果となっています。

【図表97】

図表96 文化活動・芸術活動に取り組んでいる町民の推移



図表97 文化活動・芸術活動に取り組んでいるか（全体、性別、年齢、居住地）



問39 町内に、歴史や自然・文化を後世に伝えていくため、残したいと思うものがありますか。

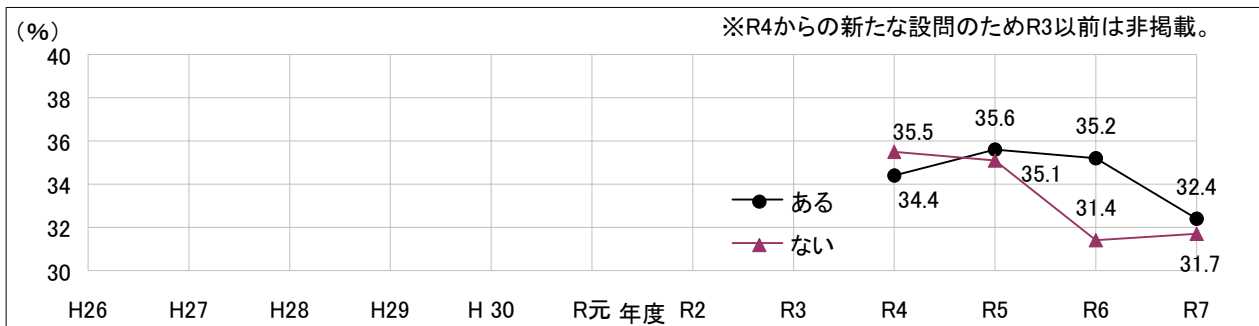
● “ある”が32.4%、“ない”が31.7%。

ある 10.4%	ない 17.5%
どちらかといえばある 22.0%	どちらかといえばない 14.2%

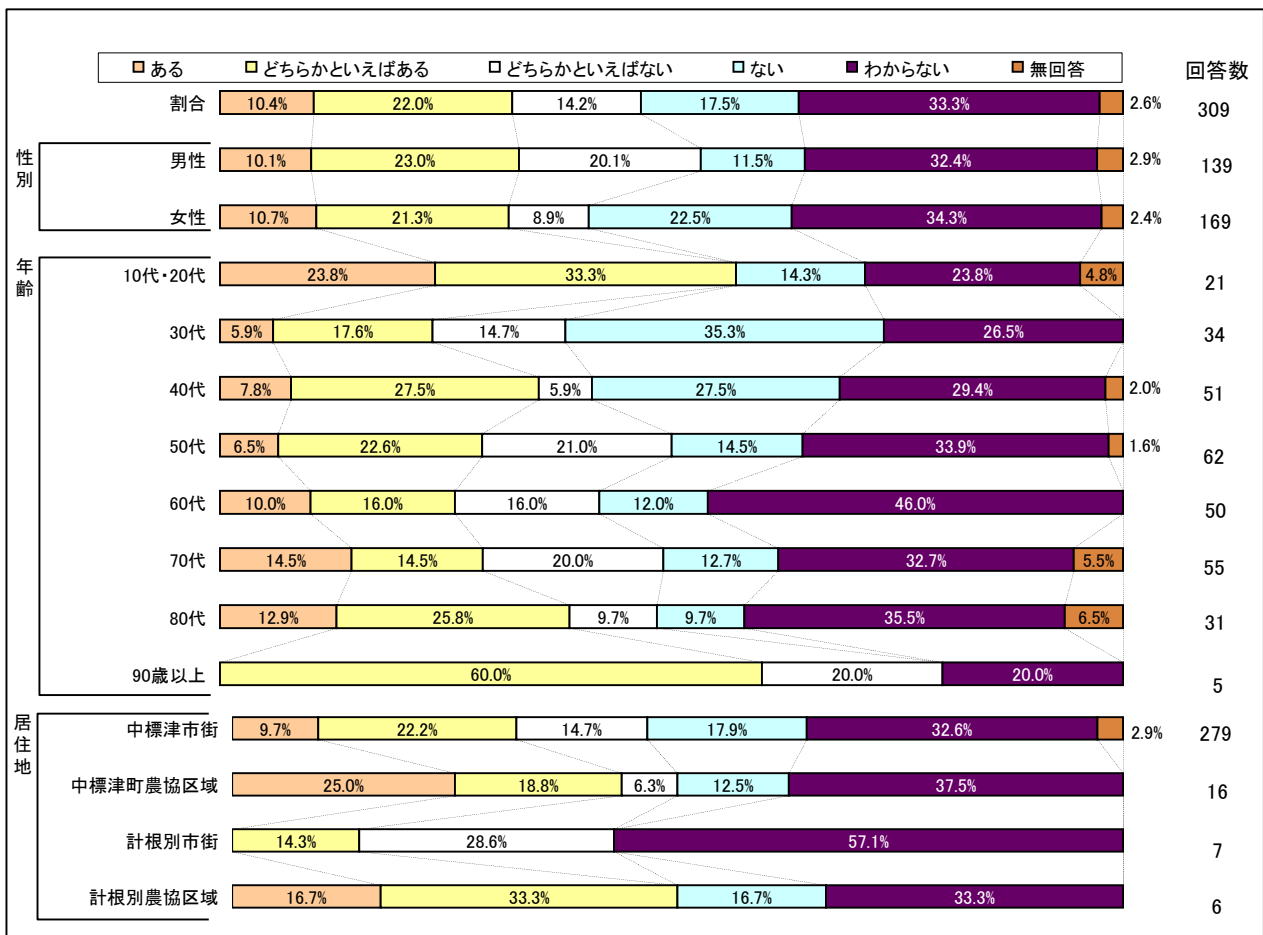
「ある」（10.4%）と「どちらかといえばある」（22.0%）をあわせた“ある”人は32.4%となりました。また、前年度に引き続き、「わからない」（33.3%）の回答も多くみられました。

性別では男性（33.1%）が女性（32.0%）の方より若干高い結果となり、年齢別では10代・20代（57.1%）、90歳以上（60.0%）が高い結果となりました。居住地別では計根別市街（14.3%）が比較的低い結果となりました。【図表99】

図表98 町内に、歴史や自然・文化を後世に残したいと思うものがある町民の推移



図表99 町内に、歴史や自然・文化を後世に残したいと思うものがあるか（全体、性別、年齢、居住地）



問40 第7期中標津町総合計画では、まちづくりの基本理念として、「住む人がつながるまち」、「その人とつながるまち」、「しごとがながるまち」、「まわりの自治体とつながるまち」の4項目を掲げ、具体的な目標として下記を設定しました。それぞれについてあなたが感じる町の達成度合いをお聞かせください。

図表100・101・102・103

【目標1】町民・団体・企業・行政の協働

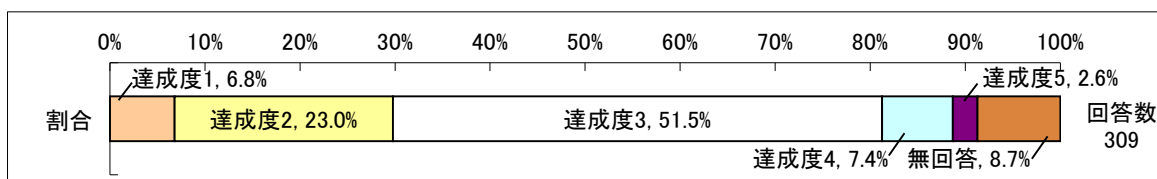
平均達成度

⇒町民・団体・企業・行政など、あらゆる主体が対話・連携によりお互いを補い合う協働のまちづくりを進めます。

2.7

図表100 横断的目標1の達成度

※達成度:1(低い)~5(高い)



【目標2】関係人口・交流人口の拡大

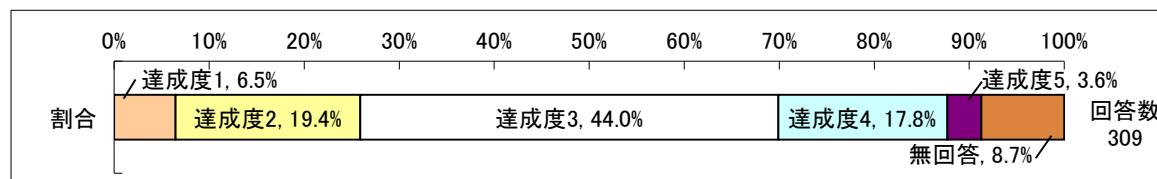
平均達成度

⇒より多くの人が集まり、関わり、交流する賑わいのあるまちづくりを進めます。

2.9

図表101 横断的目標2の達成度

※達成度:1(低い)~5(高い)



【目標3】横断的連携の強化

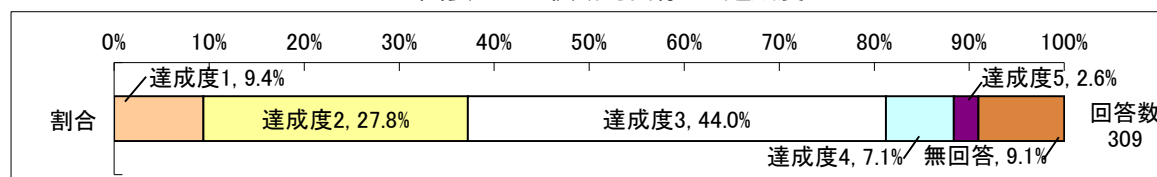
平均達成度

⇒あらゆる主体や行政組織がそれぞれの分野・固定概念に縛られず、垣根を超えた効果的・効率的な連携により町の活性化につながるまちづくりを進めます。

2.6

図表102 横断的目標3の達成度

※達成度:1(低い)~5(高い)



【目標4】広域連携の強化

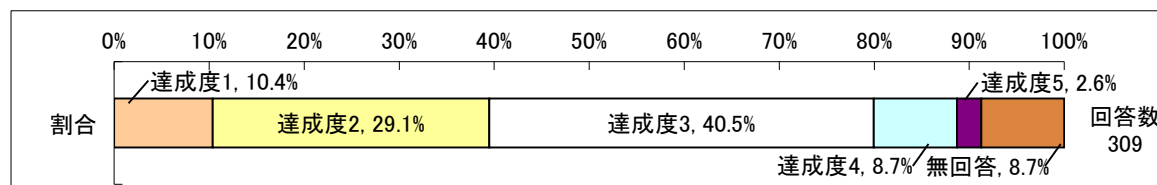
平均達成度

⇒近隣自治体等との広域連携を強化し、広域的な活性化や町単独では対応できない課題へ対応するまちづくりを進めます。

2.6

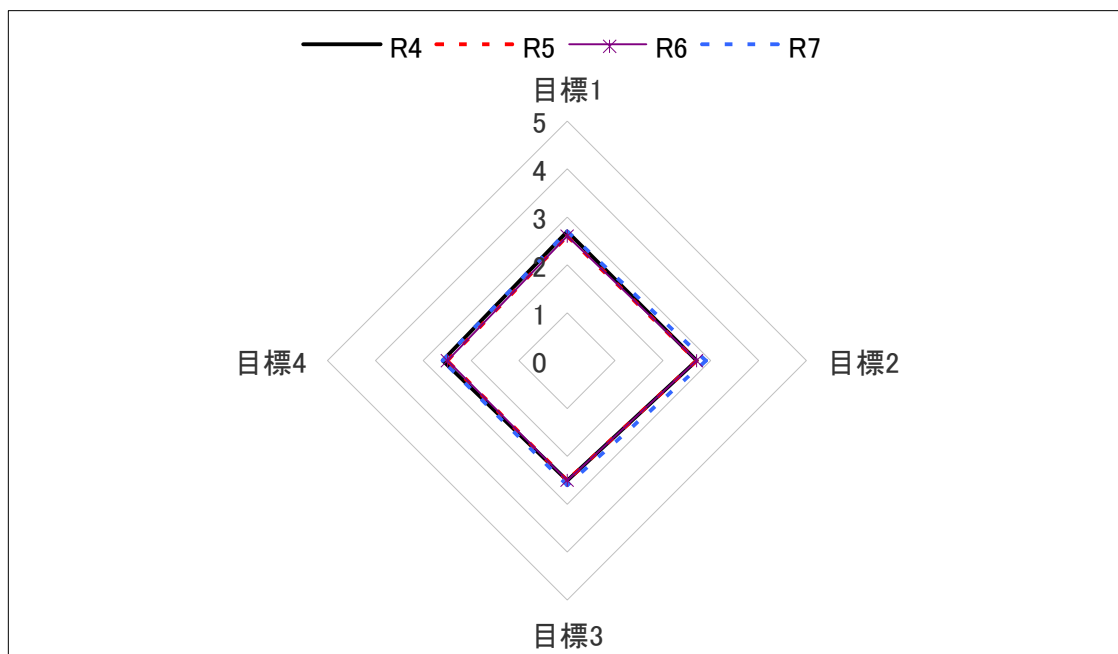
図表103 横断的目標4の達成度

※達成度:1(低い)~5(高い)



目標1~4の達成度をたずねたところ、その平均達成度は目標1で「2.7」、目標2で「2.9」、目標3・4で「2.6」となりました。いずれの目標も達成度「3」を選ぶ方が最も多く、次いで達成度「2」を選ぶ方が多い結果となりました。【図表100~103】

図表104 横断的目標の平均達成度の推移



Ⅲ まちづくり町民アンケート自由意見

1 町の行政に望むことやまちづくりについての自由記述

(1) 自由記述の記入状況

問 あなたの生活で現在もしくは将来に向けて町の行政に望むことやまちづくりについて、ご意見などがございましたらご自由にお書きください。

自由記述に意見等を記入した人は、93人で、回答者（309人）に対する記入率は、30.1%となりました。

集約した意見を「行財政分野」「健康・福祉・子育て分野」「経済・産業分野」「都市基盤・生活環境分野」「教育・文化分野」の5つの分野で区分し、まとめる
と次のとおりとなります。【図表105】

図表105 自由記述一覧

分野	性別	年齢	意見集約
行財政分野	男性	30歳代	<ul style="list-style-type: none"> アンケートとるわりになにも改善されていない 病院の設備がひどすぎる(予約取りにくい。すぐ釧路にいかされる) 娯楽がなさすぎる 福祉サービスがひどすぎる(介護施設にあきがない) 道路がボコボコすぎ 飛行機の便を増やしてほしい ITとかよく分からない学校作ったり外国人のためにお金使うより今住んでる人を大事にしてほしい
			国保を下げたり町税を下げたり町民の畑を無償にしたり役場の雰囲気良くしたり、あとは、政教分離かな！
		40歳代	春に転入しましたが、役場の転入手続きに時間がかかりすぎてびっくりしました。職員はたくさんいるようですが、連携がとれていないのか...流れ作業の転入・転出手続きにこんなに時間がかかるのは問題ではないか？システムを見直す等の改善が必要ではないですか？役場も初めて行く者にはわかりづらいです。
			どこを目指しているのかわからない。
		50歳代	「今時紙のアンケート？」という声もあるのだと思いますが、個人的にはこういうアナログなやり方のほうが断然好きです。それぞれに思っていることがあっても、仕事や雑用で忙しく、なかなか自分から行政に対して意見を持ち込んで改善を要望したり、何かをお願いしたり、という所までは行動できないのが現実だと思います。なので、こういう形で意見を聞こうとしてもらえること自体ありがたく思っています。町の取り組みについて何かしら考える機会になりました。
			道の駅
			柔軟な発想や新しい活動に積極的にサポートできる、町作りをお願いします。
			外国人労働者や学生の所在や連絡先、住所等を自治体は、細かく周知してもらいたい。
		60歳代	失敗してもいいと思うのでお金をつけてどんどんやってほしいです。皆が良いと思うのでなく少数でも可です。
		70歳代	地代をさげてもらいたい。
	80歳代	私は高齢者です。お金のかからない街づくりを考えてはどうですか。今は賃金が上がらず、働きたくても法律で規制されています。税金はうなぎ上りの増税です。政治家は日本のために働いていません。少子化対策の予算は莫大ですが、その対策内容はお金のばらまき。中標津町だけではどうにもならないと思いますが、上ばかり見ていないで、足元や過去をしっかりと見てほしいと思います。	
	女性	10歳代・20歳代	分かりません
		30歳代	2年前に中標津町に引っ越してきましたが、家族友人もいない中、子供もいないため、人とのつながりをなかなか持てていません。そういった人への交流の場などあるのでしょうか？私が見つけられていないだけでしょか？町自体は好きです。牛が好きなので。

行財政分野	女性	30歳代	特になし
			<p>・町長はよく道外、海外へ出張へ行っているようですが、そんなに行かないといけないんですか？「町にお金がない」という話を聞きますが、出張を控えたりはしないんですか？年間いくら出張に使っているんですか？行った成果がどうなっているのかわからないので教えてください。</p> <p>・外国人の雇用や進学が増えているのは良いと思いますが、今いる町民への支援(子育て、医療、福祉、介護)にも力を入れてほしいです。</p> <p>・ちょっとした困りごとを支援してくれるサービスがあればよいと思う。</p> <p>例)○資源保管庫まで段ボールを運んでくれる。 ○郵便物の内容を一緒に確認してくれる。 ○乗り合いで習い事、病院、買い物などに行ける。</p> <p>・共働きだとご飯の支度が大変なので、配食サービスがもつとあると良い。</p> <p>・介護サービスを十分に受けられない話も聞きますが、町長はそれに対する支援や取組みはしないのですか？自分には関係ないと思いませんか？</p> <p>・町の公式LINEの情報がわかりにくい(見にくい)</p>
		<p>補助金の充実が必要だと思います。近隣の町には結婚、出産、住宅の購入など町にとって利益のあることに対する補助金が無さすぎる。国から支給しますってこと以外で補助金はあるのでしょうか？あるのに知らないと言うことは認知されていないと言うことなのできちんと対象者に知らせるべき。年収が高いと給付対象外も何とかしてほしい。年収が高くても支出(奨学金、住宅、車などローン)が大きいと結局低所得者と生活は変わらない。別にブランド品を買ってるとか贅沢してる訳でもなく安い商品探してスーパー何件もはしごしてるのに本当に悲しくなります。その辺もきちんと見てから判断してほしいです。</p> <p>あと、どこの幼稚園もそうですが共働きではない世帯は給食にならないのはなぜでしょうか。毎日作るのが苦ではない人、苦な人がいると思いますけど。希望があれば用意するくらいはあってもいいと思います。</p> <p>専業主婦を甘く見てるとしか思えません。</p> <p>街灯があるのに電気が切れてるのはなんなんですか？意味ないですよ？最近町の外側にも家が建ってきているのでそういう場所は子供も多いですしもっと増やすべきです。町外れほど野生動物や変な人がでてくるのに。</p>	
		40歳代	<p>財源の使い方について見直すべき。 介護、福祉も大事だが、働いている世代の税金は子供へ返還すべき。 教育環境についてIT環境(リモート授業、オンライン授業など)の整備が不十分な為に、突発的な学校閉鎖等の際に対応ができないことへの疑問がある。</p>
			<p>前科のある人を増やさないでほしい。(住まわせないでほしい)</p>
			<p>中標津町は住みやすい町だと思います。私が知らないだけかもしれないけど もっと中標津がアピールできる物があれば良いと思います。最近、別海町で野球チームが出来たりで中標津町も何かあったらな～と思います。</p>
			<p>中標津がさらなる発展をするには、人口を増やすしかないと考えます。 人口が増えるには、雇用先を増やすこと、医療の充実の2点が重要です。 商業の町としては大成功していると思います。人口もこの20年で少ししか減らずに維持しているところも凄いです。中標津を道東の中心都市としてさらに発展してほしいです。 とにかく働き先を増やして、定住人口を増やしてほしいです。また、減税と規制緩和で、その勢いを加速してほしいと思います。</p>
		50歳代	<p>みんなが住みやすかったらそれでよいと思っている</p>
			<p>行政がリードして、町民や中標津町に関わる方々の意識を高めてほしいです。 現状では目先だけの営利主義に町が潰されてしまうような危機感を感じております。 子ども達が誇れる町に、将来も住みたい、帰ってきたい、好きだと思えるまちづくりを期待します。</p>
			<p>町外で働いているし、住んでから半年もたっていない。何もわからないので、アンケートの参考にならず、ごめんなさい。</p>
70歳代	<p>がんばれ中標津！！ありがとうございます。</p>		
	<p>特にありません。</p>		
90歳代	<p>アンケート依頼文には「回答は6月20日(金)までに」となっているのに下の返信期限は「6月7日(金)まで」となっています。どういう事でしょうか？</p>		
健康・福祉・子育て分野	男性	30歳代	<p>医師不足</p> <p>町立病院について、地域の基幹病院になっているが、医師の派遣代など赤字が大きくなっている。看護師の確保【給料の底上げ】や病院の赤字の解消を目指して通常の診察料にプラスして病院維持費のような名目で通院者から広く浅くお金を取ってほしいのではないかと。 また近隣の町についても一定の通院者がいるので通院者の数に応じて病院維持のために料金を回収してもいいと思う</p> <p>地域の基幹病院である中標津町立病院の赤字を町民からの税収のみで補うのは限界に来ていていると感じる</p>
			40歳代

健康・福祉・子育て分野	男性	50歳代	子育てに関しての町としての体制がイマイチだと思う。 この町で積極的に結婚して子育てしようと思わない。自分は元々住んでるので仕方ないと思うが、よその町から移り住み子育てしようと思えない。 中標津に限ったことでは無いが、どんどん人口が減少していることに対して町として具体的にどう考えてるのを見えない。今までは根室管内の他の町からの転入があったと思うがそれも今は少ないと思う今後どうして行くのか全く見えない。 残念ながら役場、町長、町議に関してやる気があるのか無いのかわからない。
		60歳代	老後が不安な社会にして欲しい。 ・特になし ・老後が心配
			少子高齢化の時代、少子化対策も重要だが高齢者対策も重要。 少子高齢化時代に対応した他の市町村に誇れる町づくり、中標津町に住んでみたいと言われるような町にしてみたい。
		70歳代	現在、障害者と高齢のため、考える事は福祉についてです。病院関係、介護の現場、働く人がいない事です。中標津町だけの問題ではないのですが、賃金や働きやすい環境を考えていかないと利用したくてもできない。困っております。
		80歳代	特に中標津保健センター発行のなかなか健康なかしべつ「中標津町健診ガイド」年齢的にきちんと拝見し参考にします。 都市マス通信「環境首都なかしべつ」第22号7つのつぼマップ拝見 実践・検証し状況変化に合わせ見直ししながら、進める計画 良いですネ～最大の努力をぜひ期待します。 ほんの2例を挙げましたが、これらの努力があるから町が発展すると確信しています。人口が減少していますが、頑張ってください。大きく期待しています！！
			○高齢者の福祉について ・介護に必要な人員が集まらなく、閉鎖した施設があるとの情報を耳にしました。 介護への理解は、行政が一番良く分かっていると思うのですが、その対策はどうだったのでしょうか？ 「働き手がいらない」ではなく、「働きたい人を生み出してこなかった」のではないのでしょうか？国の政策だけに任せるのではなく、町独自に賃金を高くし、働き手を確保することがあっても良いと思います。例えば他町で子供の医療費を無料化したり、子育て支援を充実して町に住む人を確保しようと努力しています。同じように介護する人を確保するための町独自の政策があっても良いのではないのでしょうか？このままでは、あと10年後20年後の町に不安ばかりです。
90歳以上	・年金で入居できる介護施設を増やして頂きたい。 ・デマンド型集合タクシー等有ると良いと思います。		
健康・福祉・子育て分野	女性	10歳代・20歳代	子育て世代が住み良い街にしてほしいです
		30歳代	子育て支援を充実して欲しい、他の市町村のように中高校生以下の医療費自己負担額を削減して欲しい 街灯が少なく、夜道が暗く不安な道もあるので街灯を増やして欲しい 医療費を無償化にして欲しい。妊婦検診の補助を増やしてほしい。マイナポータルで申請できる手続きを増やしてほしい。 歩道に穴が開いていたりぼこぼこしているため、高齢者は道路を歩いている人を多く見かける。交通事故にもつながるため、安全に福祉用具が使えたりアルケ利用に整備してほしい。 ごみ袋が高いためオムツを使う世代(乳幼児、高齢者)にはごみ袋を配布するなどの補助をしてほしい。 中標津町一時預かり保育事業において、最初から利用することはできず、何度かファミリーサポートを利用してからでないといけないと言われた。こちらとしては費用負担も少ないため一時預かりを利用したかった。町が委託をしている事業だと思うのでそのようなルールがあるようであればホームページに記載してほしい。一時預かりを利用したい日があってもこちらが日にちを決めるわけではなく先方が提示する日しか利用できず不公平さを感じた。配置基準を満たしていても利用する子供の性格などから空きがあっても受け入れをしていないように伺えた。就労だけではなくリフレッシュや私用でも利用できる制度なのに空きがあっても就労でないと相手にしていただけないように感じ公平公正にやって欲しい。 中標津病院の外科外来の診療時間は11時までと記載があるのに、当日窓口に行くと10時半までには診察券を出すように言われた。また、診察する人がいないと早めに終了すると言われた。外来診療体制にはそのような記載はなかったため外科受付職員の独自ルールなののでしょうか。業務が多忙なのか上から目線できつめの口調で不快に思った。町立病院なので公平公正にやっていただきたいです。
			40歳代

健康・福祉・子育て分野	女性	40歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園など保育料が高いので助成がないと、子ども産む人少ないです。 ・子どもの医療費、標津町や別海町はもう少し手厚いです。 ・今、子育てに助成が少ないと子どもを産む人は減るし、そうすると将来中標津町で人口減となることは明らかです。 ・2025年問題に対して中標津町の対策はどんなものなのか。高齢者が安心して過ごせる町にならないと、もっと便利な札幌などに人口流出すると思いますが。 ・高齢者へのサービス、介護、医療サービスなど知りたい。 ・障害ある子へのサポート体制はどうなっているのか。障害ある子が中標津で暮らすには、とても暮らしやすいとはいえない環境だと思っているが、町民の意見を本当に聞きたいと思うのか？ ・1度児童館で役場の方と話をさせていただく機会があったが、たぶん、みなさん貴重な時間を使って話を聞きにきたと思いますが、話させていただいた事はしっかり対策されたり、何かのサービスにつながったりしているのか？貴重な意見、生の声を聞いたのならしっかり対応してほしいと思う。 ・町民の意見をしっかりと反映させていただけることを願っています。「やっぱり何もしてくれなかった」と思わせない対策をしてほしいと思います。
			<p>子育てについて。給食費無償化、医療費負担せめて小学校卒業まで負担なしにしてほしいです。近隣の市町村では進んでいるのに中標津町は子育てには優しくない町に感じます。</p>
			<p>周辺の町に比べて、子供に対する補助が明らかに少ない。医療費や給食費、教育に関わる費用など。ふるさと納税が充実していない。誰もがこれがいいな！と思えるものが不足している。</p>
			<p>中標津は税金等が高い。 こんな北海道でもはずれの方の町なのに、住んでる人の為にながら感じられない。 政治家と一緒に、町の上の人にしか恩恵が無い気がする。 今更中標津から出ようとは思わないがもっと町民の事考えるべき。 隣の町がやってくれるような事、例えば3歳以上の子供が医療費がかからないとか給食費無料とか中標津も取り組むべき。</p>
			福祉強化
		50歳代	<p>高齢者にもっと配慮したらいいと思う</p>
			<p>近隣の町では子供の医療費が高3まで無料であったりします。給食費が無料だったりします。なぜなかしべつは子どもに対する支援が少ないのでしょうか？ 近隣地域は住みやすい町づくりのため色々な工夫をしていると思います中標津ではそれが感じられず残念です</p>
			<p>中標津町は人も良く、趣味生活や買い物、交通面でとても満足して住みやすい町と思います。ただ一つ、病院が少ないので将来の不安があります。中標津病院がかなり頑張っていますが、いつもものすごく混んでいますし、産科や精神科の存続がなくなるのではと心配です。なんとか今の医療機能維持していただきたいです。</p>
		60歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉の街と言っていますが、老人にいったい何の対策等をしているのか不明 ・将来とても不安 ・高齢者に優しい中標津町であってほしい
			<p>税金・保険など高い あまりにも議員さんの経費を減らして老人のために使ってほしい 議員は努力しているが 役場の職員も多く その人たちのために税金を取りすぎです。</p>
			<p>住みづらい町とは思ってませんが「財源がないから町民には還元できない」と合言葉のようにあちらこちらで言われます。 車を手放した年配者にタクシー券とか一定の年齢以上の人に入浴剤とか、中標津は何もありません。ムダをはぶき財源を生み出しひねり出すのが行政の役割かと思えます。 あまり使われていないマイナンバーカード これがあれば何でも出来ると言われましたが手続きや申請など年配の方が「もう少しわかりやすく簡単にできないものか」と言っていました。同行し同じ意見です。一般事務手続きも同様。 町内会加入のメリットがないと思う。皆さんボランティア精神でされていると思いますが、若い方が加入してくだらないと消滅の危機になりそうかと 何とか知恵を出し合っていきたいところです。 病院はなるべく地元でかかりたい。設備が整ってないから遠く(釧路)へ～ から 設備を整えて地元で治療できる、に変わって(変えて)ほしい。</p>
			<p>正直、病院ですね。釧路に行かなきゃならない事が色々ありますので、病院が一番の悩みです何か良い方法がないものかと考えますけど、田舎だから来ないのか、それなりに報酬はあると思います。だから赤字になるんでないでしょうか。何処もお医者さんは不足していると聞いています。親切な人もいれば、怒る先生もいると、知り合いに聞きました。泣いて帰ってきたそうです。残念ですね。</p>
70歳代	<p>老人ホーム等入居づらい・・・？</p>		
経済・産業分野	男性	10歳代・20歳代	<p>チェーン店舗、娯楽施設、映画館、ポーリング場、病院、ファストフード店を増やして欲しいです。長い時間がかかりますが、高速道路か鉄道があれば、物流がもっと良くなると思います。</p>
		30歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・JRがないのが不便に感じる。また、空港はあるが便数が少ないため不便に感じる。 ・病院については早急に医療体制を強化してほしいと思う。 ・若者に人気の飲食店が増えれば人口増加につながると思う。
		40歳代	<p>町内に天然温泉と本格サウナが併設してある交流センター的な施設があると大変良いと思います。</p>

経済・産業分野	男性	40歳代	市街地については分かりませんが、酪農家の立場から申し上げます。 バイオガスを推進して下さい。 次回の脱炭素先行地域に応募よろしく申し上げます。
		50歳代	空港のところでも書きましたが、羽田線を夏場だけでもいいので2便化して下さい。現状のダイヤでは使いにくくて釧路空港を利用しているからです。札幌線はこの現状でとてもいいと思います。
		70歳代	将来安定していくのでしょうか、岩谷学園は。
		80歳代	○町の中心部の活性化に力を注いで欲しい ○思い切った大ナタを振って(180度回転)中心部を住み良い場所にしてください。 ○町中を歩いていましても淋しい(多くの面)ですね
	女性	30歳代	野犬やノラネコが多い。保護活動や譲渡会など、もっとやるべき。 あと、ゴミがけこう目に付く。気がついたら拾っているが、ポイ捨てする人が多い。特に農家さんが多い町はずれだと、大きいゴミが目立つ。美化活動ももっとしてほしい。 まつりも、町のわりには規模が小さい。もっと人をよぶため、色々工夫やアイデアをだす方がいいと思う。 ゆめもり公園の利用についてなのですが、何年前かはきちんとルールが守られ、利用しやすかったのですが、名簿を見ると町外から多く利用している方がいる時はマナーが悪い事を最近見かけたり、子供が(その時は網走から来ているとっていた人ですが)悪口を言われて、ゆめもりの利用が最近控えています。 町民が楽しめる場所のほすが、町外から来ていただける観光収入が見込める点はあるかと思いますが本末転倒な気がしています。 町外の方からは100円で利用料金をとるや、外にも見守りをつけるなど考えていただけたらとずっと思っていました。こちらのアンケートと結びつくかはわかりませんが、せっかくの機会をいただきましたので書かせていただきました。これからも良い町づくりの為に宜しくお願い致します。
		50歳代	・公衆トイレ化しているコンビニさんに何か自補助金をあげたらいいんじゃないかと思えます。 ・中標津町は家を建てる際の補助金が少ない?(無い)ので別海や標津に建てて通うという人がいます。もったいないなあと感じます。 ・新事業をしたい人への補助金を増やして、もっと魅力的な町になってほしいです。 ・道の駅はできないのでしょうか。
70歳代		町内にはコンビニかスーパーだけで 昔あった魚屋さん、八百屋さんなどがあるといいなと思ってます。 仕事場が有っても映画館が無い等、娯楽施設がない 若者が楽しめる町にして定住者増をめざしてほしい	
都市基盤・生活環境分野	男性	30歳代	高速道路を作してほしい
		40歳代	・街並みの整備を充実してほしい!(道路の拡張、除雪(住宅他の)、空き家対策、舗装の整備など) ・予算がないのはわかるが、この地域の中心の街なので、発展する余地はたくさんあると思います。 ・企業をもっと誘致してほしい。 ・排雪業者の一覧表と相場が知りたい。 ・宿泊施設が不足している ・役場に用事で行っても、迎えられる感じが全くない。仕事が忙しいのはわかるが、あいさつくらいしてほしい。(全員ではない。一部の職員) ・批判的な意見が多くなってしまい申し訳ないですが、中標津町に期待しているので頑張してほしいと思います。
		50歳代	道路の整備
		60歳代	住宅、交通が不安です。安心で安全なまちづくりをよろしくお願いします。
		80歳代	町内会バス路線を町内会等の希望を取り入れて出来るだけ各々町内会へバス路線が通るよう計画してほしい。 1.計根別の歩道について 高齢になって車を手ばなし、歩くことが多くなり歩道を歩くのですが、目も悪いせいか、少しの凸凹でもつまづき、車道の端を歩いてしまいます。又、除雪も悪く歩道の完備を望みます。 2.設問に答えましたが、バスターミナルにコインロッカー等がなく、大きなバックを持って出かけたのですが、土産を買おうと思ったのですが荷物の預け場所がなく買い物できませんでした。観光客も不便に思っているのでは? 3.娘が東京から来たのですが、中標津着14:10ですが計根別への便(バス)が16:43までなく、又帰りは中標津までタクシーを利用しなければなりません。昼便があればよいのですがね。中標津に着いてからの方がお金かかるね ですよ。
	女性	30歳代	計根別農協区域に住んでおりますが、子どもたちの遊び場として計根別の正美公園に新しい遊具を設置したり、必要に応じて既存の遊具を改修したりしてゆめの森公園まで行かなくても近場で遊び場を充実させてほしいです。 町内の道路、歩道の状態があまりにも悪いと感じます。車いすやベビーカーなどでも安心して歩道を利用することができるよう整備をしてほしいです。
		40歳代	信号のない横断歩道のある場所は、車は停止しないことがよくあります。中標津の方々はこれが普通なのかと驚きました。観光しに来た人も「指摘するべき!」と言っていました。
50歳代		合同墓を作してほしい。足りない。	

都市基盤・生活環境分野	女性	50歳代	<p>基幹産業が酪農なので仕方ないのかもしれませんが、町内の酪農家の牧草地に糞尿をまき、その臭いが強烈なことには、中標津に来てから今まで慣れる事ができません。居住地や立地のせいもありますが、家の中のキッチンの換気扇や浴室から臭いが入って来ます…。ご近所の方は洗濯物に臭いがついてしまいますとも…。地方からくる知人はこれを”中標津臭がする…”と言います。どうにかならないのですかね。それ以外は住みやすい町と感じているので非常に残念です。</p>
			<p>・公共交通の利用がもっと便利になって暮らすことが必要と思う バスの他にタクシーの活用増えてほしい(乗り合いタクシー等)</p>
			<p>税金ばかりいっぱい納めてどこで使われているかぜんぜん目にもみえてこない。 道路はぼこぼこで走りづらいし、病院にかかればぜんぜん医者がないから、結局釧路にいかないとけない。</p>
		60歳代	<p>越してきたばかりなので町の様子はまだわからないことばかりです 今感じている一番の困りごとは家の前の道路が穴ぼこだらけで、特に大雨の時などは水の流れが滞り、水たまりだらけになっています。公共設備を整理していただきたいです(家の前は町道です)</p>
			<p>1. 壊れた看板、交通安全の旗などを撤去して欲しい 2. 町でのゴミ拾いは秋も実施してほしい。 除雪車でごみが道路脇に落ち、見えなくなり生態系への影響がでる。</p>
			<p>◎空き家が多くてビックリです。1年に1～2軒でも解体をしていかなければ年々増えて困るのではないのでしょうか！行政の方々はどう考えていますか？空家がハトの家になっているのを見ました。動物から人にならないことを願います。中標津町だけの問題ではない事はわかりますが…行政も助成金を出すとか…税金を使うことなので難しい事ですが考えてほしいですね。</p> <p>◎幼児、高齢者の支援が何もない(中標津町から出たことがない方、知人の方の話)福祉！！ 隣の町は、こんな事も無料だとか…確かにと思いました。</p>
			<p>市街地以外の地域の交通、上下水道整備等を考えてほしいです 高齢化で免許返納すると公共交通が無くては生活に支障が出ます。 上下水道については都会から来る人たちにとっては不便だと思います 下水道の整備等が無理なら個人で出来る事に助成金等をお願いしたい</p>
		70歳代	<p>※町を明るくきれいに！！ ・道路状況が悪い場所が多い。 ・使われていない住宅が多くなっていますが ・健康維持して行くためのさらなる呼びかけ。 ・医療医師の病状が解らず悪化し手遅れの無い安心の治療改善をお願いしたい。後3階整形に入院された方々から先輩の2.3人の看護師の態度があまりにも患者に対しても意地の悪い方で嫌な思いで退院する声。忙しいのは分かりますが、病んでる患者には一番大切あってはならない行動、言動をしっかりと改善されます様ご指導お願いします。下の看護者にも楽しく働ける様に！</p>
			<p>人生100年時代 運転免許証80才で返納して、あとの20年、どうして生活の足を工面しようかな。</p>
		80歳代	<p>小型の車で町内を巡回してください 低料金で 免許返納します</p>
<p>自転車通勤しています。で歩道がガタガタなんです。歩道をもっときれいに何とかしてほしいです(東30条 特にトヨーホテル)</p>			
無回答	50歳代	古い建物の活用、市街地の整備	
教育・文化分野	男性	40歳代	<p>給食センターの評判が悪い 民間に委託してみてもどうですか</p>
	女性	10歳代・20歳代	<p>学校や役場などの公共施設にエアコンが無いのは住民のことを考えていないと思います。 ここ数年中標津町も30度を超すことが多くなり、住民が使用する公共施設へも設置すべきだと思います。 また、役場の照明が大変暗く雰囲気が悪いです。窓口で書類を書く際も書きづらいので改善して下さい。暗くて暑い過酷な環境で働く職員の皆さんの健康面は大丈夫なのでしょうか？</p>
		40歳代	<p>子育てをしやすい町にしてみたい。学校エアコン完備(猛暑のための突然の休校は働くものとして本当に困ります。)吹雪etcならば休校はいたしかたないとしても(どうしようもないので)、エアコンがあれば解決する”暑さ”による休校は不満です。子供たちの体調を考えても町として動いていただきたい。</p>
		50歳代	<p>幼児教育関係者のため、中標津町立幼稚園の話も耳にします。幼稚園職員の超過勤務手当等が保証されていないという話も聞きました。隣の標津町、別海町、羅臼町などに比べると教育にあまり経費が充てられていない印象があります。給食費無償化についても遅れている印象があります。近隣の町と足並みが揃うくらいのレベルになると良いなと思います。</p>

IV 參考資料

まちづくり町民アンケート回答用紙

留意事項

1. ご回答は宛名のご本人にお願いいたします。
2. ご回答は**6月20日(金)**までにお願いいたします。
3. 「その他」を選ばれた場合は、() 内にその内容等を回答願います。
4. ご回答方法は「郵送」又は「インターネット」の2通りからお選びいただけますので、下記の回答方法を参考にご回答をお願いいたします。

回答方法

1. 郵送による回答の場合

- ①次ページ以降の設問へ回答（該当番号をペン等により○印を記入）
- ②記入した回答用紙を同封の返信用封用に入れ、ポストへ投函（切手は不要）

2. インターネットによる回答の場合

- ①下記からサイトへアクセス



URL : <https://www.harp.lg.jp/Kc2Fnpej>

- ②インターネット回答用 ID（下記）を入力
- ③表示されている設問へ回答
- ④最下段の確認ボタンを押す
- ⑤内容を確認し、送信ボタンを押す

インターネット回答用 ID :

※ID は重複回答を防ぐために使用し、回答者を特定するものではありません。

問い合わせ先
中標津町 総務部 政策推進課
電話 : 0153-74-0728

あなた自身のことについてお伺いします

問 1 それぞれの項目ごとに当てはまる番号1つに○印をつけてください。

(1)性別	①男性	②女性
	③無回答	
(2)年齢	①10歳代・20歳代	⑤60歳代
	②30歳代	⑥70歳代
	③40歳代	⑦80歳代
	④50歳代	⑧90歳以上
(3)職業 (主なもの)	①農林漁業	⑤パートタイム・アルバイト
	②製造業・建設業	⑥主婦・主夫
	③卸小売業・飲食業	⑦無職
	④その他サービス業等 (公務員を含む)	⑧学生・その他
(4)通勤・通学先	①町内	③該当なし・その他
	②町外	
(5)家族構成	①夫婦(子どもはいない)	④単身(あなた1人)
	②親子(2世代)	⑤その他
	③親・子・孫(3世代)	
(6)出身地	①中標津町	④道外
	②根室管内	⑤国外
	③道内	
(7)居住地	①中標津市街	③計根別市街
	②中標津町農協区域	④計根別農協区域
(8)居住年数	①1年未満	③5年以上20年未満
	②1年以上5年未満	④20年以上

愛着度・定住意向についてお伺いします

問 2 あなたは、中標津町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①感じている | ③どちらかといえば感じていない |
| ②どちらかといえば感じている | ④感じていない |

【自由記述欄】

問 3 あなたは、今後も中標津町に住み続けたいと思いますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ①住み続けたい | ③どちらかといえば住みたくない |
| ②どちらかといえば住み続けたい | ④住みたくない |

※①または②を選んだ方にお伺いします。

住み続けたい主な理由は何ですか。
(複数選択可)

- ①自然が豊かだから
- ②教育環境がよいから
- ③通勤や通学が便利だから
- ④医療や福祉が充実しているから
- ⑤日常の買い物が便利だから
- ⑥生活する環境が便利だから
- ⑦職場があるから
- ⑧親や親戚がいる住み慣れた土地だから
- ⑨友人など人間関係があるから
- ⑩町の将来に希望がもてるから
- ⑪特に理由はない
- ⑫その他

(具体的に:)

※③または④を選んだ方にお伺いします。

住みたくない主な理由は何ですか。
(複数選択可)

- ①日常の買い物が不便
- ②道路事情や交通の便が悪い
- ③地域の行事や近所つきあいが面倒
- ④子どもの保育・教育のことが心配
- ⑤町内に適当な職場が少ない
- ⑥保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分
- ⑦消防・防災・防犯体制に不安を感じる
- ⑧スポーツ施設や文化施設が不十分
- ⑨生活基盤施設の整備が遅れている
- ⑩コミュニティ活動など住民の交流がない
- ⑪情報通信基盤が整っていない
- ⑫その他

(具体的に:)

まちの取り組みについてお伺いします

問 4 まちの計画や取り組みに関心を持っていますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ①関心を持っている | ③どちらかといえば関心を持っていない |
| ②どちらかといえば関心を持っている | ④関心を持っていない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問 5 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

※③または④を選んだ方にお伺いします。

特にどのような情報が不足していると感じますか。

(複数選択可)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| ①まちの計画や取り組みに関する情報 | ⑤防災情報 |
| ②支援制度に関する情報 | ⑥情報発信の中身がわかりづらい |
| ③役場での手続きに関する情報 | ⑦情報発信の手段が不足している |
| ④イベント開催情報 | ⑧その他
(具体的に: _____) |

問 6 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

例: 意見交換会の開催やアンケート調査、審議会等の公募委員の参加、町が主催するイベントへの参加など

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

上記の番号を選んだ理由を教えてください(いつ、どのような時に感じましたか)

問 7 あなたは町内会に加入していますか。

(1つに○印を付けてください)

①加入している	②加入していない
---------	----------

※①を選んだ方にお伺いします。

加入している主な理由は何ですか。
(複数選択可)

①いざという時の助け合いのため
②地域コミュニティに参加するため
③勧誘されて断れなかったため
④人づきあいが好きのため
⑤様々な情報が得られるため
⑥以前から加入している
⑦特に理由はない
⑧その他
(具体的に:)

※②を選んだ方にお伺いします。

加入していない主な理由は何ですか。
(複数選択可)

①必要性を感じないから
②会費の負担があるから
③町内会役員等の仕事を避けたいから
④近所づきあいが面倒だから
⑤加入の方法がわからないから
⑥勧誘に来なかったから
⑦特に理由はない
⑧その他
(具体的に:)

問 8 国際交流、地域間交流(他の市町村との交流)が行われていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

①そう感じる	③どちらかといえばそう感じない
②どちらかといえばそう感じる	④そう感じない
	⑤わからない(回答無効)

【自由記述欄】

問 9 北方領土問題を身近な問題として感じますか。

(1つに○印を付けてください)

①そう感じる	③どちらかといえばそう感じない
②どちらかといえばそう感じる	④そう感じない
	⑤わからない(回答無効)

【自由記述欄】

問10

男女が対等な立場で、家庭、職場、地域など社会のあらゆる分野の活動に参画できていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

①そう感じる	③どちらかといえばそう感じない
②どちらかといえばそう感じる	④そう感じない
	⑤わからない(回答無効)

※③または④を選んだ方にお伺いします。

そう感じない主な理由は何ですか。
(複数選択可)

①男女の固定的な役割分担がある	⑤男女問わず能力に応じて評価されない (キャリアを築けない)
②女性が働きたい職種が不足している	⑥出産・育児・介護をしながら仕事・活動をするための支援が足りない
③女性が働きやすい労働環境が整備されていない(休暇制度・採用等)	⑦女性の意見が言いにくい風潮がある
④男女で就労条件に差がある(給与面等)	⑧その他 (具体的に:)

問11

男女が平等に参加できる社会を形成するために、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

(複数選択可)

①女性の働きたい職種の充実	⑥男女の固定的な役割分担など意識解消に向けた啓発
②女性が働きやすい労働環境の整備(休暇の種類充実、採用面等)	⑦保育や介護サービスの充実
③女性の就労条件(給与面等)など企業への啓発	⑧町の審議会や委員会などへの女性の登用
④男女問わず能力に応じて評価される環境の整備	⑨女性のための相談窓口の充実
⑤女性のための職業訓練機会の提供	⑩その他 (具体的に:)

問12

情報通信機器(スマートフォンやパソコン等)を持っていない又は操作が苦手なため、町の情報が得られず困ったことや申請ができず困ったことがありますか。

(1つに○印を付けてください)

①ある	②ない
-----	-----

※①を選んだ方にお伺いします。

主に何からまちの情報を取得しますか。
(複数選択可)

①広報紙・チラシ折込	④役場窓口・電話
②FMラジオ	⑤知り合い・家族から
③町ホームページ・SNS	⑥その他 (具体的に:)

問13 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問14 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問15 障がい福祉サービスが整っていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

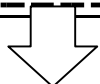
【自由記述欄】

問16

あなたの地域活動・ボランティア活動への参加状況と今後の参加意向についてお尋ねします。

(1つに○印を付けてください)

①現在参加しているし今後も参加したい	③現在参加しているが、今後は参加するつもりはない
②現在参加していないが今後は参加したい	④現在参加していないし、今後も参加するつもりはない



※①または②を選んだ方にお伺いします。

あなたは、今後(今後とも)どのような地域活動・ボランティア活動に参加したいと思いますか。

(複数選択可)

①町内会や自治会などの活動	⑩高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動
②公園・道路の清掃や花壇の世話	⑪通院介助や健康管理の指導など保健・医療に関する活動
③自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動	⑫募金や寄付、バザー等に関する活動
④農協や商工会などの活動	⑬地域づくりやまちおこしに関する活動
⑤老人クラブや女性団体、子ども会などの活動	⑭自主防災や災害援助に関する活動
⑥子育て支援に関する活動	⑮交通安全に関する活動
⑦PTA、青少年の健全育成に関する活動	⑯パトロールなど防犯に関する活動
⑧教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動	⑰外国人住民との交流
⑨伝統芸能の保存に関する活動	⑱その他 (具体的に:)

問17

町立病院の医療体制に満足していますか。

(1つに○印を付けてください)

①満足している	③どちらかといえば満足していない
②どちらかといえば満足している	④満足していない
	⑤わからない(回答無効)

【自由記述欄】

問18 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ① そう感じる | ③ どちらかといえばそう感じない |
| ② どちらかといえばそう感じる | ④ そう感じない |
| | ⑤ わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問19 地元の農畜産物(乳製品、肉、野菜、加工品等)を身近に感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ① そう感じる | ③ どちらかといえばそう感じない |
| ② どちらかといえばそう感じる | ④ そう感じない |
| | ⑤ わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問20 町が行う植樹などの森林づくり活動に参加したいと思いますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ① 参加したいと思う | ③ どちらかといえば参加したくない |
| ② どちらかといえば参加したいと思う | ④ 参加したくない |
| | ⑤ わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問21 町内での飲食や買い物に満足していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|------------------|-------------------|
| ① 満足している | ③ どちらかといえば満足していない |
| ② どちらかといえば満足している | ④ 満足していない |
| | ⑤ わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問22 あなたは観光客に対して「おもてなし」の気持ちを持っていますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①持っている | ③どちらかといえば持っていない |
| ②どちらかといえば持っている | ④持っていない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問23 雇用対策(通年雇用、雇用の創出・確保等)に満足していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①満足している | ③どちらかといえば満足していない |
| ②どちらかといえば満足している | ④満足していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問24 住んでいる地域が「良好なまちなみ(住環境)である」と感じていますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問25 日々の生活の中で景観を意識していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①意識している | ③どちらかといえば意識していない |
| ②どちらかといえば意識している | ④意識していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問26 公共交通(バス)を利用して、便利に暮らすことができていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問27 中標津空港利用の利便性に満足していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①満足している | ③どちらかといえば満足していない |
| ②どちらかといえば満足している | ④満足していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問28 日頃から家庭で災害(地震や風雪災害など)への備えをしていますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|---------------|----------------|
| ①している | ③どちらかといえばしていない |
| ②どちらかといえばしている | ④していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問29 あなたは、防災のための情報をどこから得ていますか。

(複数選択可)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| ①広報中標津 | ④コミュニティFMラジオを活用した防災放送 |
| ②中標津町緊急情報メール「キキボウ」 | ⑤テレビ |
| ③インターネットやスマートフォン | ⑥その他
(具体的に:) |

問30 地域や企業などでの防犯活動に参加していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|------------|--------------|
| ①参加している | ③あまり参加していない |
| ②たまに参加している | ④参加していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問31 消費生活に関する正しい情報を得られていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①そう感じる | ③どちらかといえばそう感じない |
| ②どちらかといえばそう感じる | ④そう感じない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問32 日頃から環境問題(温暖化、省エネルギー、ごみ減量等)について意識していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①意識している | ③どちらかといえば意識していない |
| ②どちらかといえば意識している | ④意識していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問33 3R運動(リデュース:発生抑制、リユース:再使用、リサイクル:再生使用)をしていますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|---------------|----------------|
| ①している | ③どちらかといえばしていない |
| ②どちらかといえばしている | ④していない |
| | ⑤わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問34 学校、家庭、地域が一体となって教育活動を進めていると感じますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|-----------------|------------------|
| ① そう感じる | ③ どちらかといえばそう感じない |
| ② どちらかといえばそう感じる | ④ そう感じない |
| | ⑤ わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問35 らいふまっぷ(生涯学習情報誌)・社会教育施設ホームページに満足していますか。

(1つに○印を付けてください)

- | | |
|------------------|-------------------|
| ① 満足している | ③ どちらかといえば満足していない |
| ② どちらかといえば満足している | ④ 満足していない |
| | ⑤ わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問36 生涯学習活動を通して生きがいを感じますか。

(1つに○印を付けてください)

※生涯学習とは

一般には人々が生涯に行うあらゆる学習を意味します。

すなわち、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習。

- | | |
|-----------------|------------------|
| ① そう感じる | ③ どちらかといえばそう感じない |
| ② どちらかといえばそう感じる | ④ そう感じない |
| | ⑤ わからない(回答無効) |

【自由記述欄】

問37 運動やスポーツに取り組んでいますか。

(1つに○印を付けてください)

①取り組んでいる ②どちらかといえば取り組んでいる	③あまり取り組んでいない ④取り組んでいない ⑤わからない(回答無効)
------------------------------	---

※①または②を選んだ方にお伺いします。

※③または④を選んだ方にお伺いします。

運動やスポーツに取り組む理由を1つ選んでください。

運動やスポーツに取り組んでいない理由を1つ選んでください。

①健康のため
②趣味活動として
③気晴らしとして
④その他
(具体的に:)

①やりたいが体に不調がある
②やりたいが時間がない
③やりたいが何をしてもよいかわからない
④運動やスポーツが好きではない
⑤(理由はともかく)動きたくない
⑥その他
(具体的に:)

問38 文化活動・芸術活動に取り組んでいますか。

(1つに○印を付けてください)

①取り組んでいる	③あまり取り組んでいない
②どちらかといえば取り組んでいる	④取り組んでいない
⑤わからない(回答無効)	

【自由記述欄】

問39 町内に、歴史や自然・文化を後世に伝えていくため、残したいと思うものがありますか。

(1つに○印を付けてください)

①ある	③どちらかといえはない
②どちらかといえばある	④ない
⑤わからない(回答無効)	

【自由記述欄】

あなたの生活で現在もしくは将来に向けて町の行政に望むことやまちづくりについて、ご意見などがございましたらご自由にお書きください。

【自由記述欄】

ご協力ありがとうございました。

※ご記入いただいたアンケートは同封の返信用封筒に入れて返送してください。(切手は不要です。)



町民憲章

(昭和40年7月1日制定)

わたしたちは、朝夕気高い武佐岳を仰ぎ、標津川の流れとともにひらけゆく
中標津の町民です。

はてしない緑の原に、先人のきびしい開拓のあとをしのび、その心をうけて、
みんなの力で明るい豊かなまちをつくるために、この憲章をさだめます。

- 1 からだをきたえ、しあわせな家庭にしましょう
- 1 誇りをもって働き、豊かなまちにしましょう
- 1 きまりを守り、明るいまちにしましょう
- 1 自然を愛し、美しいまちにしましょう
- 1 教養を高め、よりよい文化を育てましょう



【町の木】 シラカバ



【町の花】 エゾリンドウ

≪発行≫ 中標津町 総務部 政策推進課

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山2丁目22番地

TEL (0153)73-3111 FAX (0153)73-5333

ホームページ <http://www.nakashibetsu.jp/>

e-mail nakasi-t@arens.or.jp

空とみどりが人をつないでいくまち

中標津

～住みたいまち 住み続けたいまち～